

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査 調査結果報告書

令和5年5月

飯 塚 市

< 目 次 >

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計及び回収結果	1
3. 調査結果の見方	1
4. 回答者の基本属性	2
(1) 回答者の性別	2
(2) 年齢構成	2
(3) 居住地区	2
(4) 一般高齢者・総合事業対象者	3
(5) 要支援度	3
(6) 家族構成	3
(7) 介護の必要度	4
(8) 介護・介助が必要な主な原因	4
(9) 主な介護・介助（希望）者	5
(10) 経済状況	5
(11) 居住形態	6
第2章 調査結果	7
1. からだを動かすことについて	8
(1) 運動器	8
(2) 転倒	10
(3) 閉じこもり	14
2. 食えることについて	24
(1) 低栄養	24
(2) 口腔機能	26
(3) 口腔ケア・口腔の健康状態	34
(4) 孤食	42
3. 毎日の生活について	44
(1) 認知機能	44
(2) 手段的自立度（IADL）	54

(3) 知的能動性	58
(4) 他者との関わり	66
(5) 趣味・生きがい	74
(6) 現在暮らしている地域に足りないもの	78
(7) 補聴器について	80
4. 地域での活動について	84
(1) 地域活動や趣味活動について	84
(2) 地域づくりについて	87
5. たすけあいについて	89
(1) たすけあいの状況	89
(2) 相談経路	90
(3) 友人関係	92
(4) 地域で支援してほしいこと・できること	96
6. 健康について	100
(1) 健康について	100
(2) うつ	104
(3) 飲酒	106
(4) 喫煙	108
(5) 疾病の状況	110
7. 認知症にかかる相談窓口について	112
(1) 認知症について	112
8. 終末期について	115
(1) 終末期について	115
9. 今後の介護希望について	120
(1) 今後の介護希望について	120
10. 飯塚市に対する満足度について	124
(1) 飯塚市の満足度について	124
 第3章 調査結果からみえる課題	 129
 第4章 調査票	 133

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、高齢者の生活状況や健康状態、地域とのつながりなどについて把握し、地域の高齢者を取り巻く課題に即した今後の介護・高齢者保健福祉施策に反映させるとともに、第9期飯塚市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画を策定するための基礎資料とする。

2. 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	要介護認定を受けていない65歳以上の高齢者：3,000人（無作為抽出）
調査方法	郵送配布－郵送回収
有効回収数 （率）	2,138人（71.3%）
調査期間	令和5年3月10日～3月24日

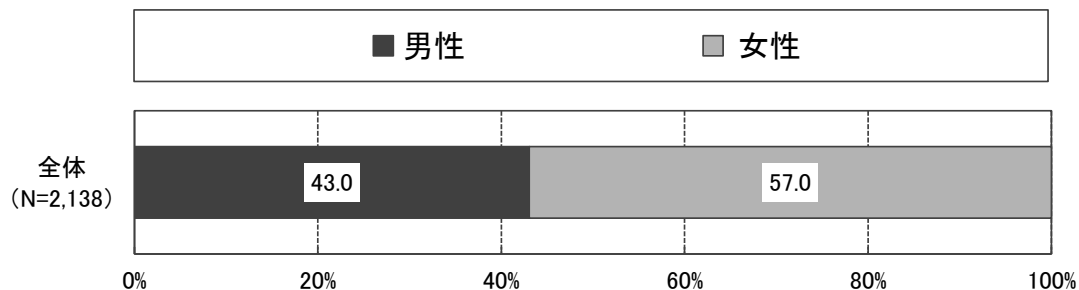
3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- クロス集計の表側に使用している「性・年齢別」「居住地区別」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- クロス集計等において、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第4章 調査票」を参照のこと。
- 「前回調査」とは、R2年度介護予防・日常生活圏域ニーズ調査をさす。

4. 回答者の基本属性

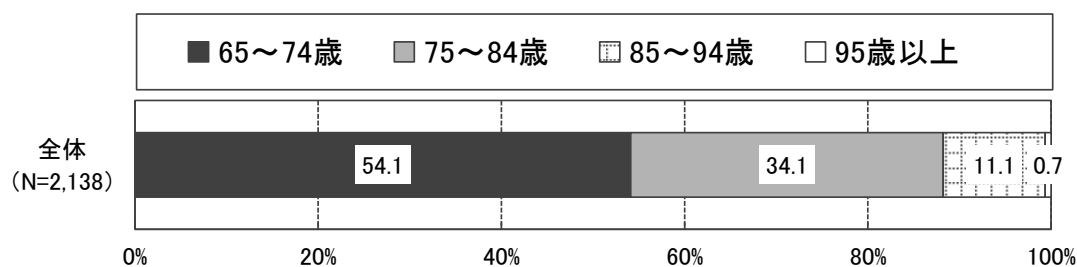
(1) 回答者の性別

■回答者の性別は、男性が43.0%、女性が57.0%と女性の割合が高い。



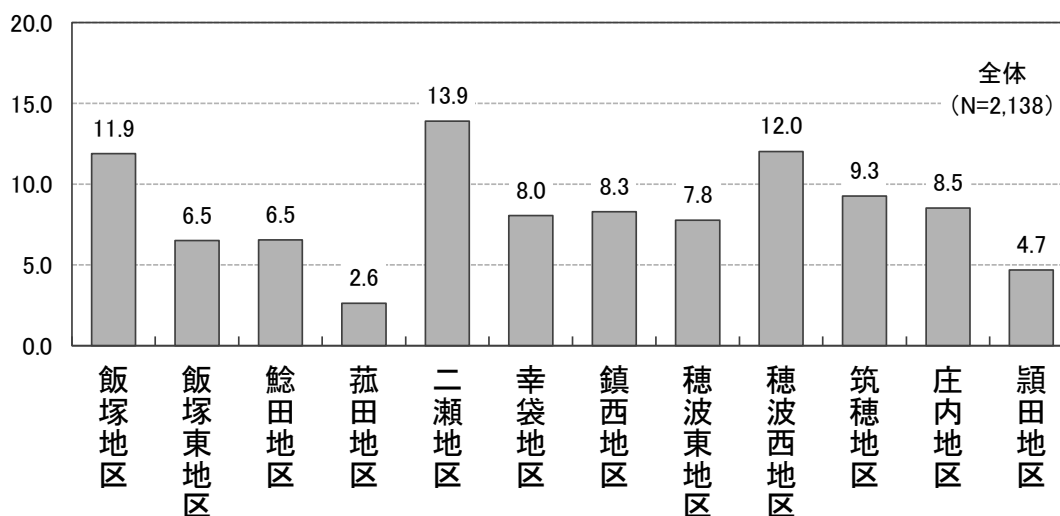
(2) 年齢構成

■回答者の年齢構成は、「65～74歳」(54.1%)が最も高く、「75～84歳」、「85～94歳」がそれぞれ34.1%、11.1%で続いている。



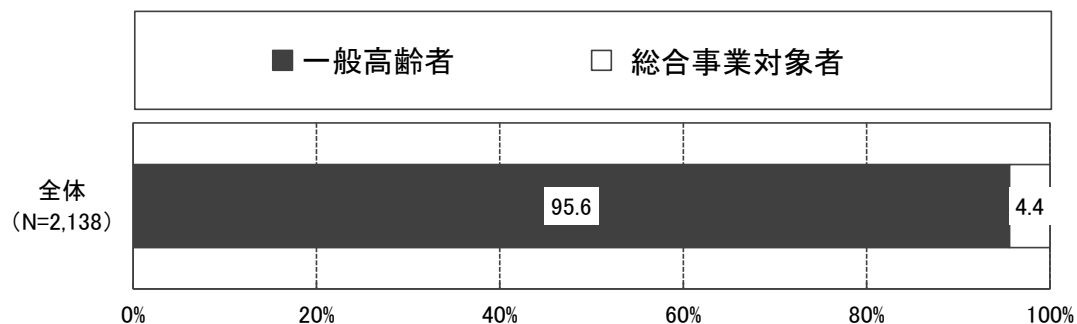
(3) 居住地区

■回答者の居住地区は、「二瀬地区」(13.9%)が最も高く、次いで「穂波西地区」(12.0%)、「飯塚地区」(11.9%)、「筑穂地区」(9.3%)と続く。



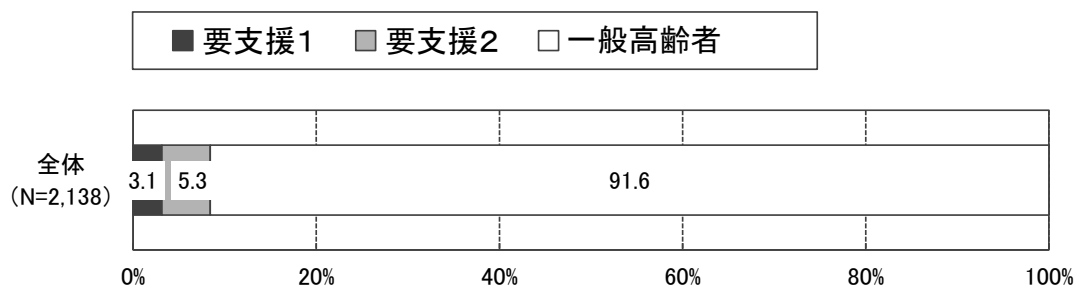
(4) 一般高齢者・総合事業対象者

■回答者の内訳は、一般高齢者が95.6%、総合事業対象者が4.4%となっている。



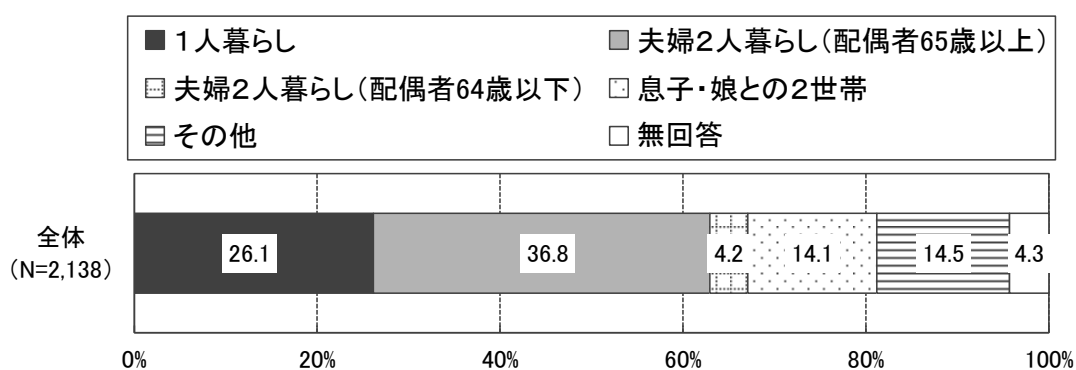
(5) 要支援度

■回答者の要支援度は、要支援1が3.1%、要支援2が5.3%となっている。



(6) 家族構成

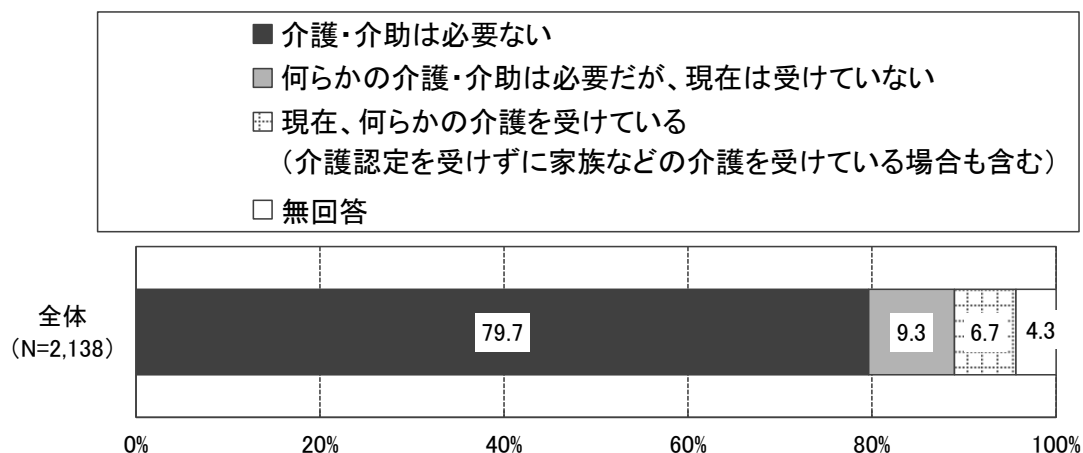
■回答者の家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」(36.8%)が最も高く、全体の4割弱を占める。



第1章 調査の概要

(7) 介護の必要度

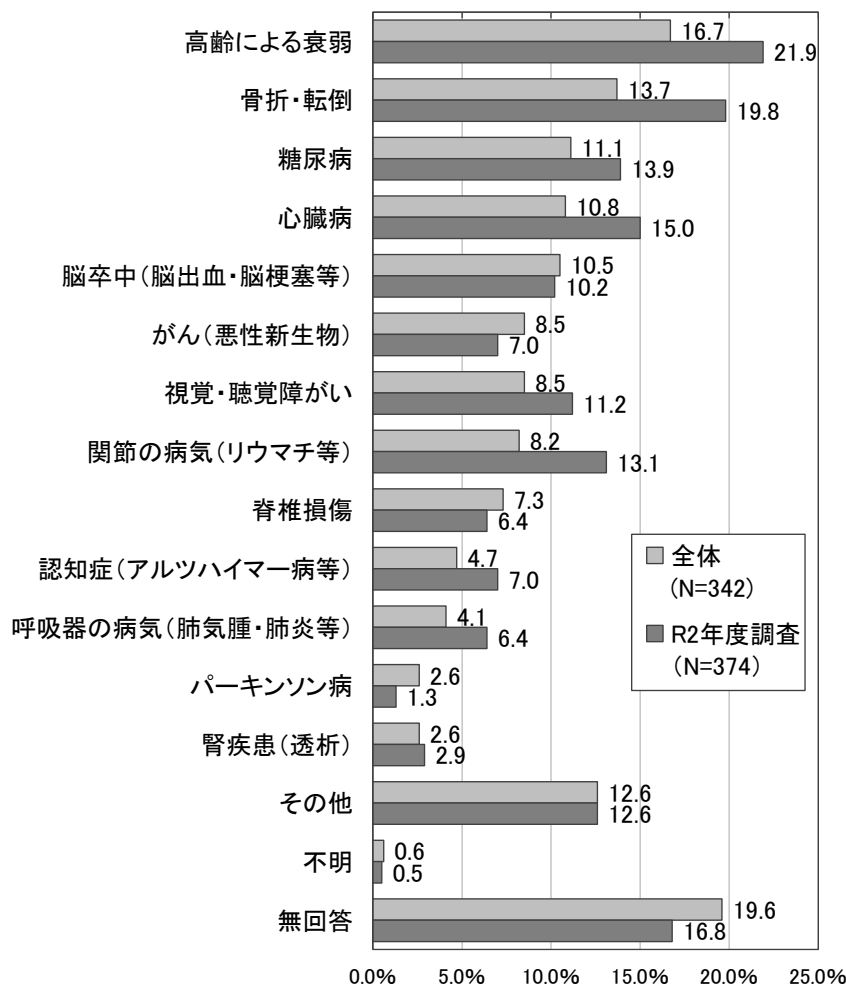
■回答者の介護の必要度は、「介護・介助は必要ない」(79.7%)が最も高く、全体の8割弱を占める。



(8) 介護・介助が必要な主な原因

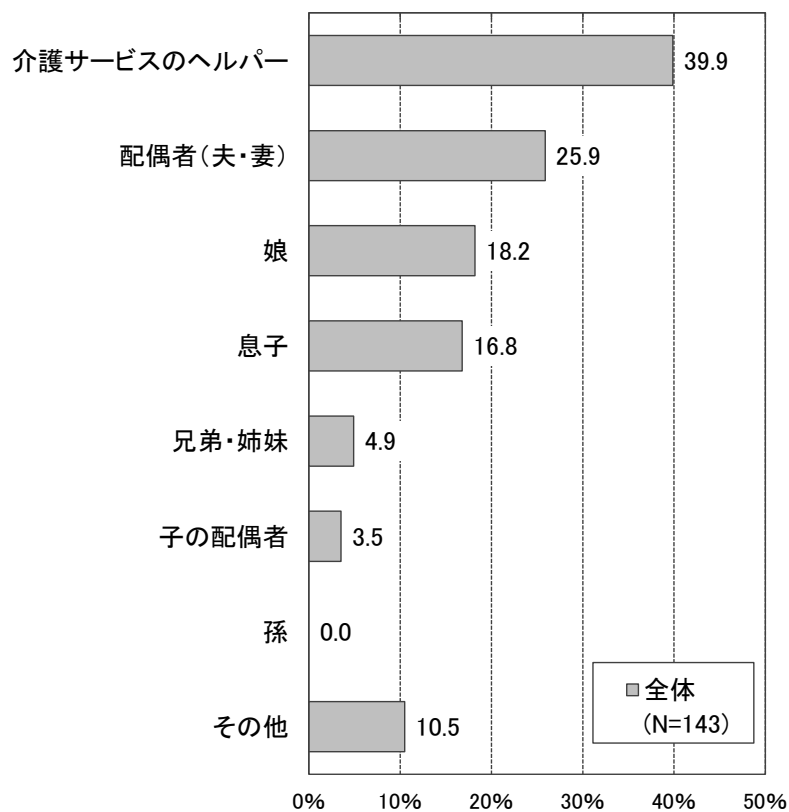
■介護・介助を必要とする回答者のその主な原因は、「高齢による衰弱」(16.7%)が最も高く、次いで「骨折・転倒」(13.7%)、「糖尿病」(11.1%)と続く。

■前回調査と比較すると、「骨折・転倒」が最も減少し、「がん」が最も増加している。



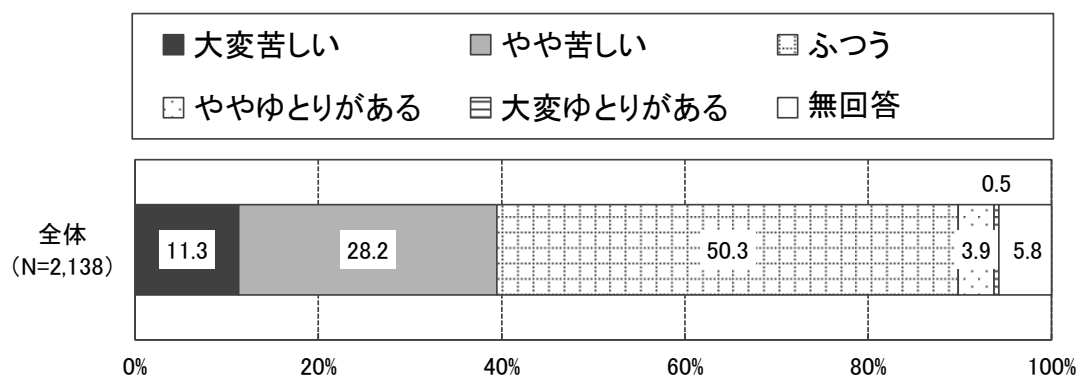
(9) 主な介護・介助者

■現在、何らかの介護を受けている者の主な介護・介助者は、「介護サービスのヘルパー」(39.9%)が最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」(25.9%)、「娘」(18.2%)となっている。



(10) 経済状況

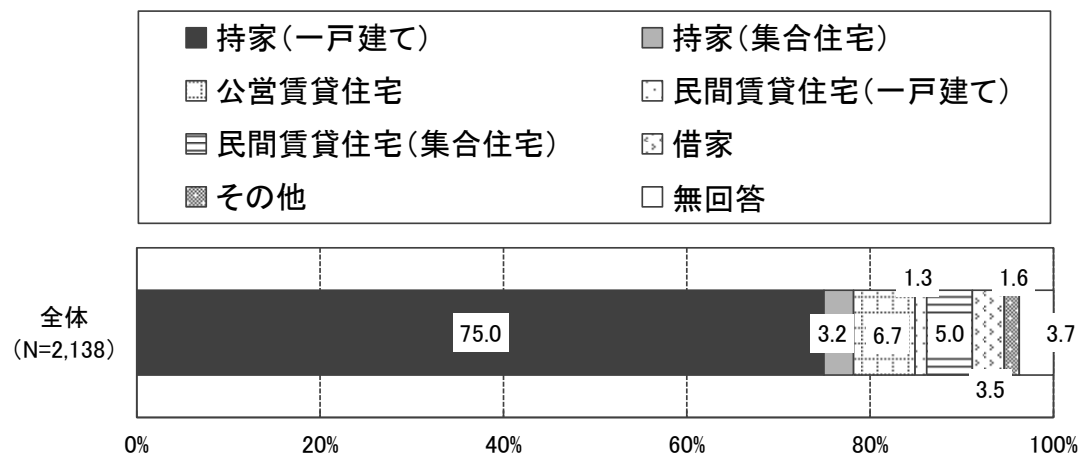
■回答者の経済状況は、「ふつう」(50.3%)が最も高くなっているが、次いで「やや苦しい」(28.2%)となっており、「大変苦しい」(11.3%)と合わせると4割弱が経済状況が『苦しい』と感じている。



第1章 調査の概要

(1.1) 居住形態

■回答者の居住形態は、「持家（一戸建て）」（75.0%）が最も高い。



第2章 調査結果

本章は、以下の10項目で構成する。

問番号	設問	内容
問2	からだを動かすことについて	運動器機能の低下・転倒リスク・閉じこもり傾向を把握
問3	食べることについて	口腔機能の低下・低栄養の傾向を把握
問4	毎日の生活について	認知機能の低下・IADLの低下・知的能動性・社会的役割を把握
問5	地域での活動について	ボランティア等への参加状況・今後の参加意向
問6	たすけあいについて	社会参加の状況等を把握
問7	健康について	うつ傾向・健康状態等を把握
問8	認知症にかかる相談窓口の把握について	認知症にかかる相談窓口の認知状況を把握
問9	人生の最期の迎え方に関する考えについて	終末期の過ごし方の意向を把握
問10	今後の介護希望について	今後の介護希望を把握
問11	飯塚市に対する満足度について	飯塚市に対する満足度を把握

本調査では、各設問の選択肢（チェックリスト）を点数化するなどして、高齢者が要介護状態になる各種リスクの判定を行っている。※リスク判定基準は、国の資料「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」（2022年8月版）に準じる。

1 からだを動かすことについて

ここでは、運動機能の低下・転倒リスク・閉じこもり傾向を把握する。

(1) 運動器

高齢者の運動器の機能に関して、リスク判定を行う。下表の5つの設問のうち、網掛け部分に3問（点）以上該当した場合、運動器の機能低下と判定される。

問番号	内容	回答
問2	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない (1点)
	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない (1点)
	(3) 15分位続けて歩いていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない (1点)
	(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある (1点) 2 1度ある (1点) 3 ない
	(5) 転倒に対する不安は大きいですか	1 とても不安である (1点) 2 やや不安である (1点) 3 あまり不安でない 4 不安でない

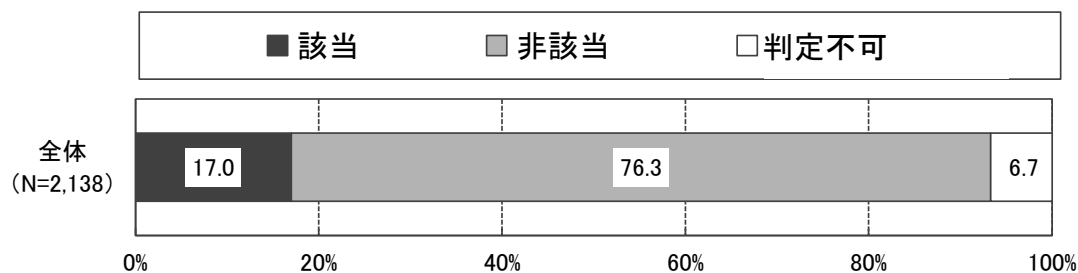
■運動器判定の該当者（3点以上の者）は、全体で17.0%となっている。

■性・年齢別にみると、該当者の割合は男女とも年齢とともに高くなる傾向にあるが、各年齢層とも男性に比べ女性の該当者の割合が高くなっている。

特に75歳以上の後期高齢者でリスクが増しており、女性の85歳以上ではリスク該当者は5割を超えている。

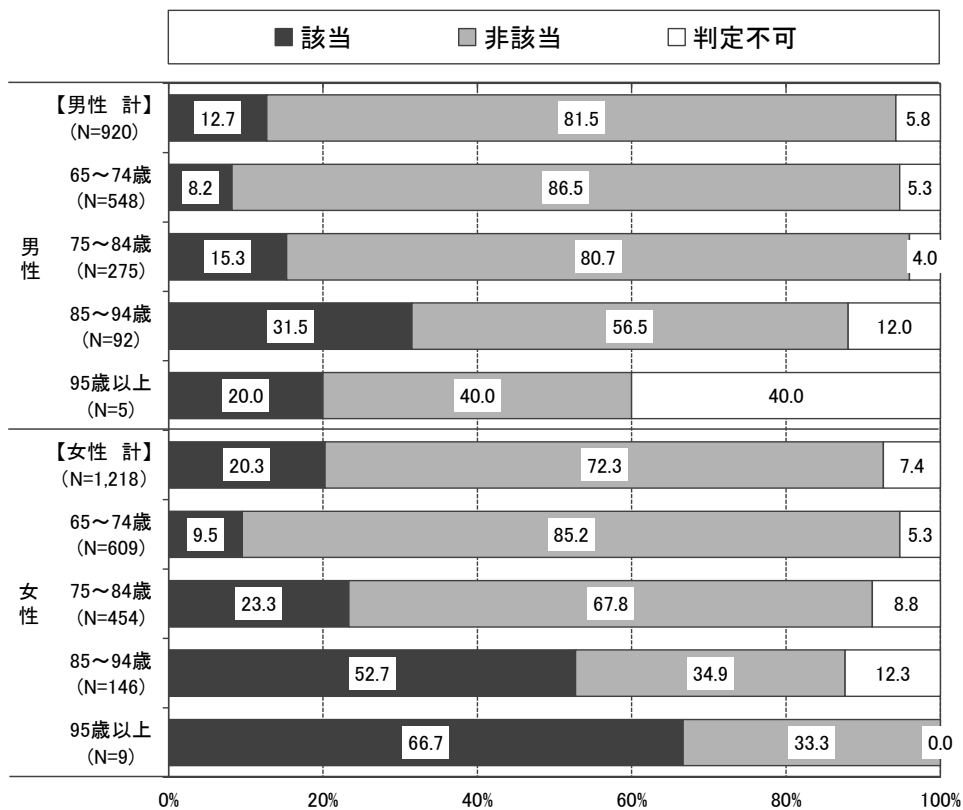
■居住地区別にみると、該当者の割合は、菰田地区(30.4%)で最も高く、鯉田地区(12.9%)で最も低くなっている。

〔運動器判定〕

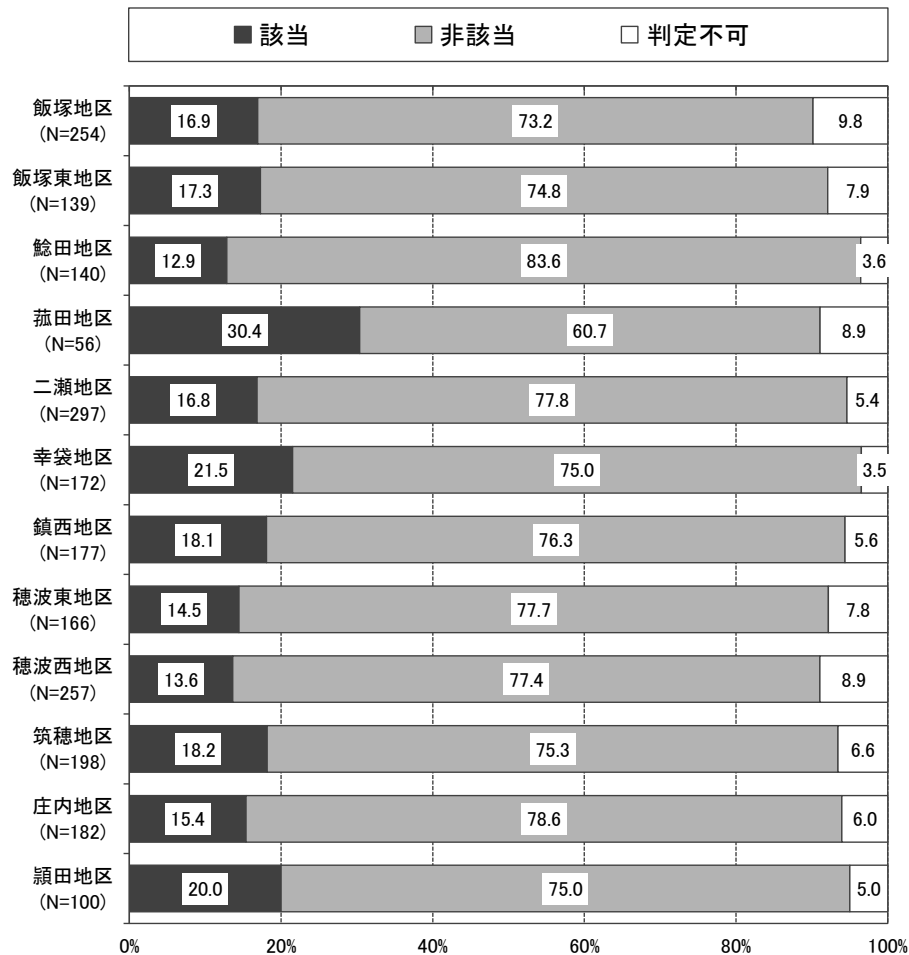


※5点の者は90人、4点の者は126人、3点の者は148人、2点の者は385人、1点の者は543人、0点の者は703人、判定不能の者は143人であった。

〔性・年齢別 運動器判定〕



〔居住地区別 運動器判定〕



第2章 調査結果

(2) 転倒

① 転倒経験

高齢者の転倒経験から転倒リスクの判定を行う。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、転倒リスクのある高齢者と判定される。

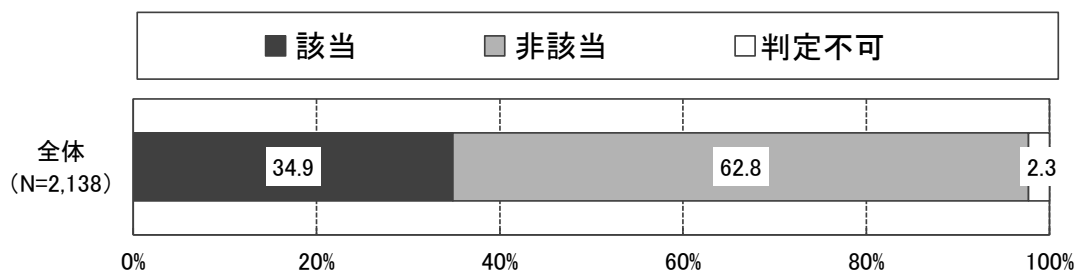
問番号		内容	回答
問2	(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1 何度もある 2 1度ある 3 ない

■転倒リスク判定の該当者は、全体で34.9%となっている。

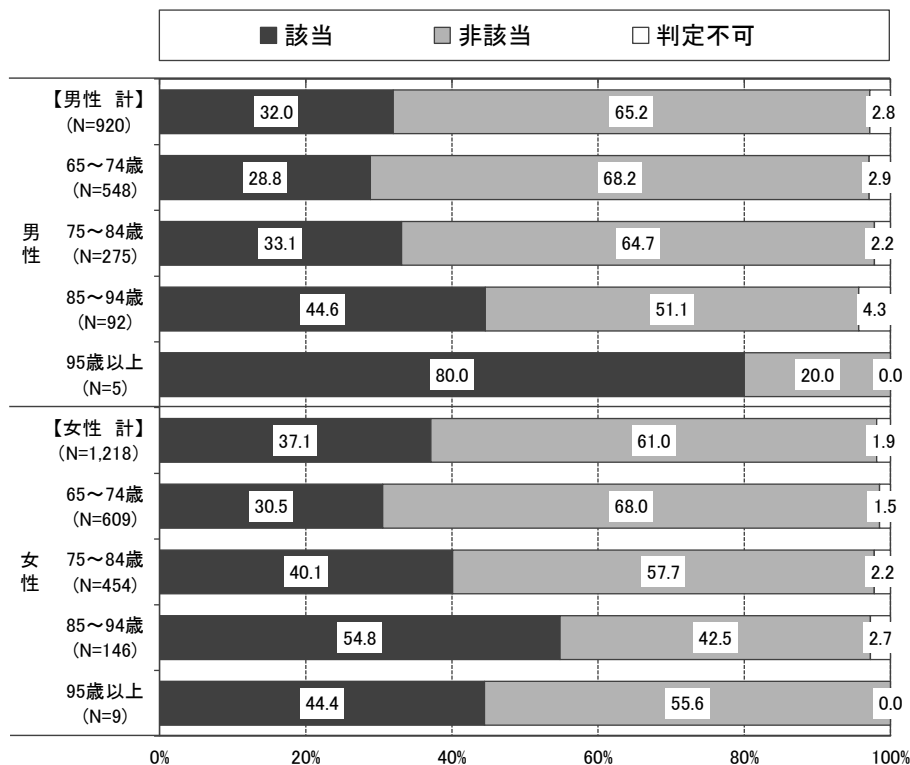
■性・年齢別にみると、該当者の割合は男性に比べ女性の方が高い傾向にあるが、男性の95歳以上では8割が該当者となっている。また男女とも年齢とともに高くなる傾向にある。

■居住地区別にみると、該当者の割合は、菰田地区(44.6%)で最も高く、飯塚地区(31.9%)で最も低くなっている。

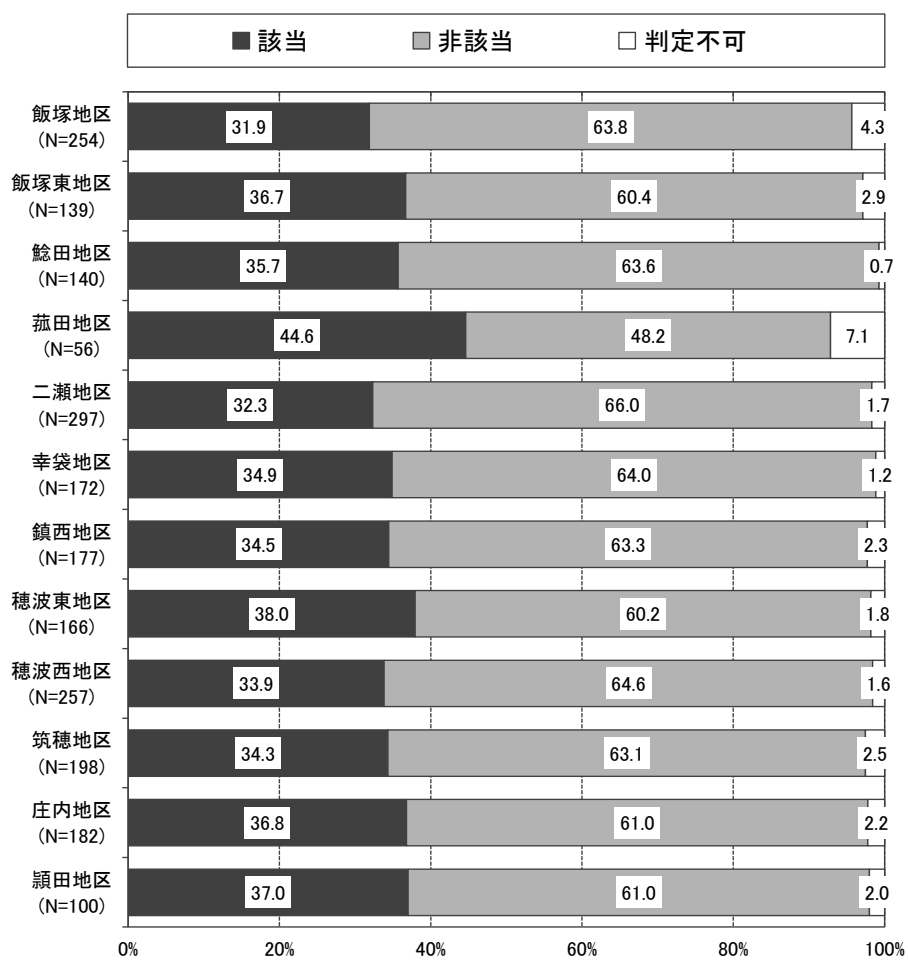
〔転倒リスク判定〕



〔性・年齢別 転倒リスク判定〕



〔居住地区別 転倒リスク判定〕



第2章 調査結果

② 転倒に対する不安

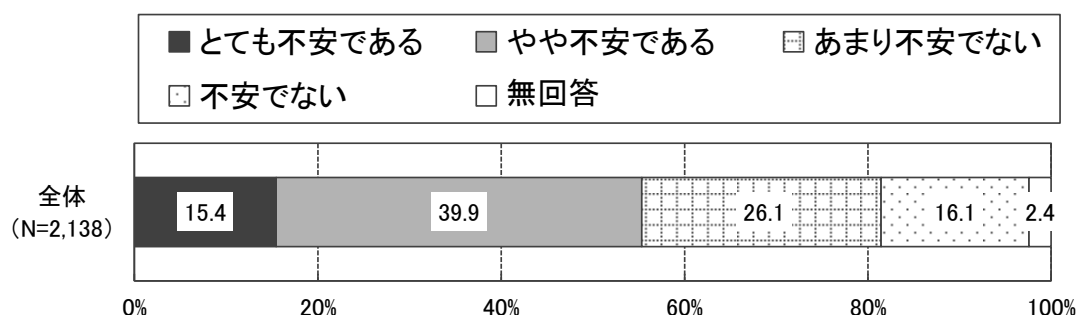
問番号		内容
問2	(5)	転倒に対する不安は大きいですか

■転倒に対する不安が「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安』の割合は全体で55.3%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『不安でない』の割合は全体で42.2%となっている。

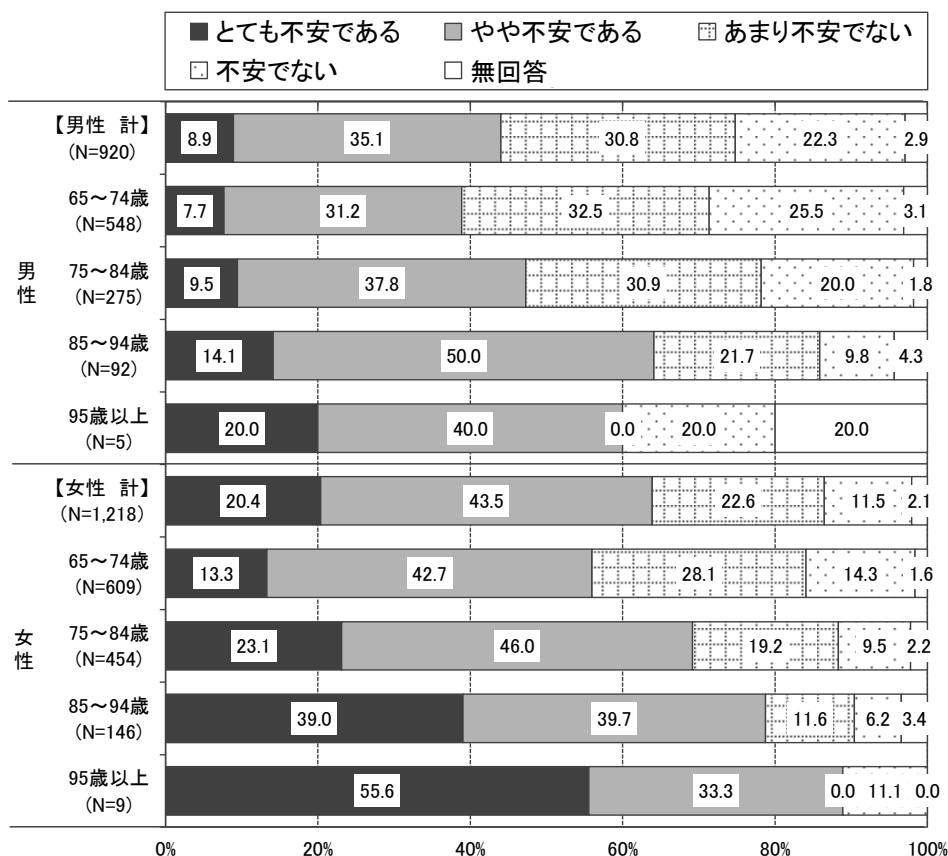
■性・年齢別にみると、『不安』の割合は男女とも年齢とともに高くなる傾向にあるが、各年齢層とも男性に比べ女性の『不安』の割合が高くなっている。

■居住地区別にみると、転倒に対する『不安』の割合は、菰田地区（66.1%）で最も高く、飯塚地区（46.8%）で最も低くなっている。

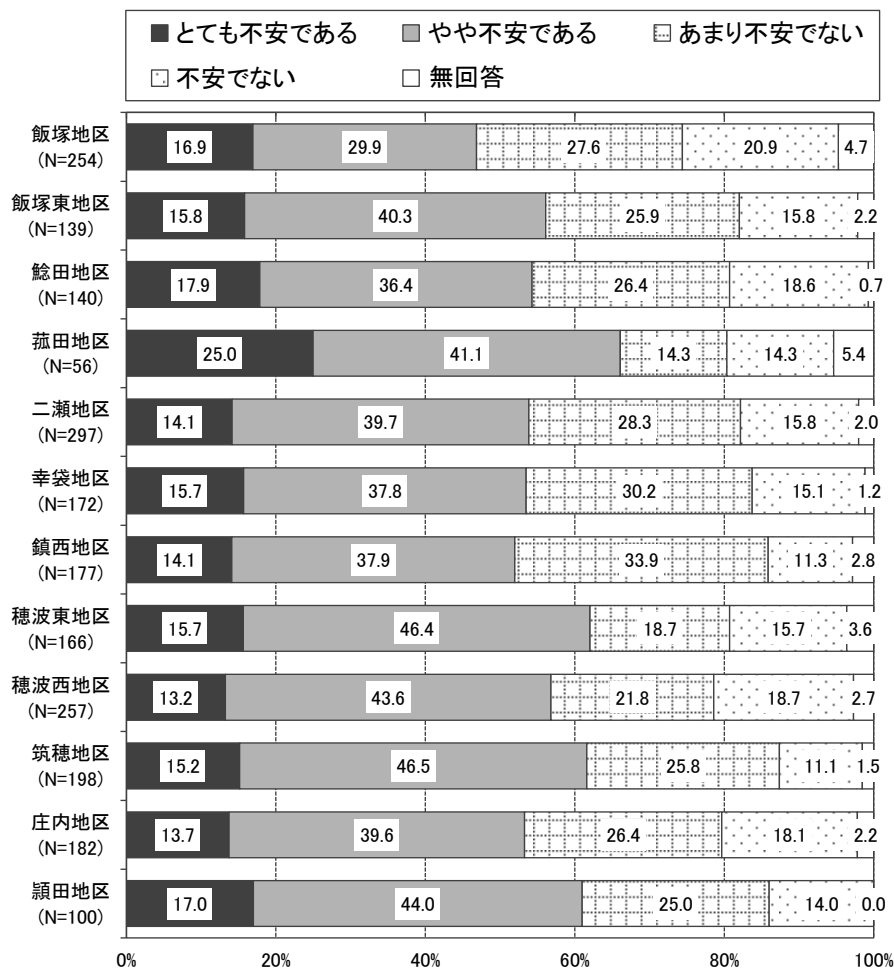
〔転倒に対する不安〕



〔性・年齢別 転倒に対する不安〕



〔居住地区別 転倒に対する不安〕



第2章 調査結果

(3) 閉じこもり

① 閉じこもり

高齢者の外出状況から閉じこもりリスクの判定を行う。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、閉じこもり傾向のある高齢者と判定される。

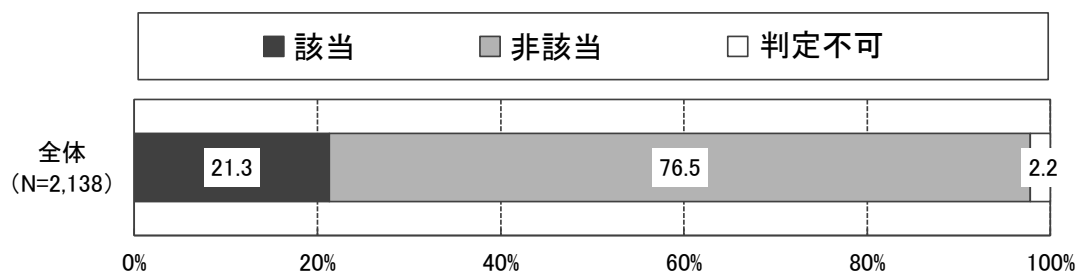
問番号		内容	
問2	(6)	週に1回以上は外出していますか	1 ほとんど外出しない
			2 週1回
			3 週2～4回
			4 週5回以上

■閉じこもり傾向の該当者は、全体で21.3%となっている。

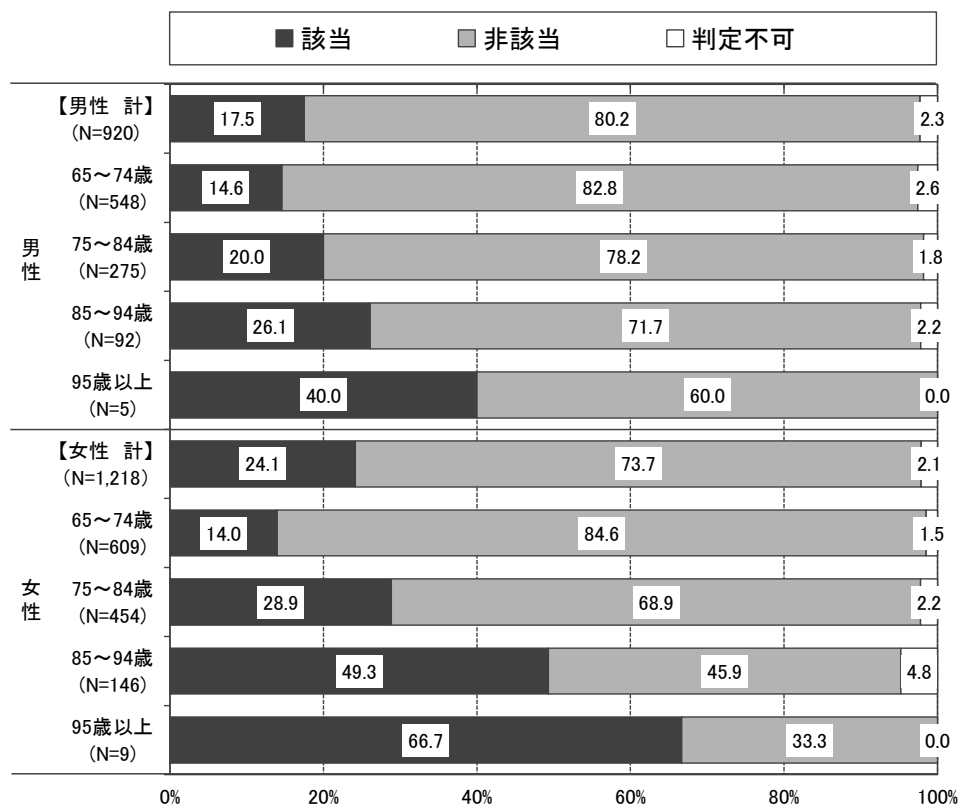
■性別にみると、該当者の割合は男性全体に比べ女性全体の該当者の割合が高くなっている。年齢別にみると、男女とも年齢とともに高くなっている。

■居住地区別にみると、該当者の割合は、颯田地区(33.0%)で最も高く、飯塚東地区(15.1%)で最も低くなっている。

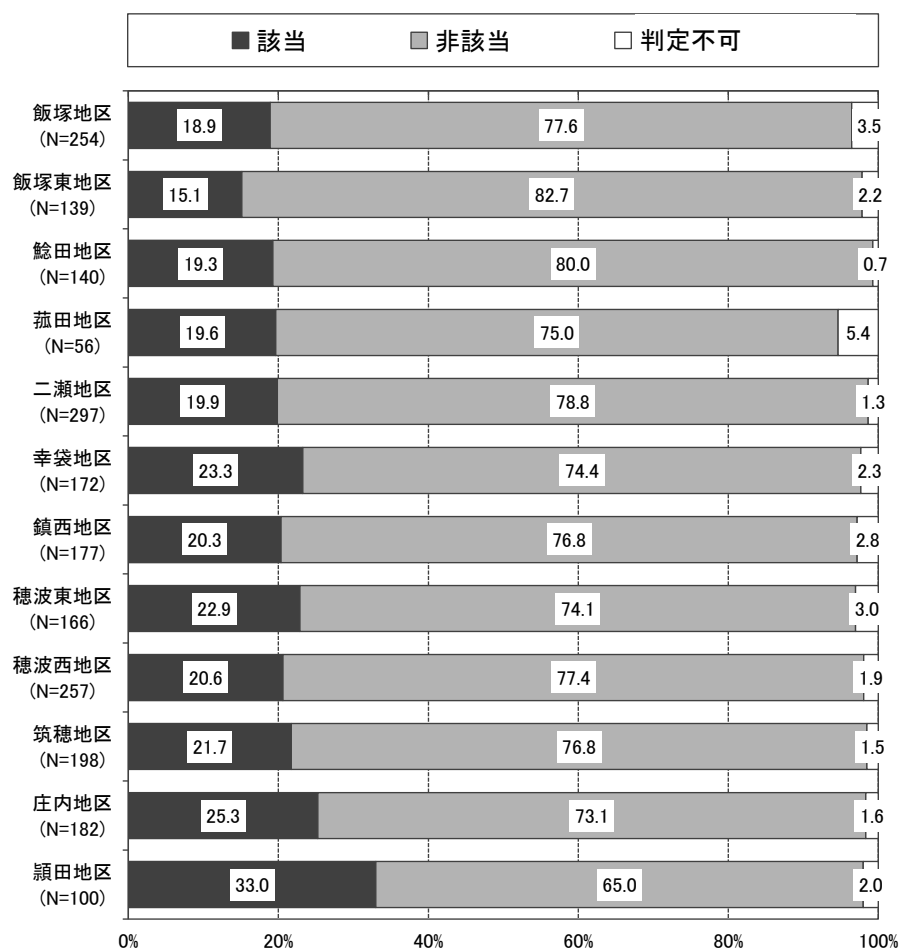
〔閉じこもり傾向判定〕



〔性・年齢別 閉じこもり傾向判定〕



〔居住地区別 閉じこもり傾向判定〕



第2章 調査結果

② 外出の回数

問番号	内容
問2	(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

〔外出の回数〕

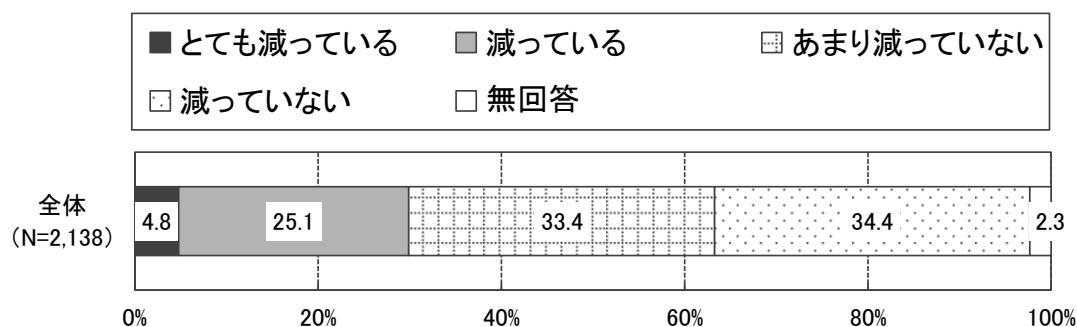
■外出の回数が「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』の割合は、全体で29.9%、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた『減っていない』の割合は全体で67.8%となっている。

■性・年齢別にみると、『減っている』の割合は各年齢層とも男性に比べ女性の『減っている』の割合が高くなっている。

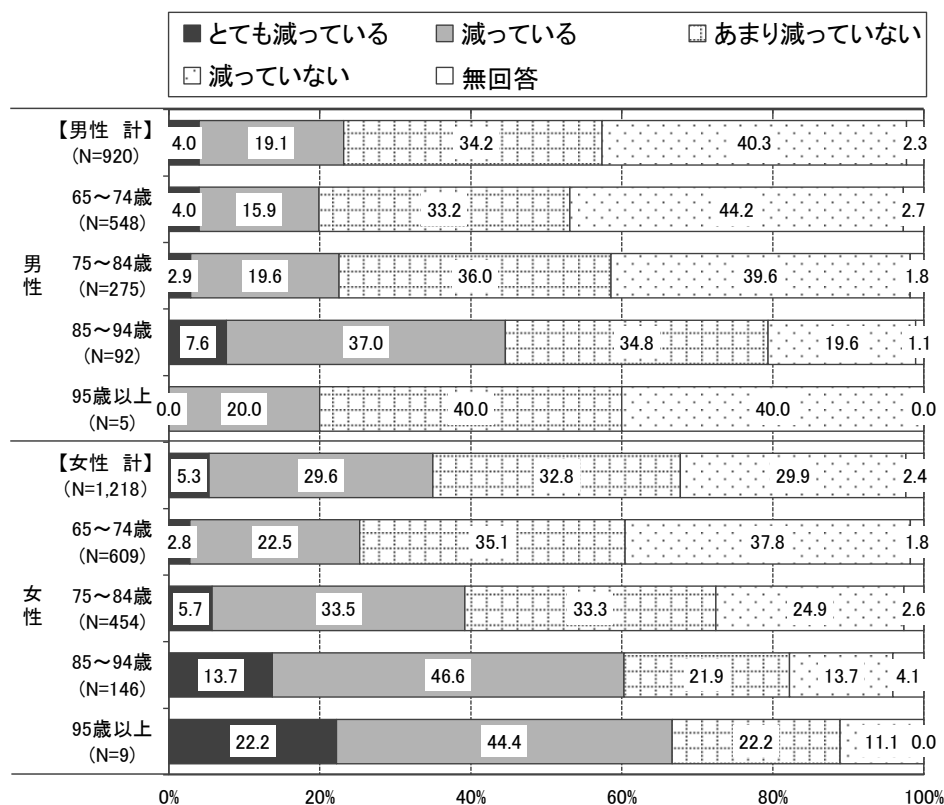
特に女性85歳以上の高齢者で『減っている』の割合が6割以上を占める。

■居住地区別にみると、外出の回数が『減っている』の割合は、穂波東地区（33.1%）で最も高く、颯田地区（26.0%）で最も低くなっている。

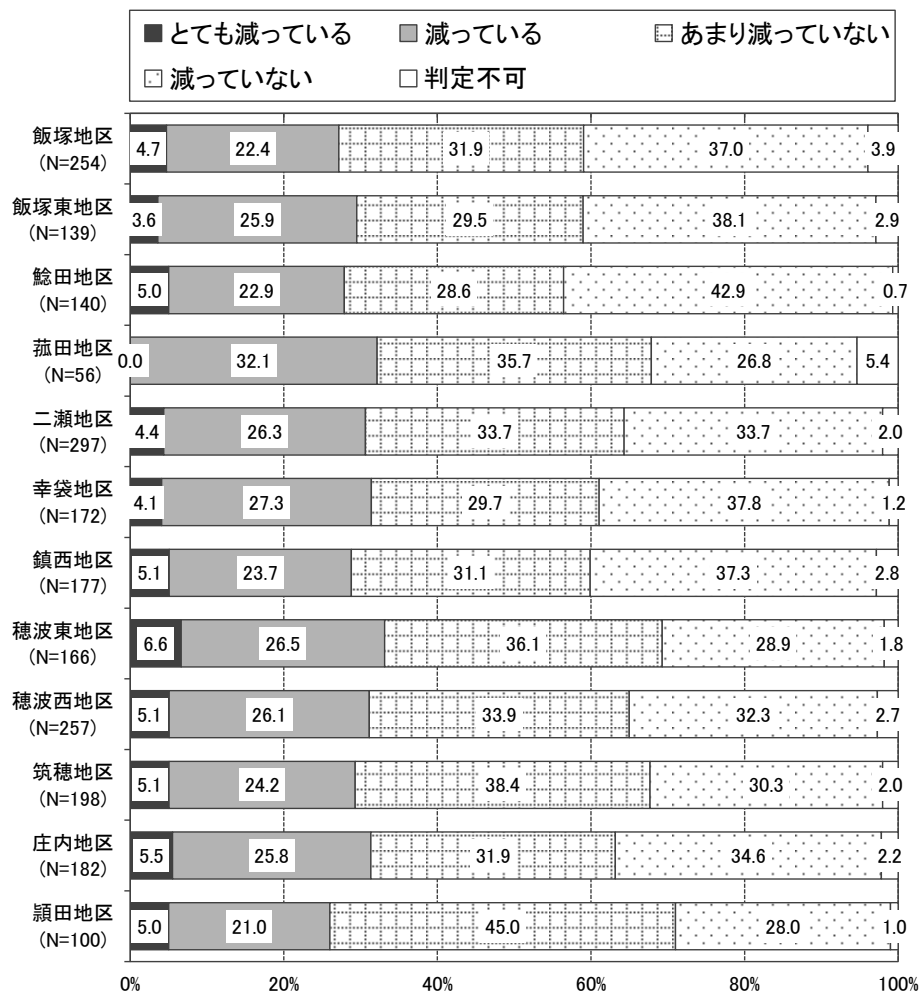
〔外出の回数〕



〔性・年齢別 外出の回数〕



〔居住地区別 外出の回数〕



第2章 調査結果

③ 外出を控えているか

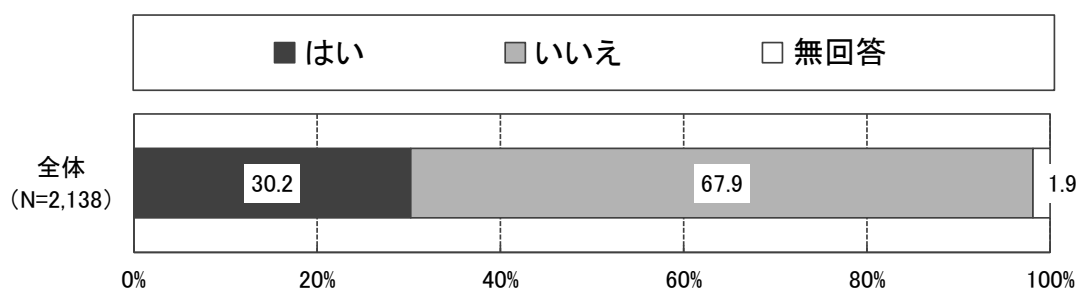
問番号		内容
問2	(8)	外出を控えていますか

■外出を控えているかについて、「はい（控えている）」の割合は、全体で30.2%となっている。

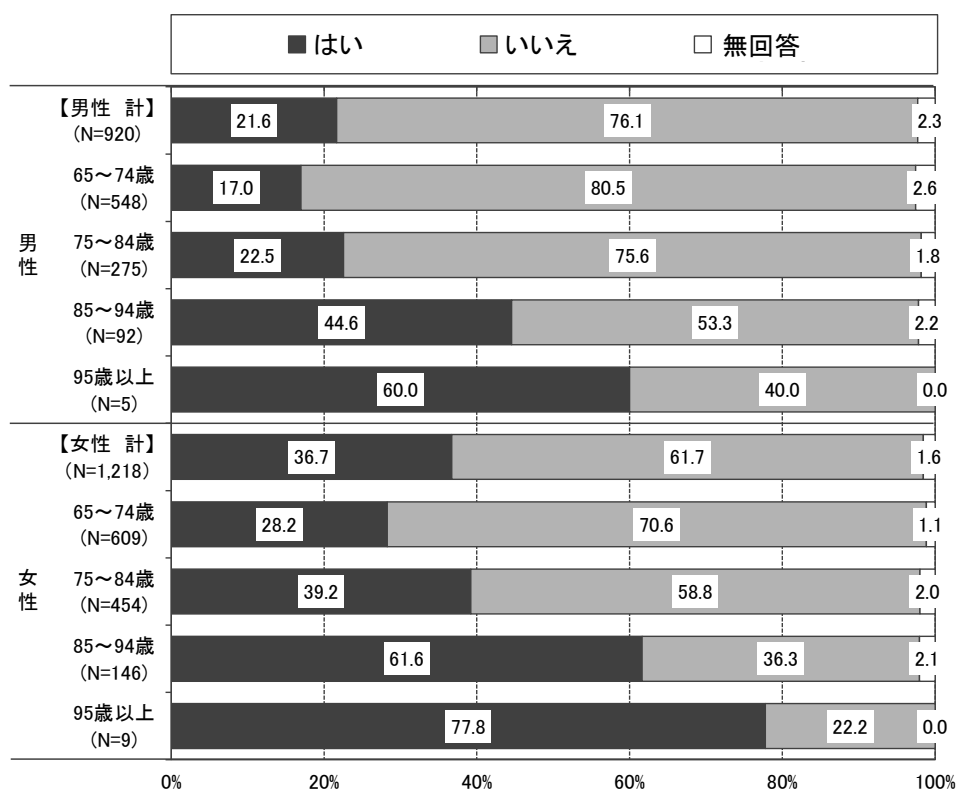
■性・年齢別にみると、「はい（控えている）」の割合は男女とも年齢とともに高くなっていくが、各年齢層とも男性に比べ女性の「はい（控えている）」の割合が高くなっている。特に女性85歳以上の高齢者で「はい（控えている）」の割合が6割以上を占める。

■居住地区別にみると、「外出を控えている」人の割合は、菰田地区（37.5%）で最も高く、庄内地区（25.3%）で最も低くなっている。

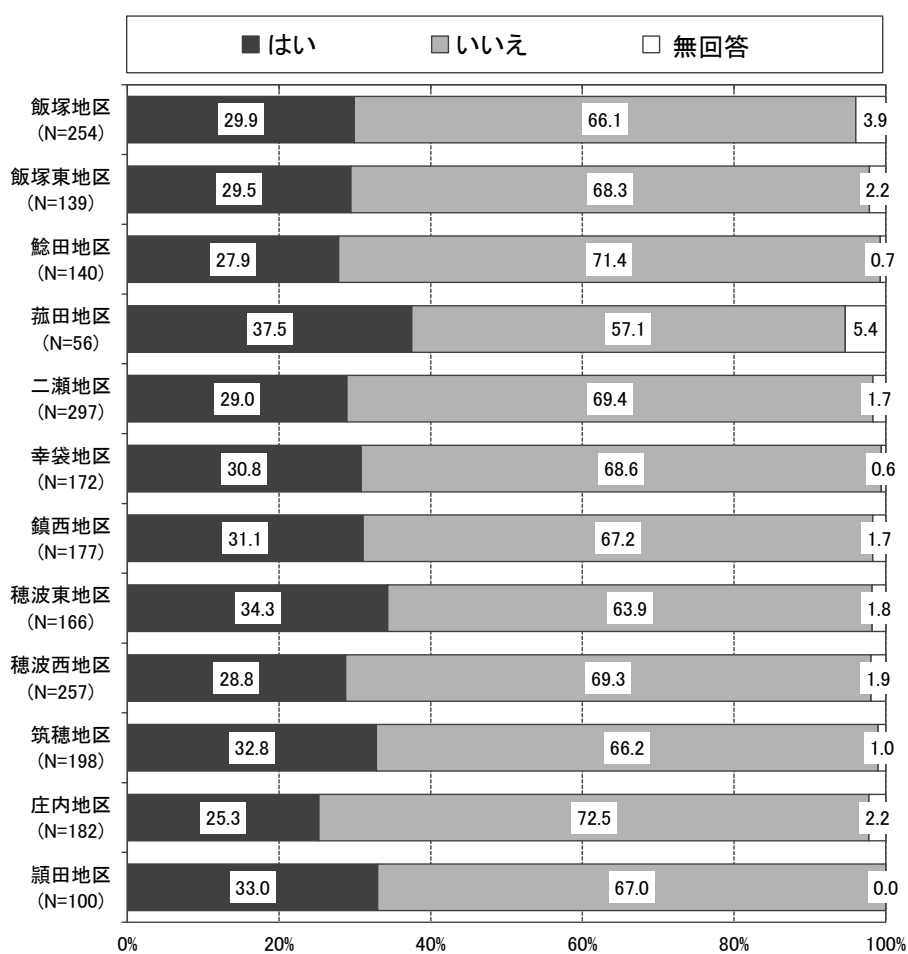
〔外出を控えているか〕



〔性・年齢別 外出を控えているか〕



〔居住地区別 外出を控えているか〕



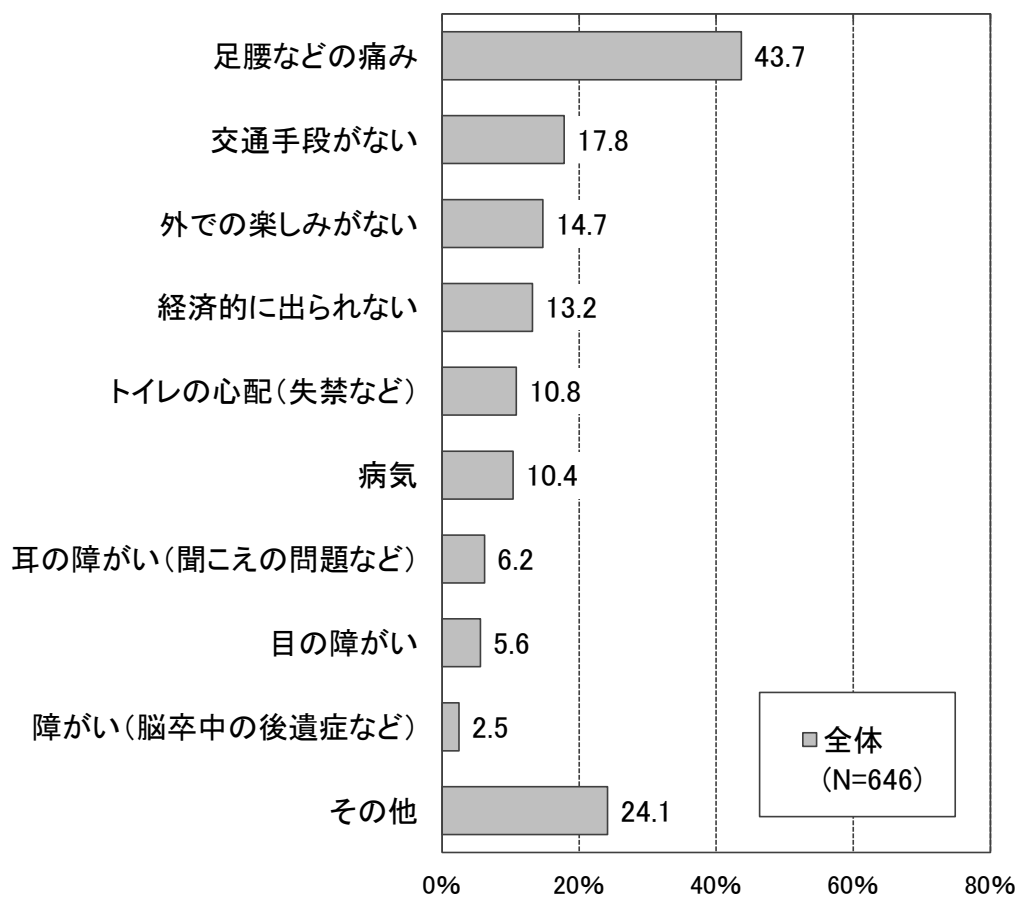
第2章 調査結果

④ 外出を控えている理由

問番号		内容
問2	(8) ①	【(8)で「1. はい(外出を控えている)」の方のみ】 外出を控えている理由は、次のどれですか

- 外出を控えている回答者のその理由は、「足腰などの痛み」(43.7%)が最も高く、次いで「交通手段がない」(17.8%)「外での楽しみがない」(14.7%)と続く。
- 性・年齢別にみると、「足腰などの痛み」の割合は、女性の75歳以上で5割以上を占める。
- 居住地区別にみると、「交通手段がない」の割合は、飯塚東地区(31.7%)で最も高く、潁田地区(9.1%)で最も低くなっている。

〔外出を控えている理由(複数回答)〕



〔性・年齢別、居住地区別 外出を控えている理由（％）〕

		調査数	病 気	障 が い （ 脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど ）	足 腰 な ど の 痛 み	ト イ レ の 心 配 （ 失 禁 な ど ）	耳 の 障 が い （ 聞 こ え の 問 題 な ど ）	目 の 障 が い	外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他
全体		646	10.4	2.5	43.7	10.8	6.2	5.6	14.7	13.2	17.8	24.1
性・年 齢 別	【男性 計】	199	10.6	3.5	35.2	10.1	8.5	7.5	17.6	11.6	13.6	21.1
	65～74歳	93	15.1	3.2	28.0	8.6	4.3	5.4	22.6	15.1	5.4	28.0
	75～84歳	62	6.5	3.2	40.3	11.3	9.7	9.7	12.9	12.9	16.1	21.0
	85～94歳	41	7.3	4.9	41.5	12.2	14.6	7.3	14.6	2.4	29.3	7.3
	95歳以上	3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	【女性 計】	447	10.3	2.0	47.4	11.2	5.1	4.7	13.4	13.9	19.7	25.5
	65～74歳	172	8.7	2.3	30.2	5.2	1.2	2.9	16.3	17.4	12.2	39.0
	75～84歳	178	14.0	1.7	54.5	13.5	6.7	5.1	11.2	15.2	24.2	18.5
	85～94歳	90	6.7	2.2	63.3	15.6	8.9	6.7	10.0	5.6	24.4	14.4
95歳以上	7	0.0	0.0	85.7	42.9	14.3	14.3	42.9	0.0	28.6	14.3	
居 住 地 区	飯塚地区	76	6.6	0.0	42.1	6.6	3.9	7.9	10.5	13.2	15.8	31.6
	飯塚東地区	41	12.2	0.0	51.2	7.3	7.3	0.0	17.1	12.2	31.7	19.5
	鯉田地区	39	7.7	0.0	38.5	7.7	10.3	2.6	7.7	17.9	17.9	25.6
	菰田地区	21	14.3	9.5	23.8	14.3	9.5	9.5	14.3	19.0	9.5	38.1
	二瀬地区	86	15.1	1.2	41.9	10.5	3.5	3.5	18.6	10.5	11.6	26.7
	幸袋地区	53	7.5	3.8	37.7	13.2	13.2	9.4	13.2	11.3	24.5	24.5
	鎮西地区	55	12.7	5.5	45.5	16.4	1.8	9.1	16.4	14.5	12.7	32.7
	穂波東地区	57	14.0	1.8	47.4	7.0	12.3	5.3	19.3	19.3	19.3	14.0
	穂波西地区	74	6.8	5.4	43.2	12.2	5.4	6.8	17.6	18.9	20.3	14.9
	筑穂地区	65	10.8	1.5	46.2	15.4	1.5	4.6	7.7	3.1	20.0	27.7
	庄内地区	46	6.5	2.2	43.5	4.3	2.2	4.3	15.2	10.9	19.6	21.7
	額田地区	33	12.1	3.0	57.6	18.2	12.1	3.0	18.2	12.1	9.1	15.2

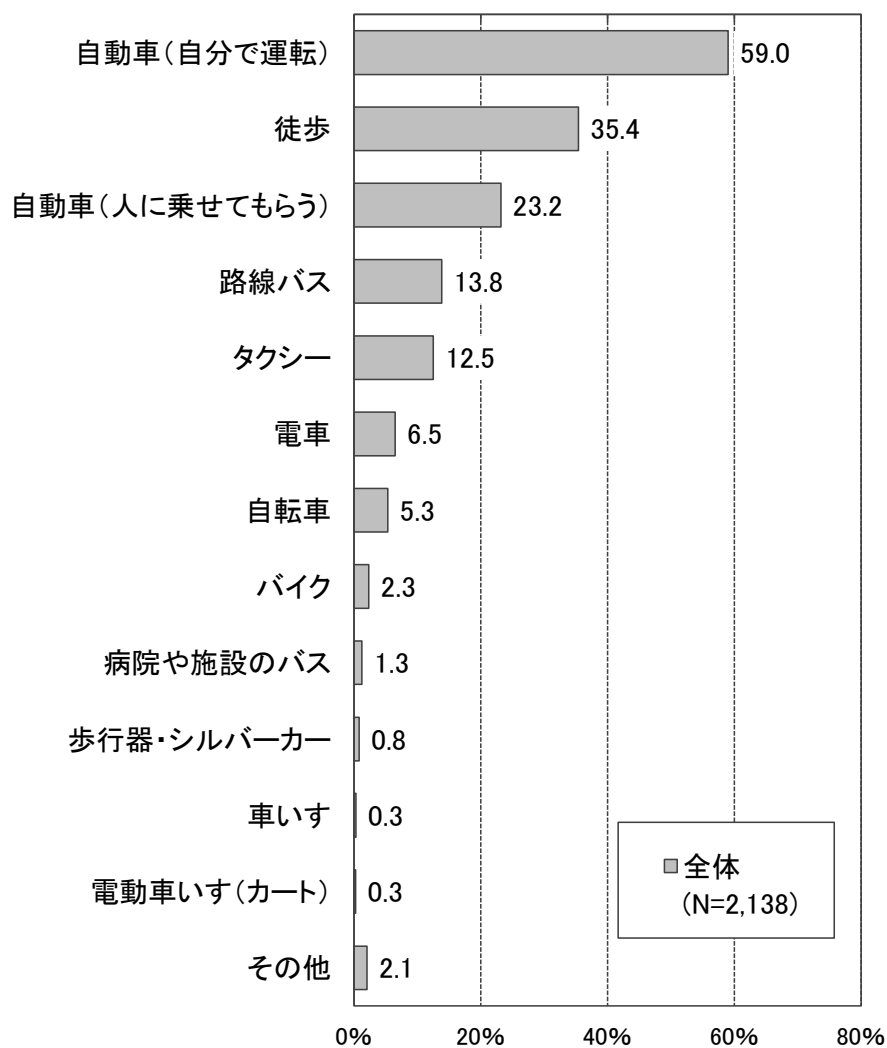
第2章 調査結果

⑤ 外出の際の移動手段

問番号		内容
問2	(9)	外出する際の移動手段は何ですか

- 外出の際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」（59.0％）の割合が最も高く、次いで「徒歩」（35.4％）、「自動車（人に乗せてもらう）」（23.2％）、「路線バス」（13.8％）と続く。
- 性・年齢別にみると、「自動車（自分で運転）」の割合は、男女ともに年齢層が上がるほど割合が低くなっている。一方で、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合は、男女ともに年齢層が上がるほど割合が高くなっている。
- 居住地区別にみると、「自動車（自分で運転）」の割合は筑穂地区（67.2％）で最も高く、菰田地区（46.4％）で最も低い。また、「電車」の割合は鯉田地区（15.7％）で最も高く、二瀬地区（2.7％）で最も低い。「路線バス」の割合は鯉田地区（24.3％）で最も高く、筑穂地区（5.1％）で最も低い。

〔外出の際の移動手段（複数回答）〕



〔性・年齢別、居住地区別 外出の際の移動手段（％）〕

		調査数	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他
全体		2,138	35.4	5.3	2.3	59.0	23.2	6.5	13.8	1.3	0.3	0.3	0.8	12.5	2.1
性・年齢別	【男性 計】	920	33.6	7.9	2.8	76.1	9.3	5.5	8.6	0.7	0.0	0.3	0.2	6.7	0.9
	65～74歳	548	33.9	8.9	2.6	81.4	6.0	6.9	8.2	0.5	0.0	0.0	0.2	4.9	0.2
	75～84歳	275	33.1	6.9	2.9	76.7	11.6	3.3	7.6	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	2.2
	85～94歳	92	31.5	3.3	3.3	46.7	20.7	3.3	12.0	3.3	0.0	3.3	1.1	16.3	1.1
	95歳以上	5	60.0	40.0	20.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	【女性 計】	1,218	36.8	3.4	2.0	46.1	33.7	7.2	17.8	1.7	0.6	0.2	1.3	16.9	3.0
	65～74歳	609	35.6	3.8	2.0	63.7	29.1	10.2	14.0	0.3	0.3	0.3	0.2	9.9	1.6
	75～84歳	454	37.9	3.5	2.0	36.3	33.7	4.8	21.8	3.1	0.4	0.0	1.8	18.9	3.7
	85～94歳	146	38.4	1.4	2.1	6.2	50.7	2.7	21.9	3.4	1.4	0.7	4.8	40.4	5.5
	95歳以上	9	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1
居住地区	飯塚地区	254	53.5	6.7	2.4	49.6	21.3	10.2	20.5	1.6	1.2	0.4	1.6	19.3	0.8
	飯塚東地区	139	33.1	3.6	3.6	60.4	23.7	5.8	14.4	0.7	0.0	0.0	0.0	12.9	1.4
	鯉田地区	140	38.6	5.7	1.4	62.1	19.3	15.7	24.3	0.0	0.0	0.0	0.7	16.4	2.1
	菰田地区	56	32.1	7.1	0.0	46.4	25.0	8.9	7.1	0.0	3.6	0.0	1.8	10.7	1.8
	二瀬地区	297	34.7	5.1	3.4	56.6	21.9	2.7	16.5	1.3	0.0	0.0	0.7	11.8	2.4
	幸袋地区	172	28.5	6.4	1.7	57.6	25.6	4.1	11.6	1.7	0.0	0.0	0.6	14.5	2.9
	鎮西地区	177	28.8	3.4	1.7	66.7	20.3	3.4	10.2	1.1	0.6	0.6	0.6	7.9	4.0
	穂波東地区	166	42.2	5.4	3.0	54.8	27.7	7.8	9.0	1.8	0.0	0.0	1.8	15.1	1.2
	穂波西地区	257	38.9	7.8	3.9	60.3	21.0	5.8	14.0	0.8	0.4	0.8	1.2	14.8	1.2
	筑穂地区	198	24.2	2.5	1.5	67.2	29.3	8.6	5.1	2.5	0.0	0.5	0.5	5.1	2.0
	庄内地区	182	29.7	3.3	0.5	64.3	19.8	4.9	14.3	1.1	0.0	0.0	0.0	11.0	2.2
	舘田地区	100	28.0	8.0	2.0	58.0	29.0	3.0	12.0	1.0	0.0	1.0	1.0	5.0	4.0

2 食べることについて

ここでは、低栄養の傾向や、口腔機能、口腔ケア・口腔の健康状態、孤食の状況を把握する。

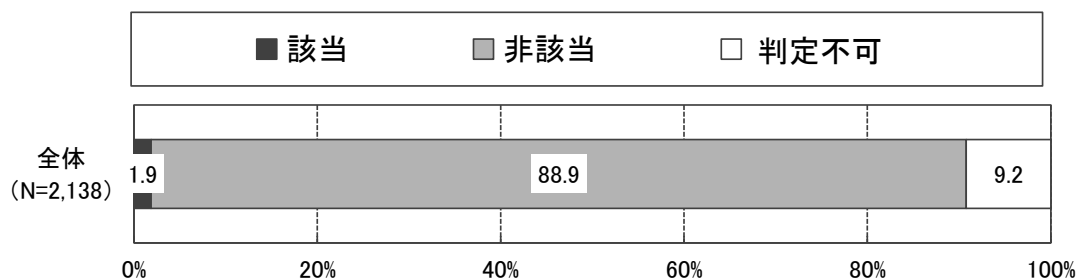
（１）低栄養

高齢者の身長・体重から、BMI を算出し、低栄養のリスク判定を行う。BMI が18.5以下、かつ、この半年間で体重減少があった場合、低栄養状態と判定される。

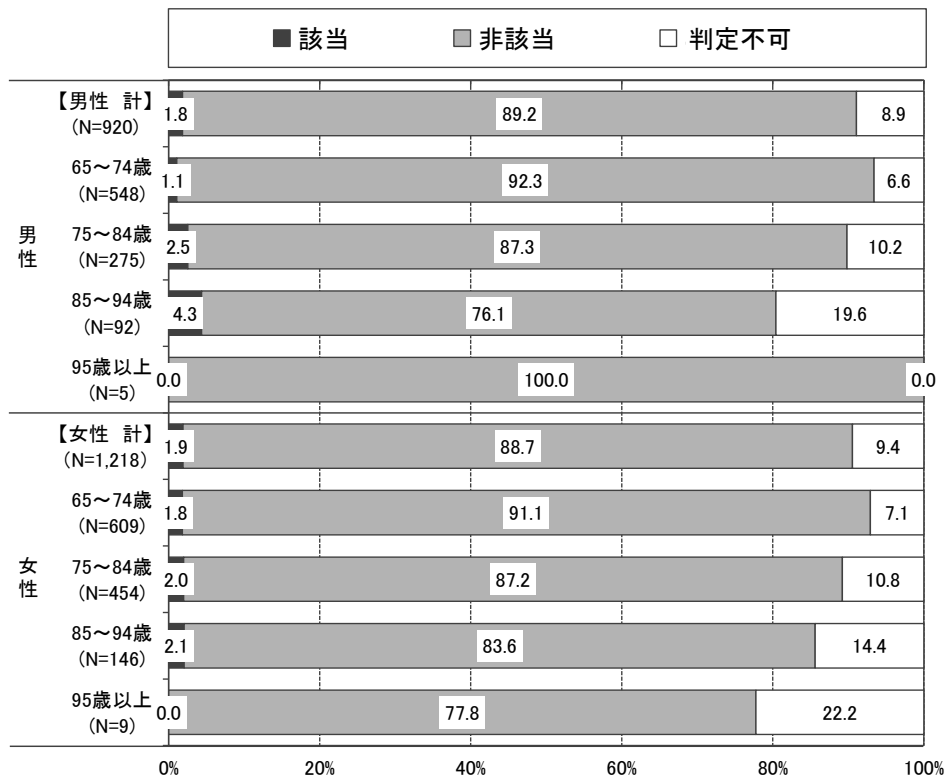
問番号		内容	回答
問3	(1)	体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)}	≤18.5
問3	(7)	6 か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1 はい 2 いいえ

- 低栄養状態の該当者は、全体で1.9%となっており、他のリスク判定項目に比べて非常に低くなっている。
- 性・年齢別にみると、該当者の割合は男女ともに85～94歳で高くなっているが、数値は他のリスク判定項目に比べて非常に低い。
- 割合が少なく、居住地区別による大きな差はみられない。

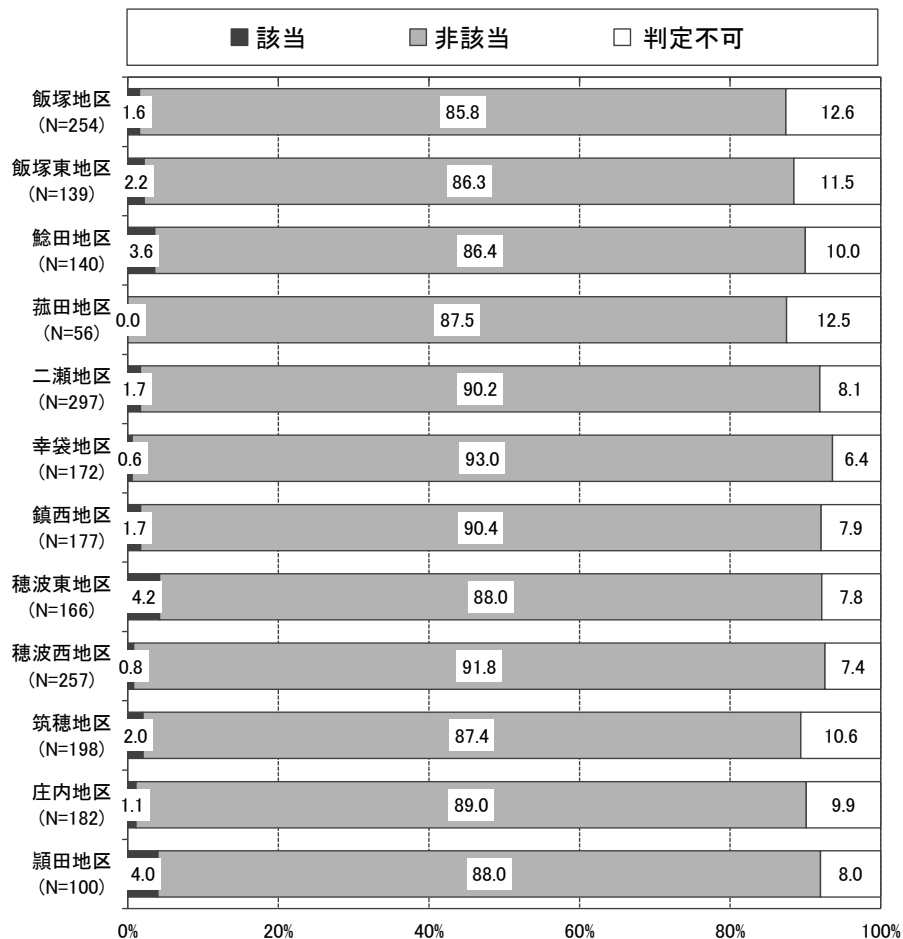
〔低栄養傾向判定〕



〔性・年齢別 低栄養傾向判定〕



〔居住地区別 低栄養傾向判定〕



第2章 調査結果

(2) 口腔機能

① 咀嚼機能

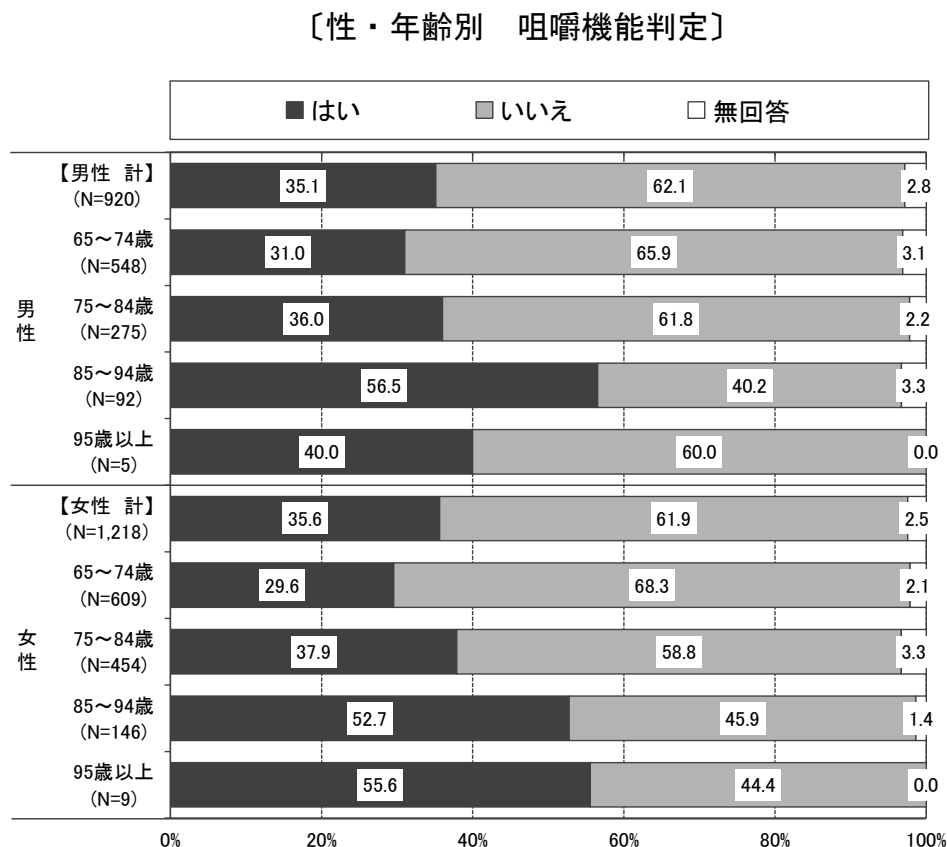
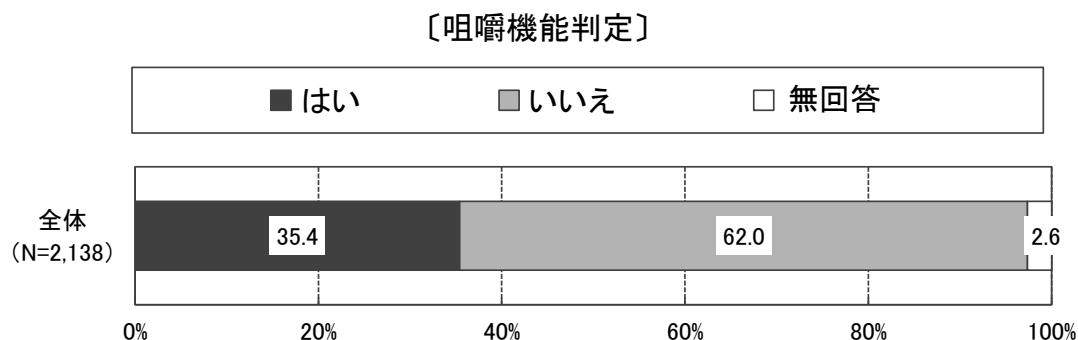
咀嚼機能の低下を把握する。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい 2 いいえ

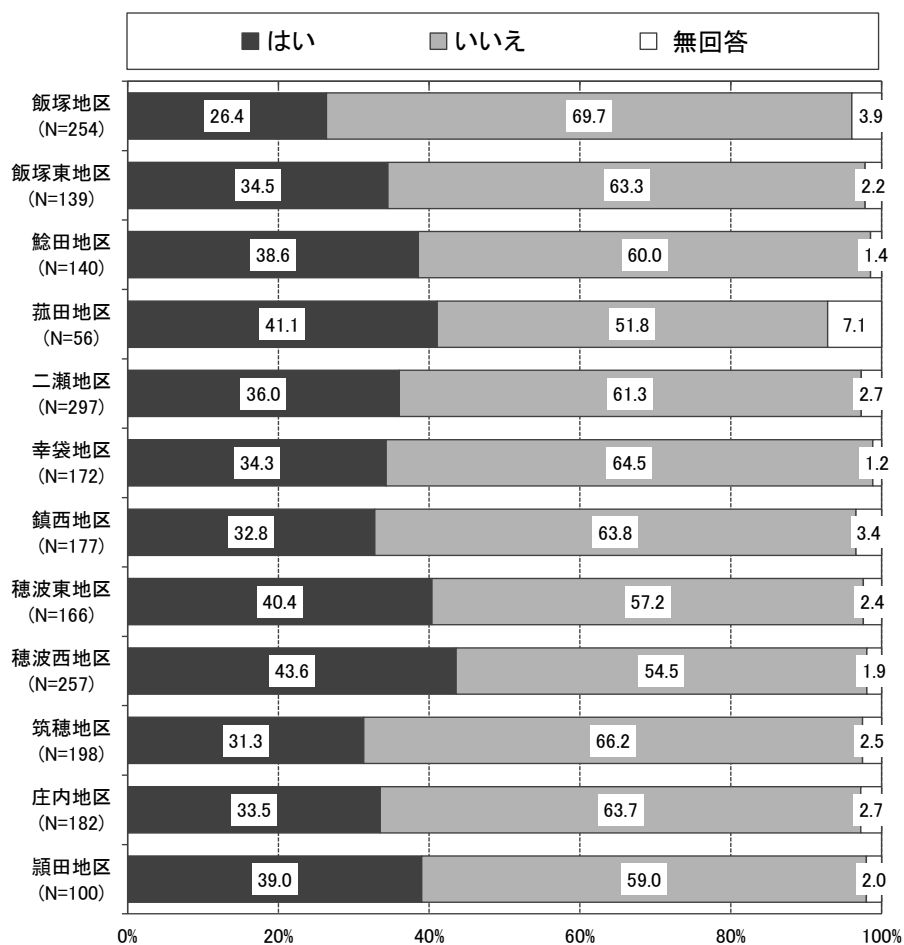
■咀嚼機能判定の該当者は、全体で35.4%となっている。

■性・年齢別にみると、女性は該当者の割合が年齢とともに高くなり、85歳以上では5割以上を占める。

■居住地区別にみると、該当者の割合は、穂波西地区(43.6%)で最も高く、飯塚地区(26.4%)で最も低くなっている。



〔居住地区別 咀嚼機能判定〕



第2章 調査結果

② 嚥下機能

嚥下機能の低下を把握する。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、嚥下機能の低下が疑われる高齢者と判定される。

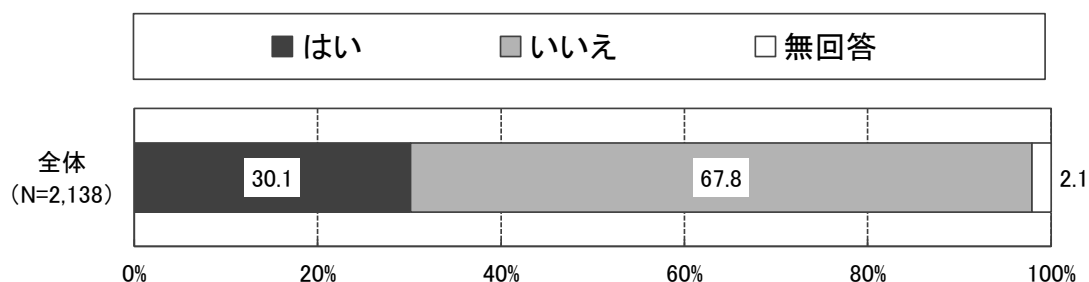
問番号	内容	回答
問3	(3) お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい 2 いいえ

■嚥下機能判定の該当者は、全体で30.1%となっている。

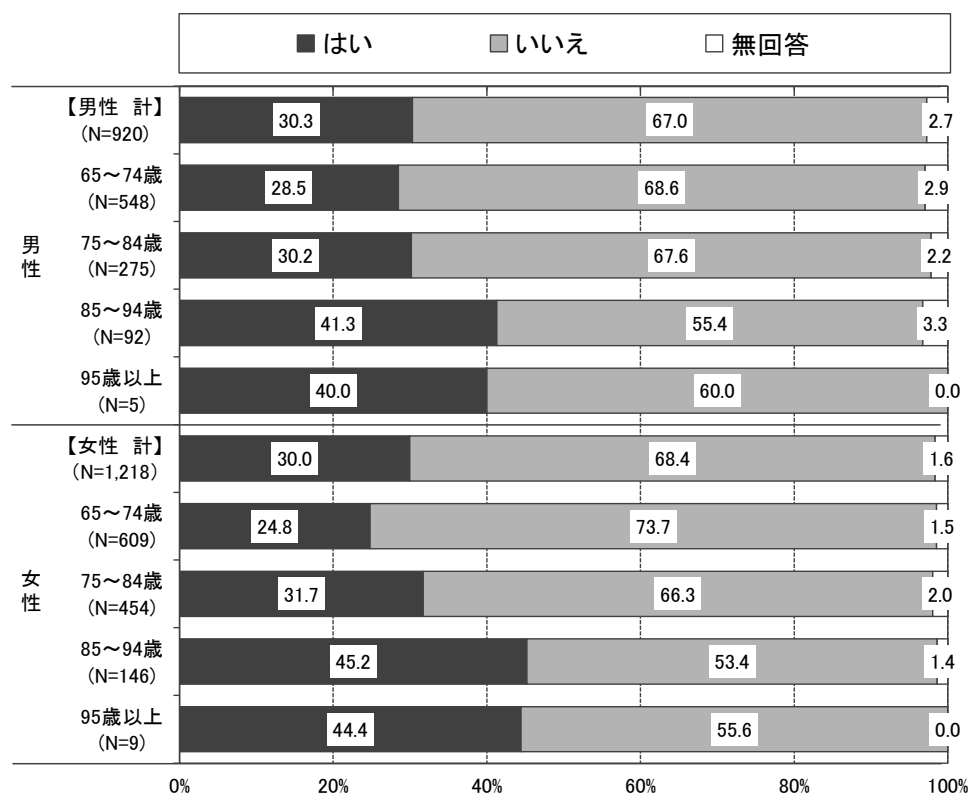
■性・年齢別にみると、該当者の割合に男女差はほとんどなく、年齢とともに高くなる傾向にある。

■居住地区別にみると、該当者の割合は、鎮西地区(35.0%)で最も高く、鯉田地区(24.3%)で最も低くなっている。

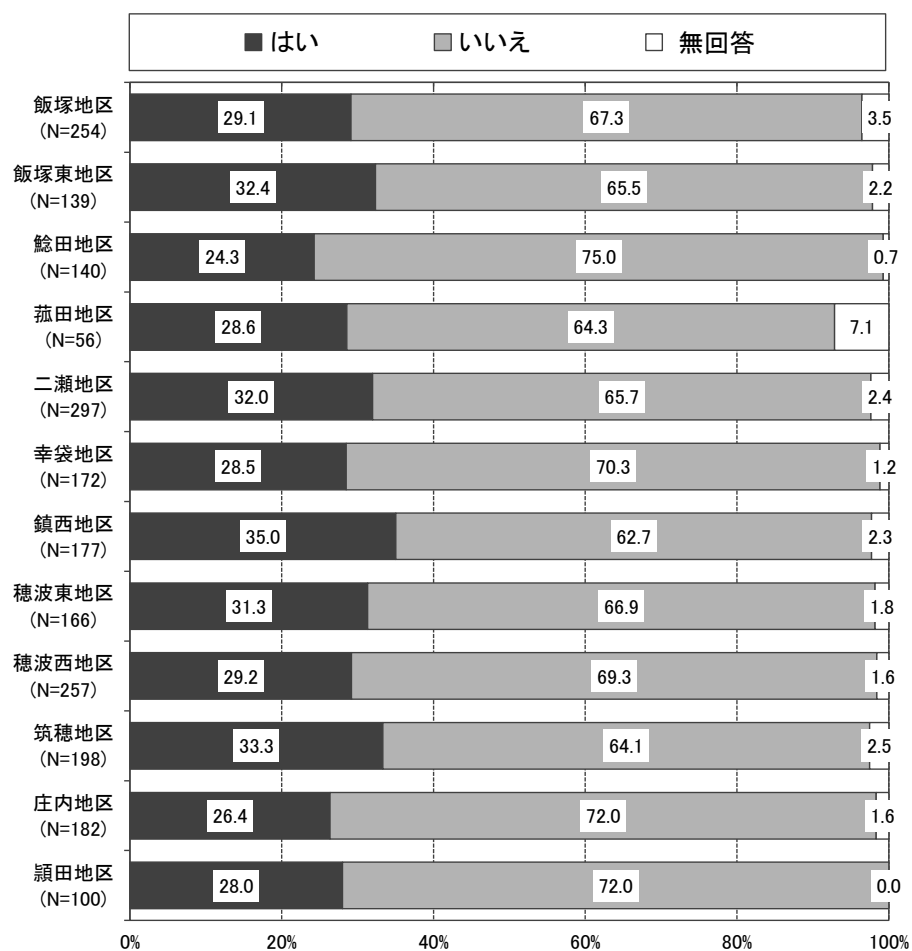
〔嚥下機能判定〕



〔性・年齢別 嚥下機能判定〕



〔居住地区別 嚥下機能判定〕



第2章 調査結果

③ 肺炎発症リスク

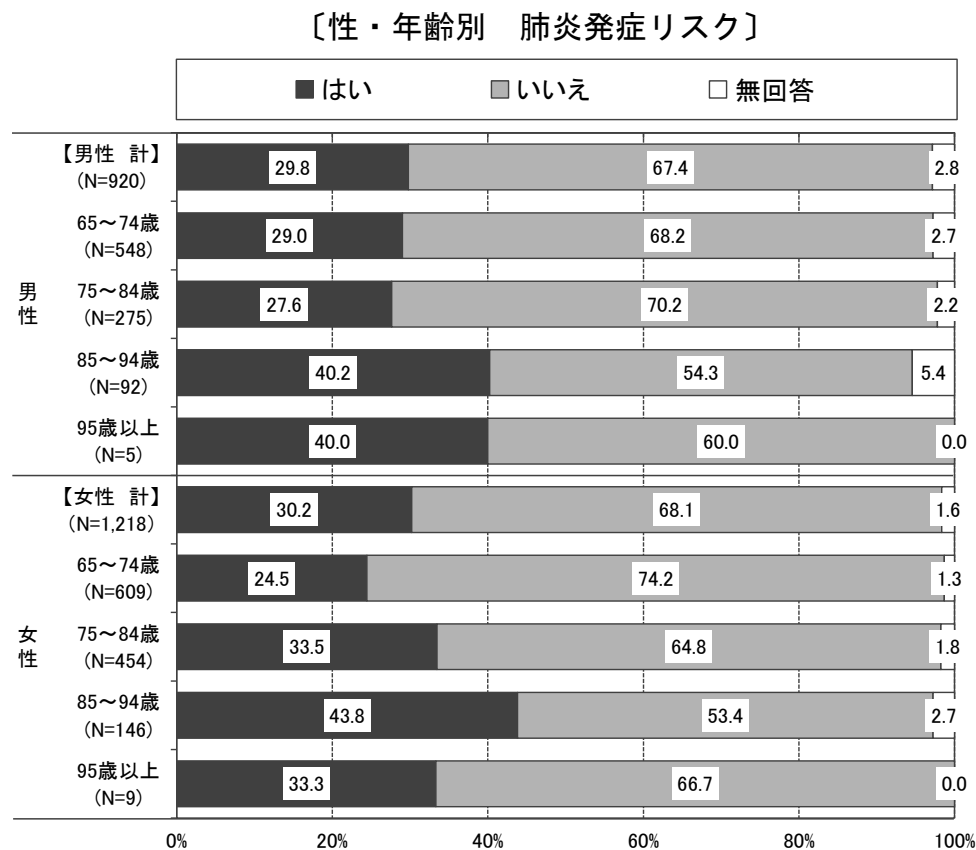
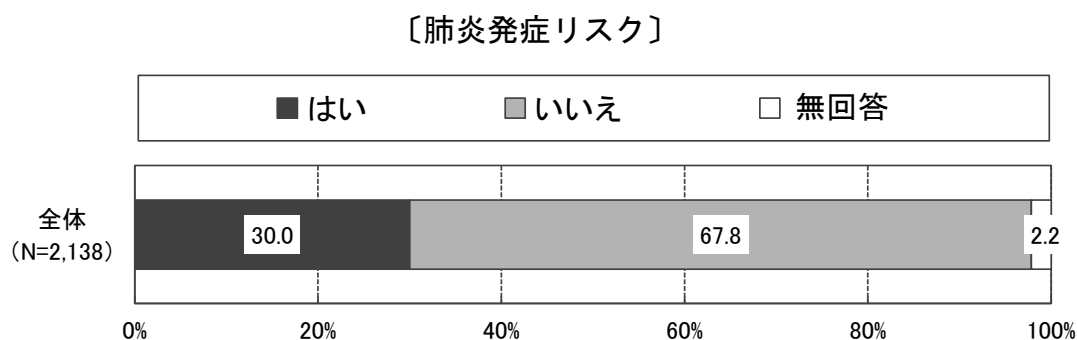
肺炎発症リスクの判定を行う。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、肺炎発症リスクのある高齢者と判定される。

問番号	内容	回答
問3	(4) 口の渇きが気になりますか	1 はい 2 いいえ

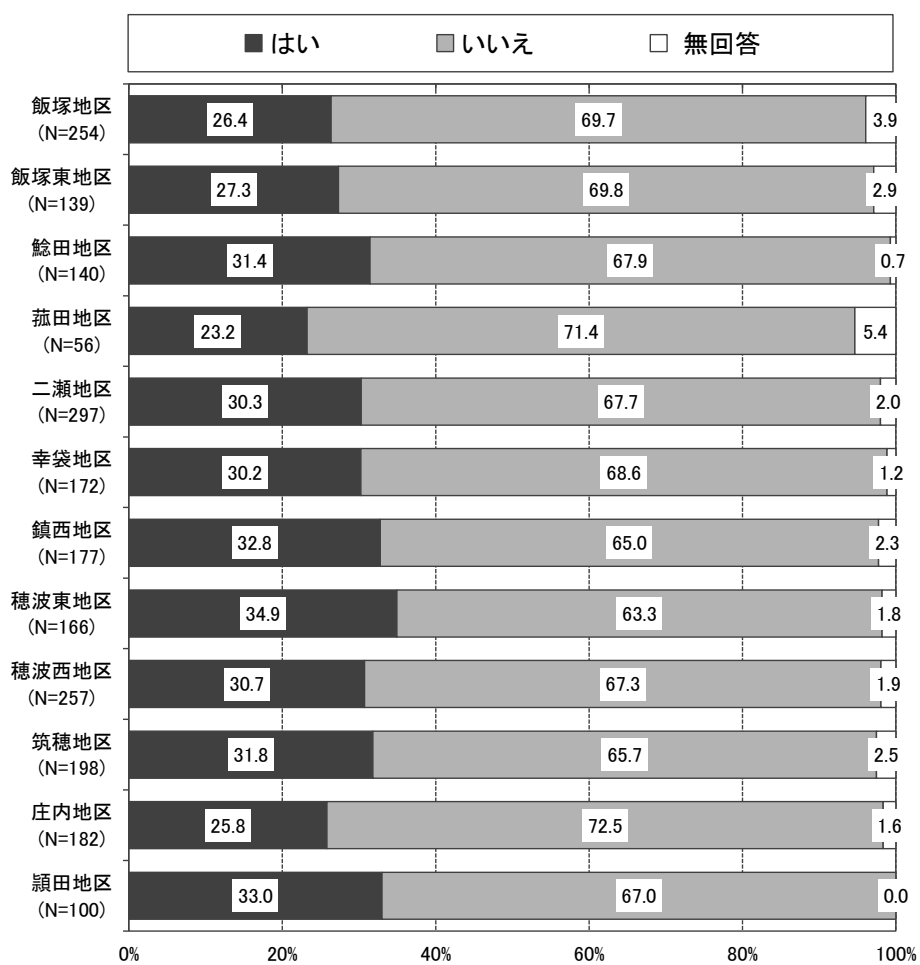
■肺炎発症リスクの該当者（リスク有り）は、全体で30.0%となっている。

■性別にみると、男性全体、女性全体の該当者の割合に男女差はほとんどない。年齢別にみると、男女とも年齢とともに高くなる傾向にある。

■居住地区別にみると、該当者の割合は、穂波東地区(34.9%)で最も高く、菰田地区(23.2%)で最も低くなっている。



〔居住地区別 肺炎発症リスク〕



第2章 調査結果

④ 口腔機能

口腔機能の低下を把握する。下表の3つの設問のうち、網掛け部分に2問（点）以上該当した場合、口腔機能の低下と判定される。

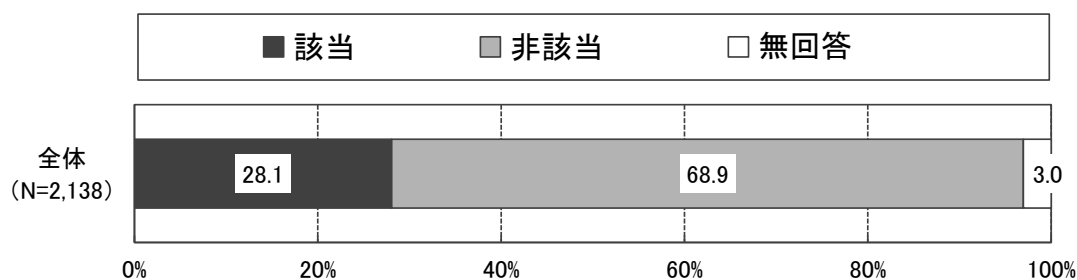
問番号		内容	回答
問3	(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい（1点）
			2 いいえ
問3	(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい（1点）
			2 いいえ
問3	(4)	口の渇きが気になりますか	1 はい（1点）
			2 いいえ

■口腔機能判定の該当者は、全体で28.1%となっている。

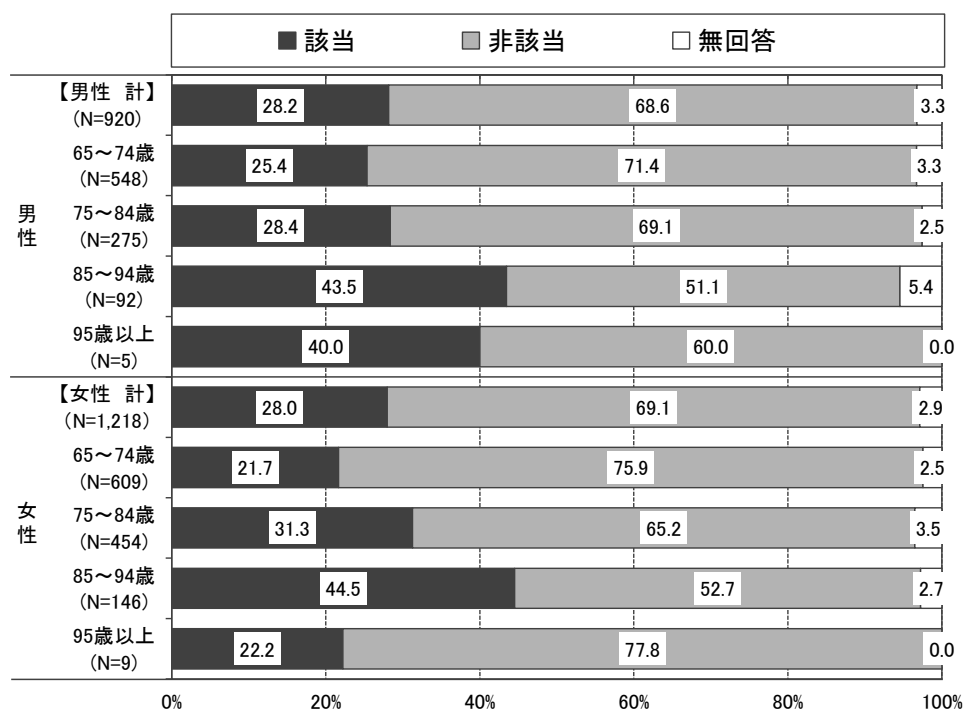
■性別にみると、男性全体、女性全体の該当者の割合に男女差はほとんどない。

■居住地区別にみると、該当者の割合は、穂波東地区(33.7%)で最も高く、飯塚地区(23.2%)で最も低くなっている。

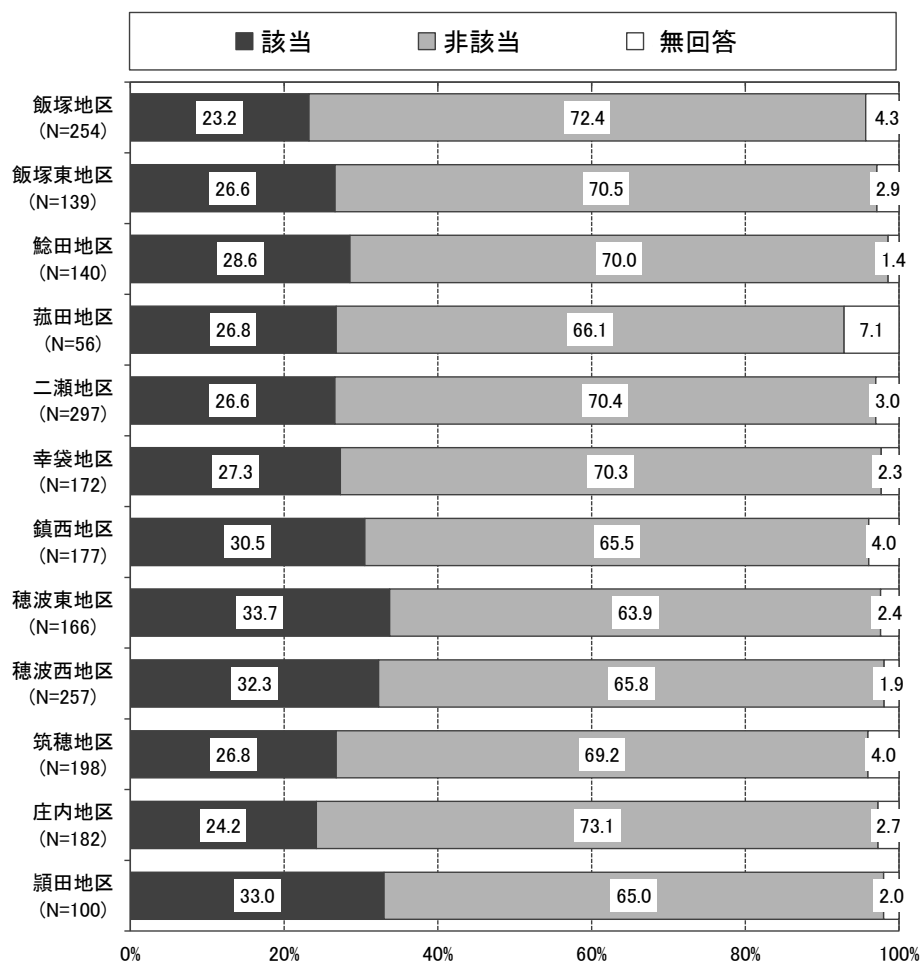
〔口腔機能判定〕



〔性・年齢別 口腔機能判定〕



〔居住地区別 口腔機能判定〕



第2章 調査結果

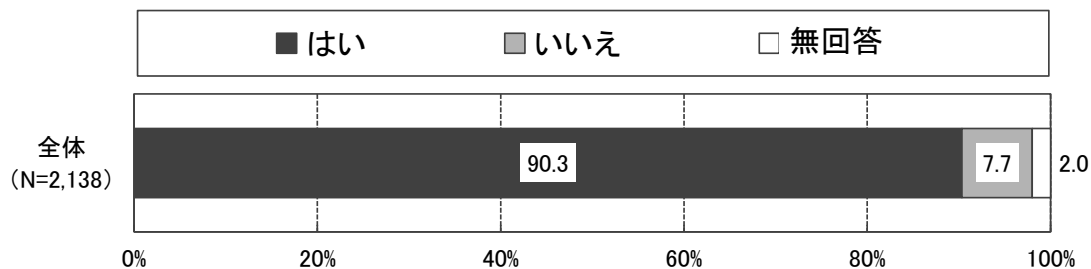
(3) 口腔ケア・口腔の健康状態

① 歯磨きを毎日しているか

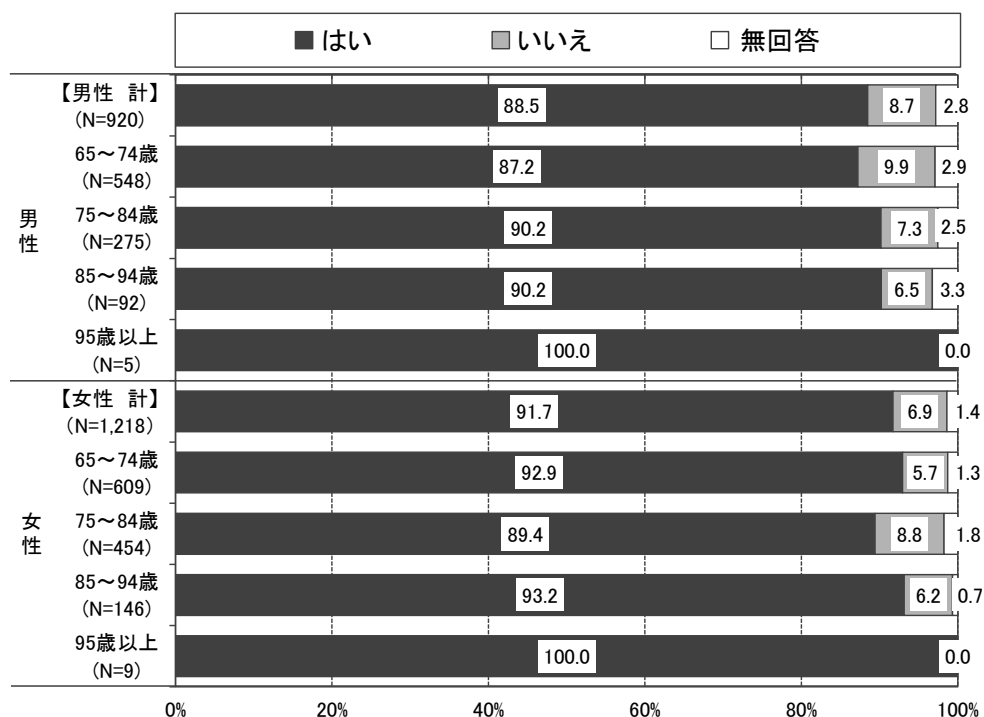
問番号		内容
問3	(5)	歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

- 歯磨きを毎日しているかについて、「はい（毎日している）」の割合は、全体で90.3%と非常に高くなっている。
- 性・年齢別にみると、65～94歳では、「はい（毎日している）」の割合に男女差はほとんどなく、約9割を占めている。95歳以上では、男女ともに10割を占めている。
- 居住地区別にみると、「歯磨きを毎日している」と回答した割合は、潁田地区（94.0%）で最も高く、菰田地区（83.9%）で最も低くなっている。

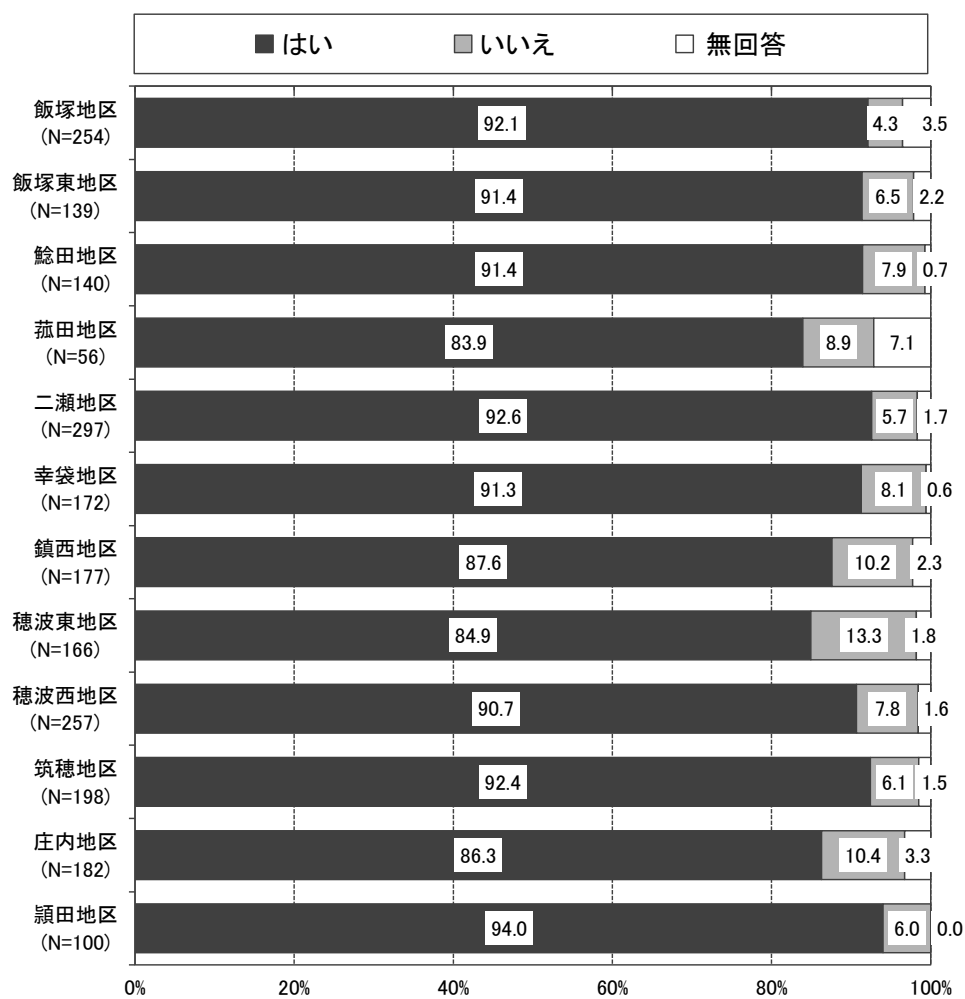
〔歯磨きを毎日しているか〕



〔性・年齢別 歯磨きを毎日しているか〕



〔居住地区別 歯磨きを毎日しているか〕



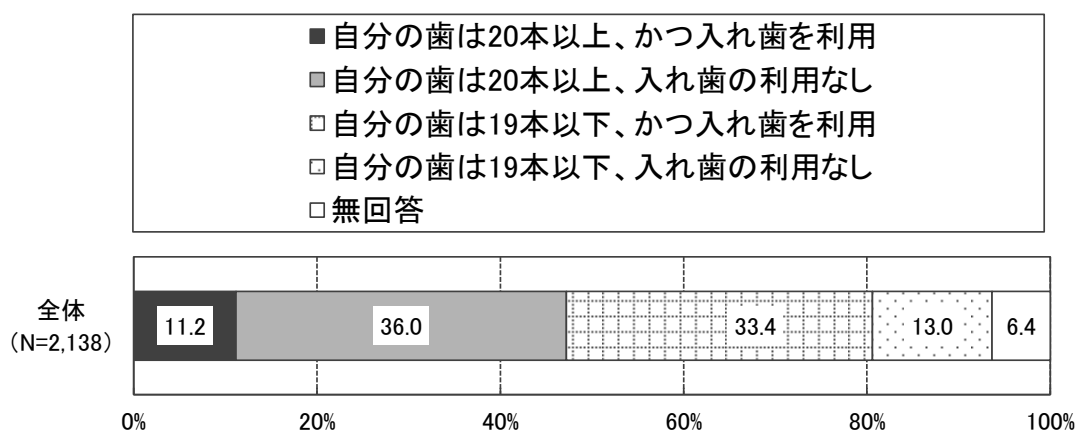
第2章 調査結果

② 義歯の有無と歯数

問番号		内容
問3	(6)	歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

- 歯の数と入れ歯の利用状況をたずねたところ、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(36.0%)の割合が最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(33.4%)となっている。
- 性・年齢別にみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」の割合は、男女とも年齢とともに割合が低くなっている。また、物を噛む行為が脳に刺激を与えることから、残存数が多いほど認知症リスクが低いということが分かっているが、本調査の認知機能判定別にみると、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の割合は認知機能低下者で35.3%と最も高くなっている。
- 居住地区別にみると、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」と回答した割合は、飯塚地区、筑穂地区(40.9%)で最も高く、潁田地区(24.0%)で最も低くなっている。

〔義歯の有無と歯数〕



〔性・年齢別、居住地区別、認知機能判定別 義歯の有無と歯数（％）〕

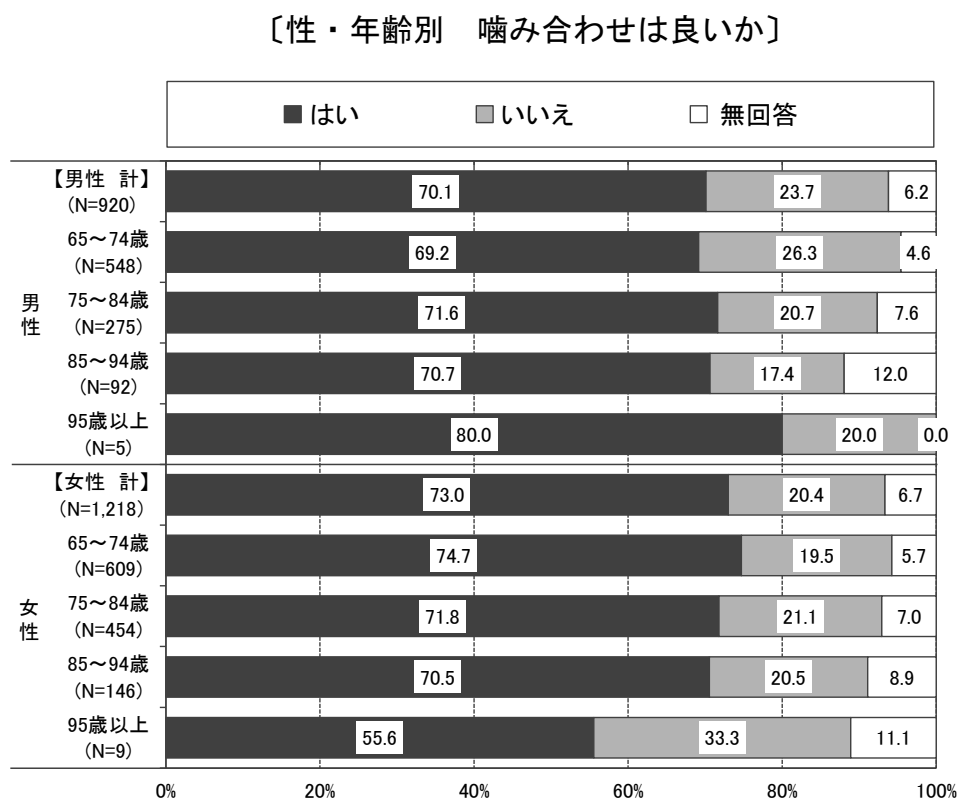
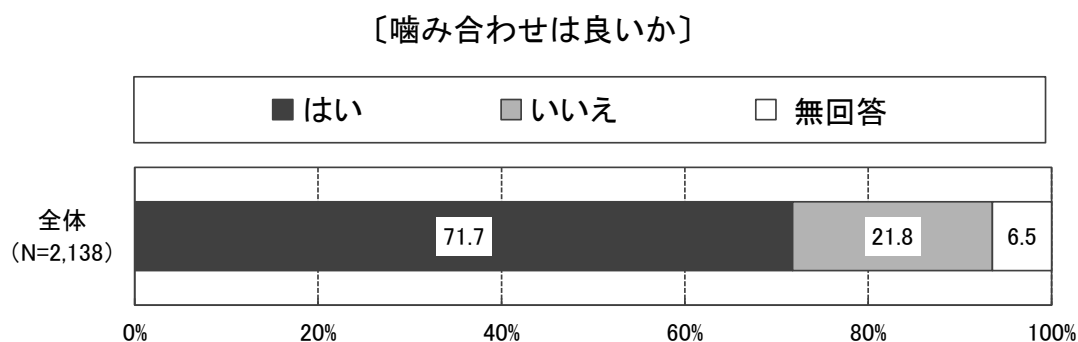
		調査数	自分の歯は20本以上、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、 入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、 かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、 入れ歯の利用なし	無回答
	全体	2,138	11.2	36.0	33.4	13.0	6.4
性・年齢別	【男性 計】	920	12.1	35.4	33.4	13.6	5.5
	65～74歳	548	11.3	41.2	27.2	16.8	3.5
	75～84歳	275	12.7	29.1	43.3	8.7	6.2
	85～94歳	92	14.1	21.7	40.2	8.7	15.2
	95歳以上	5	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0
	【女性 計】	1,218	10.5	36.5	33.4	12.6	7.0
	65～74歳	609	11.3	46.0	25.8	11.7	5.3
	75～84歳	454	10.8	30.8	37.9	13.7	6.8
	85～94歳	146	6.2	15.8	51.4	13.7	13.0
	95歳以上	9	11.1	11.1	33.3	11.1	33.3
居住地区	飯塚地区	254	9.8	40.9	30.7	11.0	7.5
	飯塚東地区	139	10.1	40.3	30.9	13.7	5.0
	鯉田地区	140	8.6	36.4	35.7	13.6	5.7
	菰田地区	56	16.1	30.4	19.6	23.2	10.7
	二瀬地区	297	10.1	35.7	35.0	12.8	6.4
	幸袋地区	172	12.2	30.2	34.9	14.5	8.1
	鎮西地区	177	12.4	35.6	33.3	10.7	7.9
	穂波東地区	166	9.0	37.3	31.3	15.1	7.2
	穂波西地区	257	12.5	32.7	35.8	13.6	5.4
	筑穂地区	198	13.6	40.9	30.3	10.6	4.5
	庄内地区	182	10.4	38.5	31.9	13.7	5.5
	頼田地区	100	13.0	24.0	47.0	12.0	4.0
認知機能判定	低下者	825	10.8	33.9	35.3	14.8	5.2
	非該当	1,224	12.2	38.6	33.1	12.7	3.3
	判定不可	89	1.1	19.1	20.2	1.1	58.4

第2章 調査結果

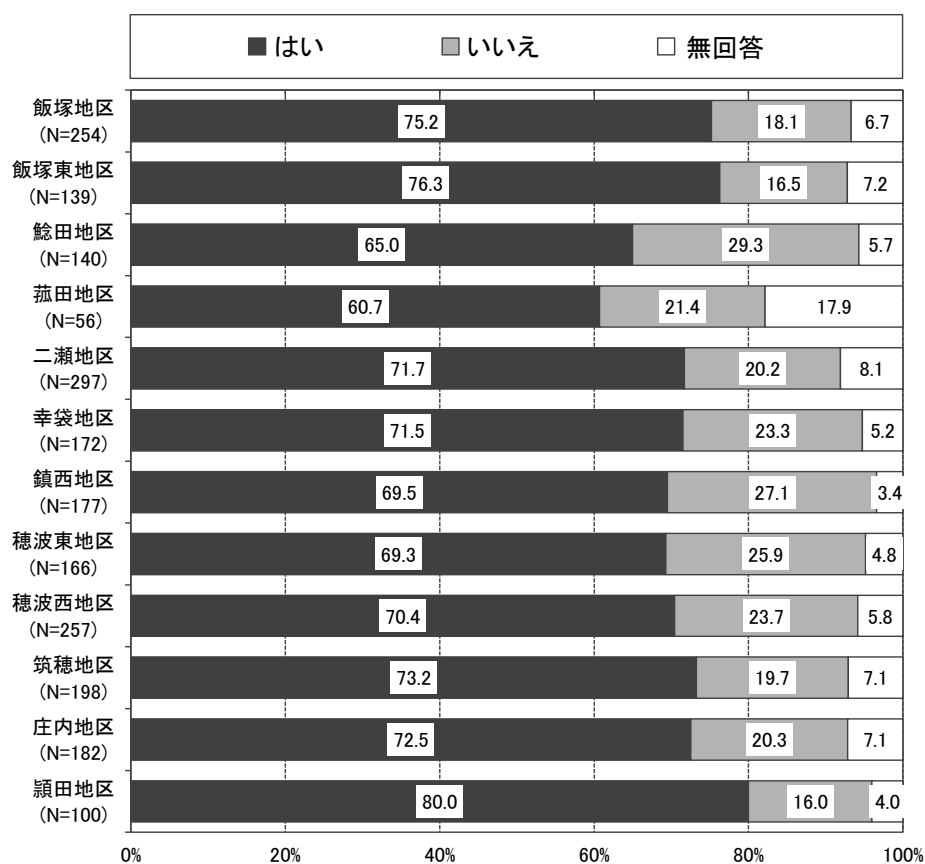
③ 噛み合わせは良いか

問番号		内容
問3	(6) ①	噛み合わせは良いですか

- 噛み合わせは良いかについて、「はい（良い）」の割合は、全体で71.7%となっている。
- 性別にみると、男性全体、女性全体の「はい（良い）」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも7割を占めている。
- 居住地区別にみると、「噛み合わせは良い」と回答している割合は、潁田地区（80.0%）で最も高く、菰田地区（60.7%）で最も低くなっている。



〔居住地区別 噛み合わせは良いか〕



第2章 調査結果

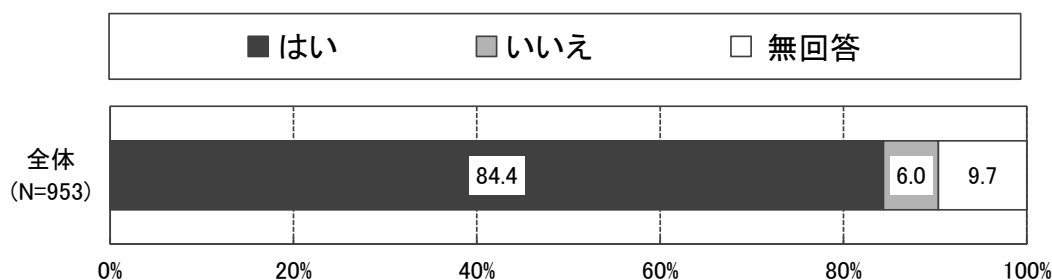
④ 毎日入れ歯の手入れをしているか

問番号	内容
問3	(6) ② 【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか

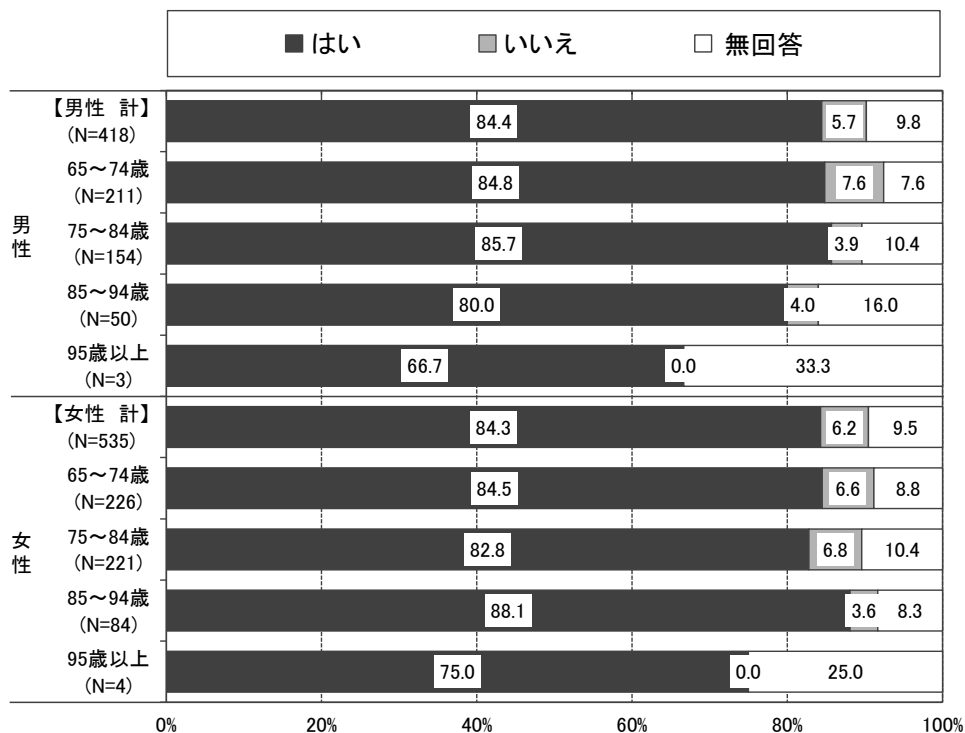
〔毎日入れ歯の手入れをしているか〕

- 入れ歯の利用者が、毎日入れ歯の手入れをしているかについて、「はい（手入れをしている）」の割合は全体で84.4%と高くなっている。
- 性別にみると、男性全体、女性全体の「はい（手入れをしている）」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも約8割を占めている。
- 居住地区別にみると、「毎日入れ歯の手入れをしている」と回答している割合は、飯塚東地区（91.2%）で最も高く、菰田地区（65.0%）で最も低い。

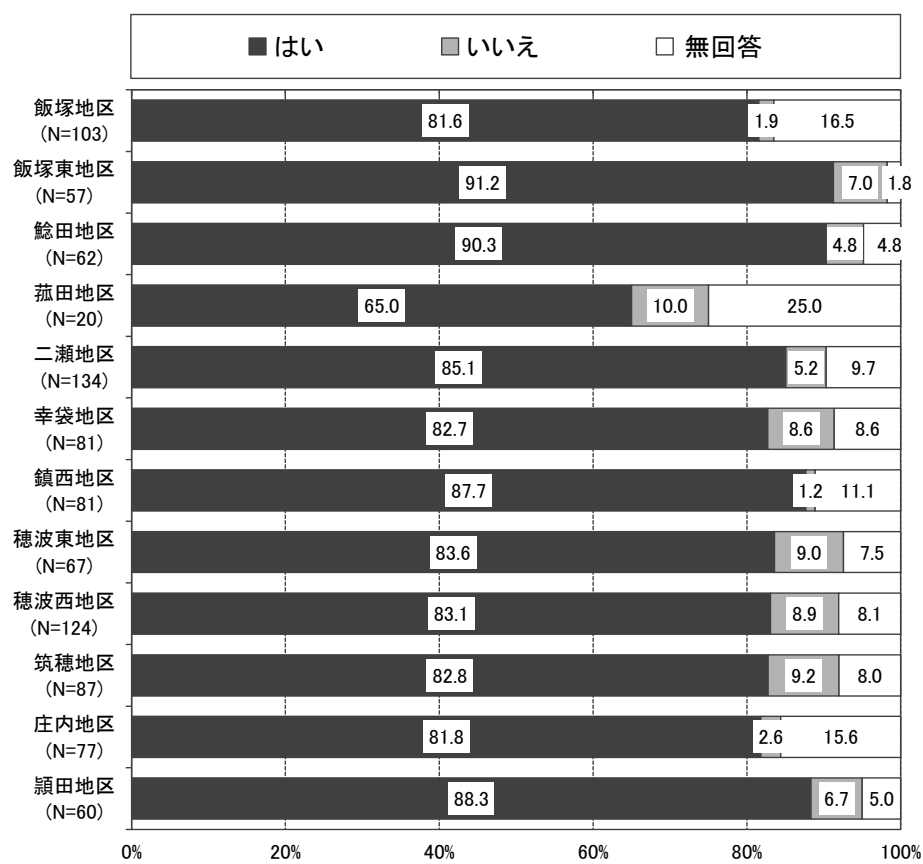
〔毎日入れ歯の手入れをしているか〕



〔性・年齢別 毎日入れ歯の手入れをしているか〕



〔居住地区別 毎日入れ歯の手入れをしているか〕

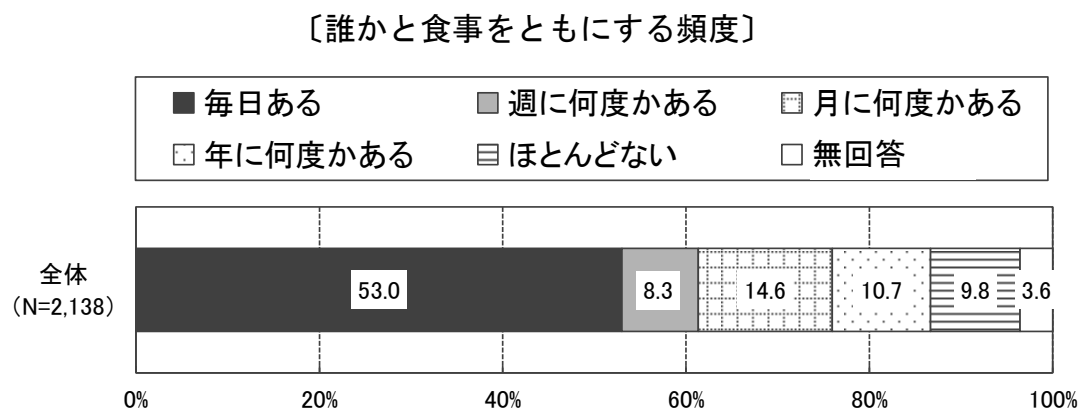


第2章 調査結果

(4) 孤食

問番号		内容
問3	(8)	どなたかと食事をとる機会がありますか

- 誰かと食事をとる機会があるかたずねたところ、「毎日ある」(53.0%)の割合が最も高く、次いで「月に何度かある」(14.6%)、「年に何度かある」(10.7%)となっている。
- 世帯構成別にみると、食事をとる機会が「毎日ある」とする人は、夫婦2人暮らし、息子・娘との2世帯、その他(同居世帯含む)でおよそ7割を占める。一方、1人暮らしでは「毎日ある」の割合は1割に満たず、「月に何度かある」(32.7%)が最も高くなっている。
- 閉じこもり傾向判定別にみると、非該当者よりも該当者で「毎日ある」の割合が低くなっている。



〔世帯構成別、閉じこもり傾向判定別 誰かと食事をとる頻度（％）〕

		調査数	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		2,138	53.0	8.3	14.6	10.7	9.8	3.6
世帯構成別	1人暮らし	559	5.0	15.6	32.7	21.3	22.7	2.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	786	69.2	5.0	9.5	8.0	5.0	3.3
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	89	74.2	5.6	10.1	4.5	3.4	2.2
	息子・娘との2世帯	302	73.2	7.3	5.3	5.6	5.0	3.6
	その他	310	72.6	6.5	7.7	6.1	5.5	1.6
	無回答	92	53.3	5.4	6.5	7.6	8.7	18.5
閉じこもり 傾向判定	該当	455	44.4	9.0	16.5	12.5	14.7	2.9
	非該当	1,636	55.4	8.3	14.4	10.1	8.6	3.3
	判定不可	47	53.2	4.3	4.3	14.9	4.3	19.1

3 毎日の生活について

ここでは、認知機能や IADL（手段的自立度）、知的能動性等の状況を把握する。

（１）認知機能

① 認知機能

認知機能の低下を把握する。以下の設問のうち、網掛け部分に該当した場合、認知機能の低下が疑われる高齢者と判定される。

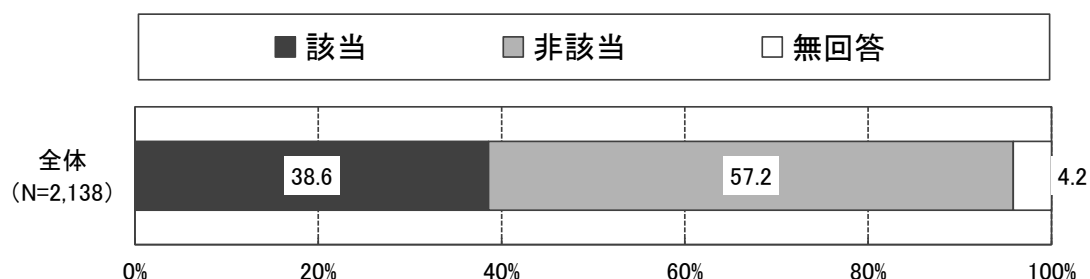
問番号		内容	回答
問4	(1)	物忘れが多いと感じますか	1 はい
			2 いいえ

■認知機能判定の該当者の割合は、全体で38.6%となっている。

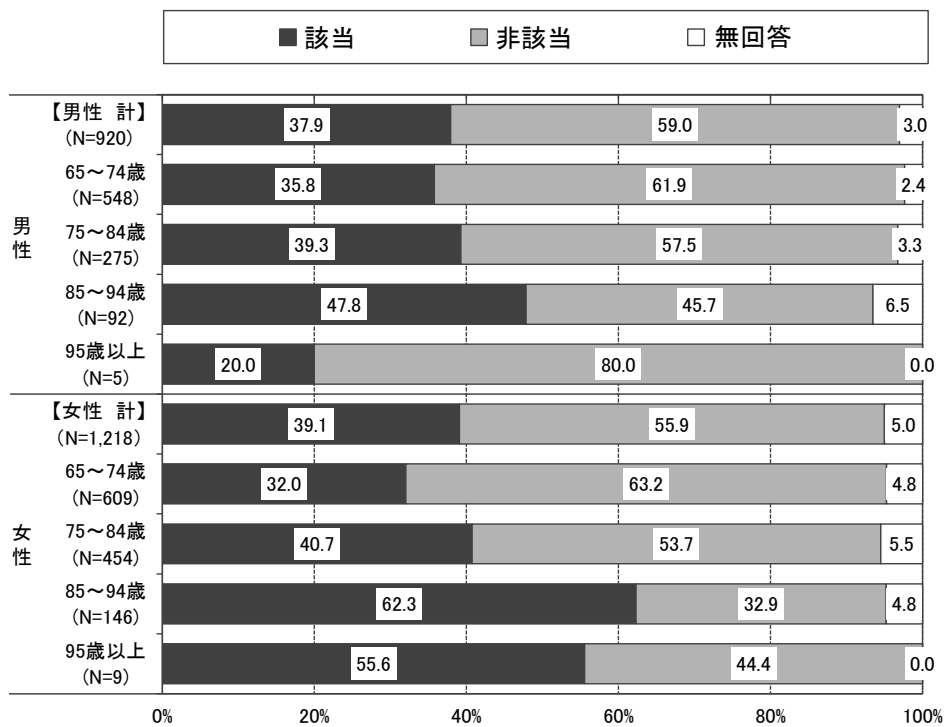
■性別にみると、男性全体に比べ女性全体の方が高い。年齢別にみると、男女とも年齢が高くなるとともに該当者の割合は高くなり、95歳以上で低くなる。

■居住地区別にみると、該当者の割合は潁田地区(47.0%)で最も高く、鯉田地区(30.7%)で最も低くなっている。

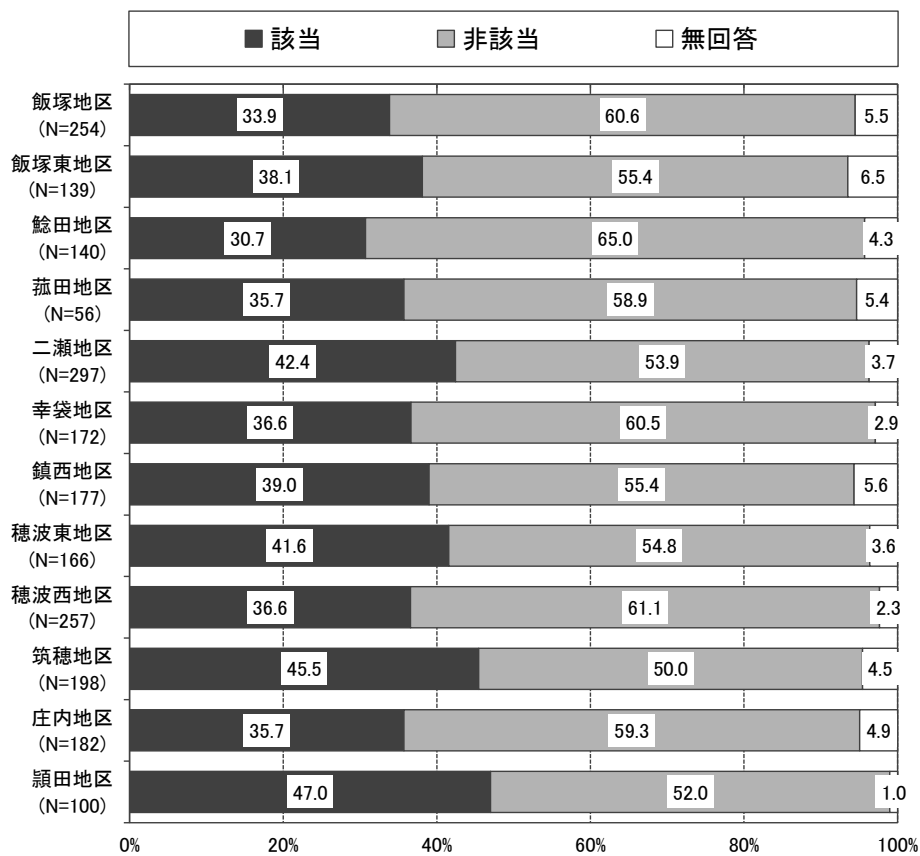
〔認知機能判定〕



〔性・年齢別 認知機能判定〕



〔居住地区別 認知機能判定〕



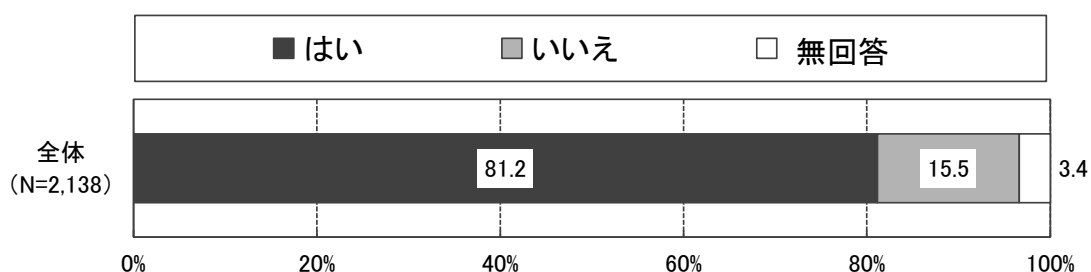
第2章 調査結果

② 自分で電話番号を調べ、電話をかけるか

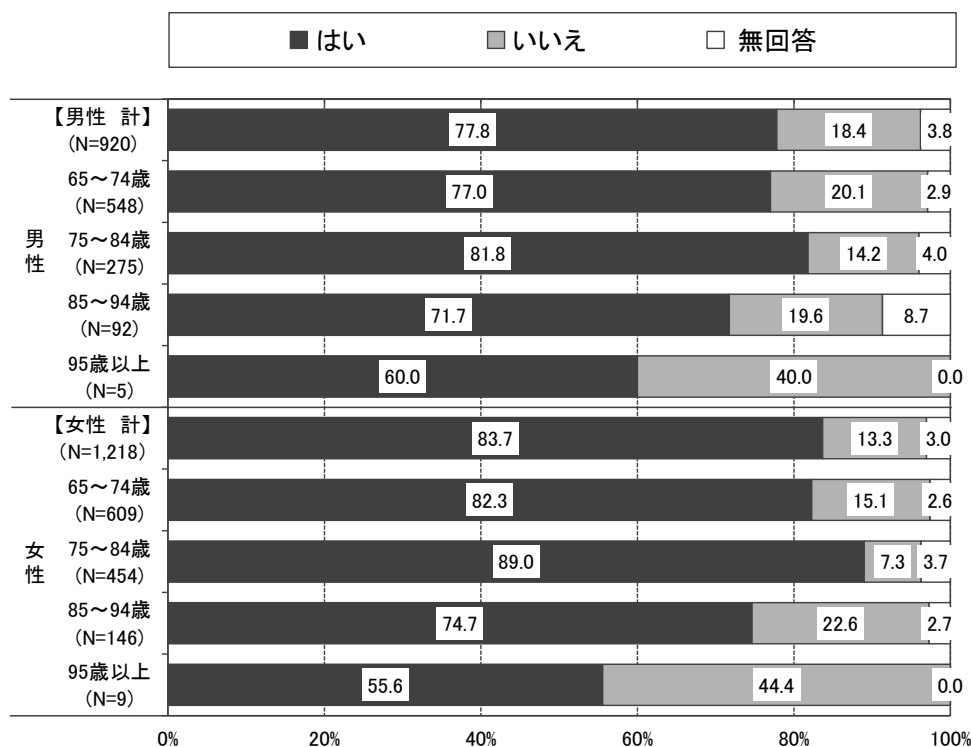
問番号		内容
問4	(2)	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか

- 自分で電話番号を調べ、電話をかけるかについて、「はい（電話をかける）」の割合は全体で81.2%と非常に高くなっている。
- 性・年齢別にみると、「はい（電話をかける）」の割合は男性に比べ女性の方が高い傾向にある。
- 居住地区別にみると、いずれの地区も7割以上の高齢者が「はい（電話をかける）」と回答している。

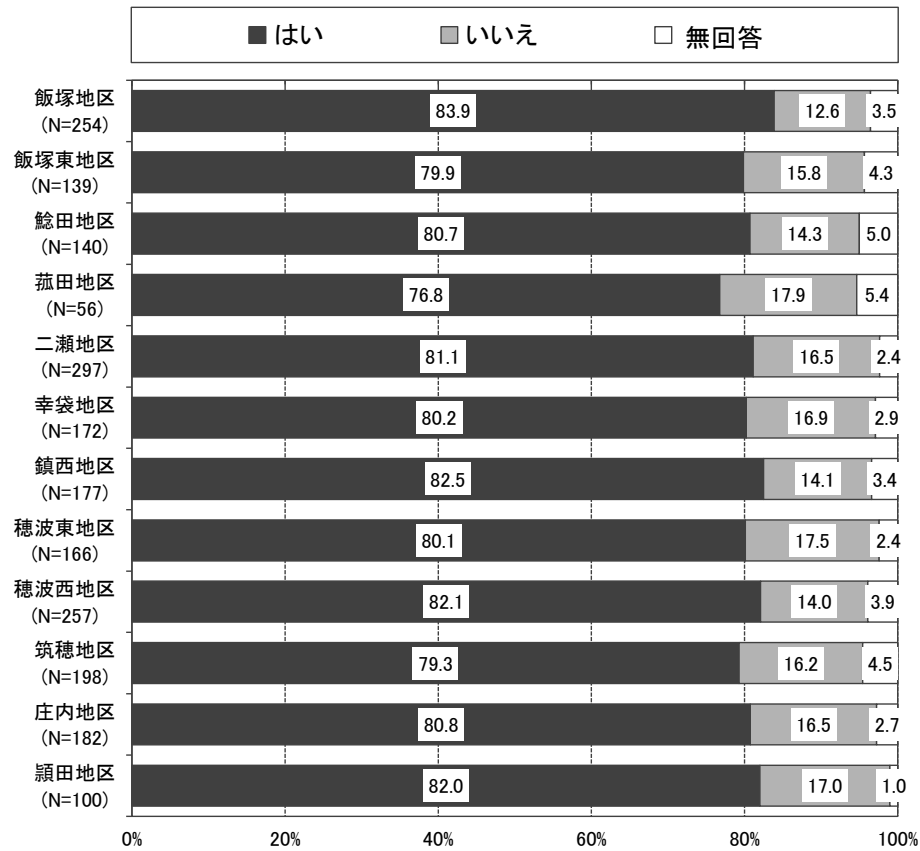
〔自分で電話番号を調べ、電話をかけるか〕



〔性・年齢別 自分で電話番号を調べ、電話をかけるか〕



〔居住地区別 自分で電話番号を調べ、電話をかけるか〕



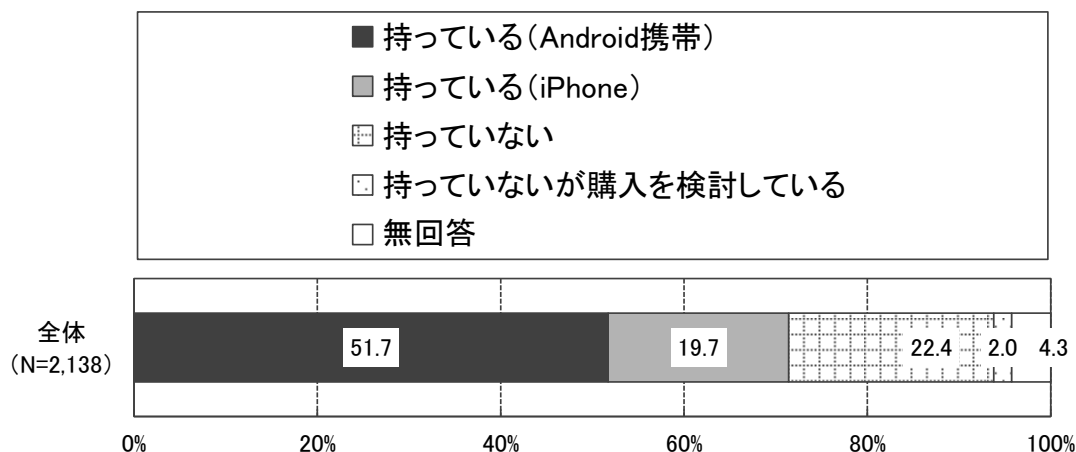
第2章 調査結果

③ スマートフォンの保有状況

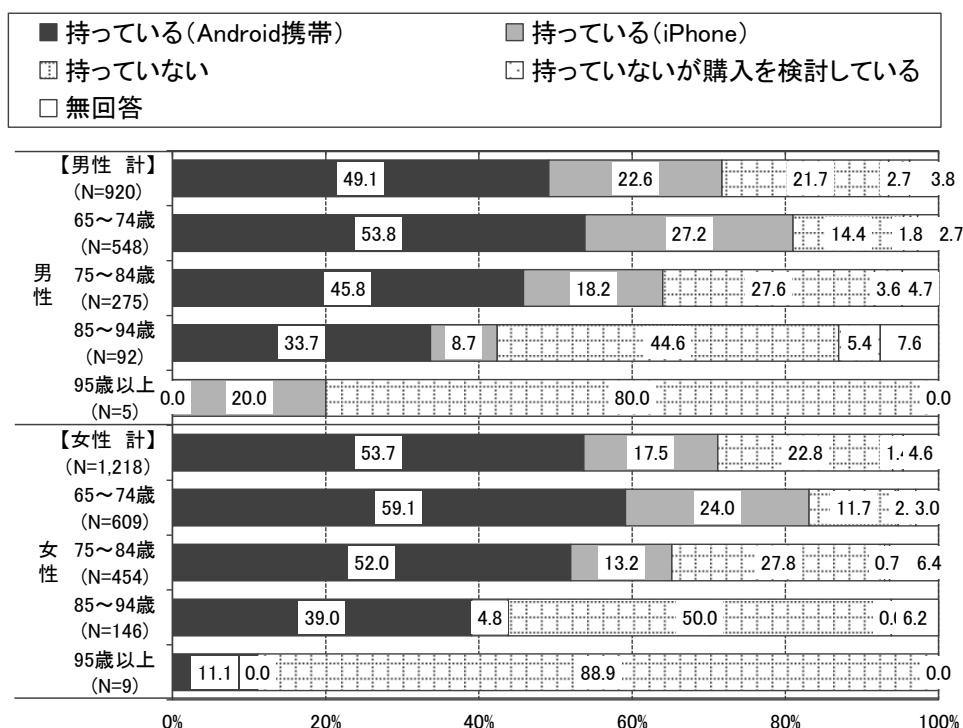
問番号		内容
問4	(2) ①	スマートフォンを持っていますか

- スマートフォンを持っているかについて、「持っている（Android携帯）」と「持っている（iPhone）」を合わせた『持っている』人の割合は全体で71.4%となっている。
- 性・年齢別にみると、『持っている』人の割合に男女差はほとんどなく、年齢とともに低くなる傾向にあり、85歳以上になると半数以下となっている。
- 居住地区別にみると、『持っている』人の割合は飯塚東地区（76.9%）で最も高く、菰田地区（60.7%）で最も低くなっている。

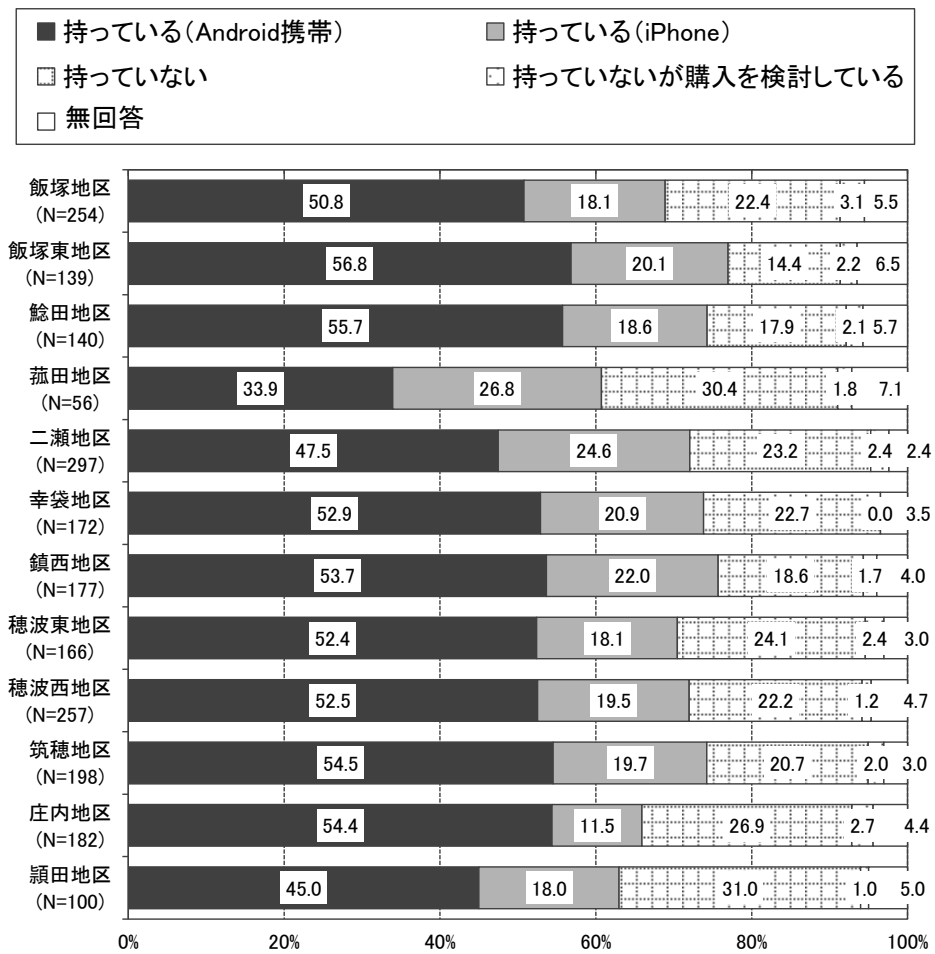
〔スマートフォンを持っているか〕



〔性・年齢別 スマートフォンを持っているか〕



〔居住地区別 スマートフォンを持っているか〕



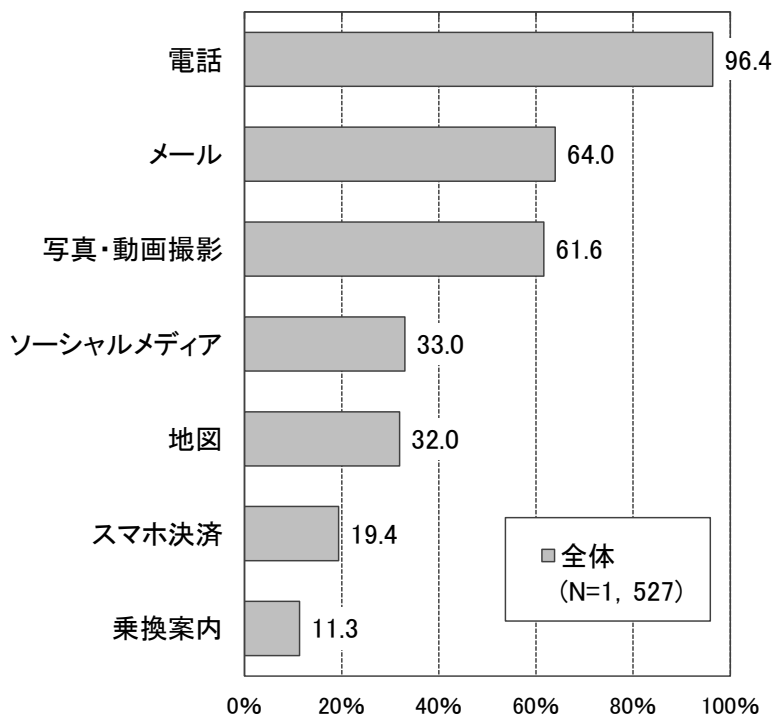
第2章 調査結果

④ スマートフォンの活用状況

問番号		内容
問4	(2) ②	スマートフォンをどのように活用していますか

- スマートフォンをどのように活用しているかについては、「電話」(96.4%)の割合が最も高く、次いで「メール」(64.0%)、「写真・動画撮影」(61.6%)と続く。
- 性別にみると、「電話」「乗換案内」「地図」「スマホ決済」「ソーシャルメディア」は男性全体の方が多く、「メール」「写真・動画撮影」は女性全体の方が多い。
- 居住地区別にみると、潁田地区では「地図」「スマホ決済」「ソーシャルメディア」が他の地区に比べ低い。

〔スマートフォンをどのように活用しているか（複数回答）〕



- ・ ソーシャルメディア…LINE、Twitter、Facebook、Instagram、YouTube など
- ・ 地図…GoogleMap など
- ・ スマホ決済…PayPay、auPAY、楽天ペイ、電子マネーなど

〔性・年齢別、居住地区別 スマートフォンをどのように活用しているか（％）〕

		調査数	電話	メール	写真・動画撮影	乗換案内	地図	スマホ決済	ソーシャルメディア
全体		1,527	96.4	64.0	61.6	11.3	32.0	19.4	33.0
性・年齢別	【男性 計】	660	96.7	55.2	59.1	11.5	40.3	23.9	35.0
	65～74歳	444	97.1	63.1	64.4	14.0	45.5	29.7	41.4
	75～84歳	176	95.5	43.8	51.1	6.8	31.8	12.5	25.6
	85～94歳	39	97.4	17.9	33.3	5.1	17.9	10.3	5.1
	95歳以上	1	100.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	【女性 計】	867	96.2	70.7	63.6	11.2	25.6	15.9	31.5
	65～74歳	506	96.6	83.6	74.1	16.0	34.0	22.1	42.3
	75～84歳	296	95.9	58.1	52.0	5.4	15.5	7.8	18.2
	85～94歳	64	93.8	28.1	34.4	0.0	6.3	4.7	7.8
	95歳以上	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
居住地区	飯塚地区	175	95.4	67.4	61.1	20.0	38.9	23.4	41.1
	飯塚東地区	107	98.1	63.6	68.2	10.3	37.4	16.8	32.7
	鯉田地区	104	93.3	75.0	64.4	15.4	31.7	25.0	39.4
	菰田地区	34	94.1	52.9	50.0	14.7	38.2	14.7	32.4
	二瀬地区	214	96.7	66.4	60.7	7.9	29.0	20.6	29.4
	幸袋地区	127	97.6	62.2	68.5	11.0	30.7	15.7	33.9
	鎮西地区	134	97.8	61.2	65.7	5.2	29.9	18.7	38.1
	穂波東地区	117	95.7	54.7	52.1	13.7	30.8	15.4	34.2
	穂波西地区	185	96.8	65.9	60.0	9.2	35.7	21.1	34.1
	筑穂地区	147	96.6	62.6	60.5	11.6	31.3	19.0	28.6
	庄内地区	120	95.8	62.5	61.7	11.7	28.3	19.2	26.7
	瀬田地区	63	96.8	61.9	58.7	6.3	17.5	14.3	17.5

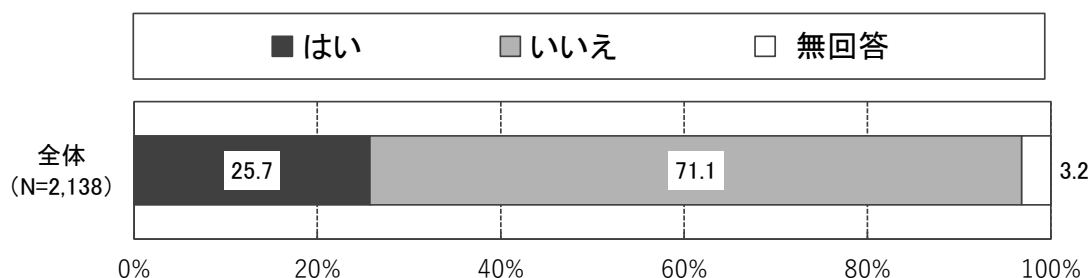
第2章 調査結果

⑤ 今日が何月何日かわからない時があるか

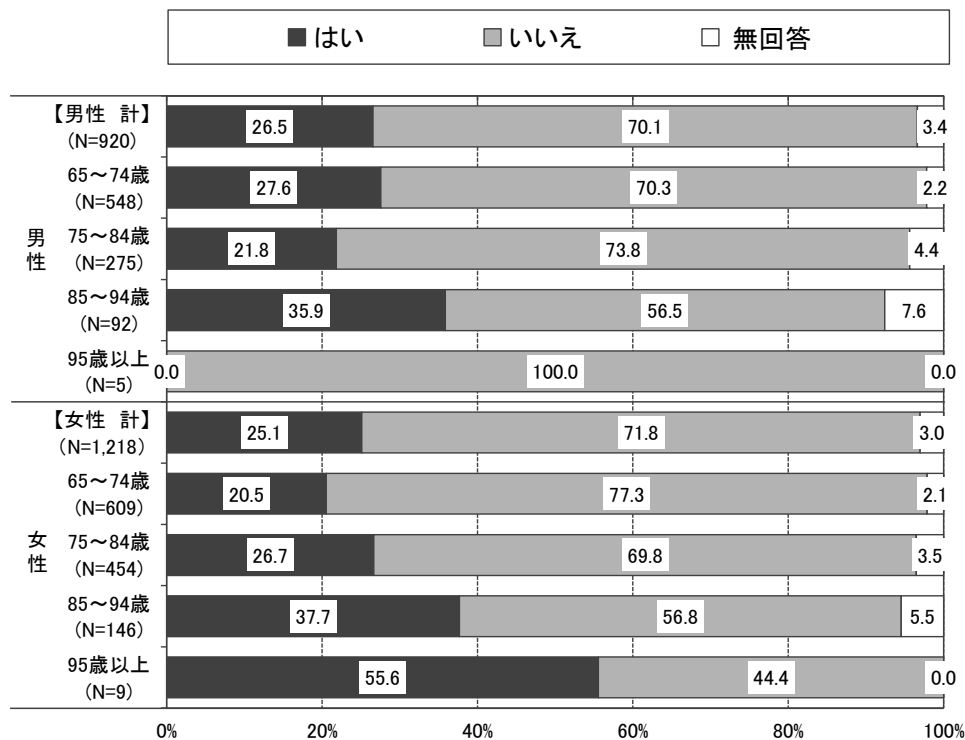
問番号		内容
問4	(3)	今日が何月何日かわからない時がありますか

- 今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい（ある）」の割合は全体で25.7%となっている。
- 性別にみると、男性全体、女性全体の「はい（ある）」の割合に男女差はほとんどない。年齢別にみると、女性は「はい（ある）」の割合が年齢とともに高くなっている。
- 居住地区別にみると、「今日が何月何日かわからない時がある」人の割合は幸袋地区（30.2%）で最も高く、鯉田地区（17.1%）で最も低くなっている。

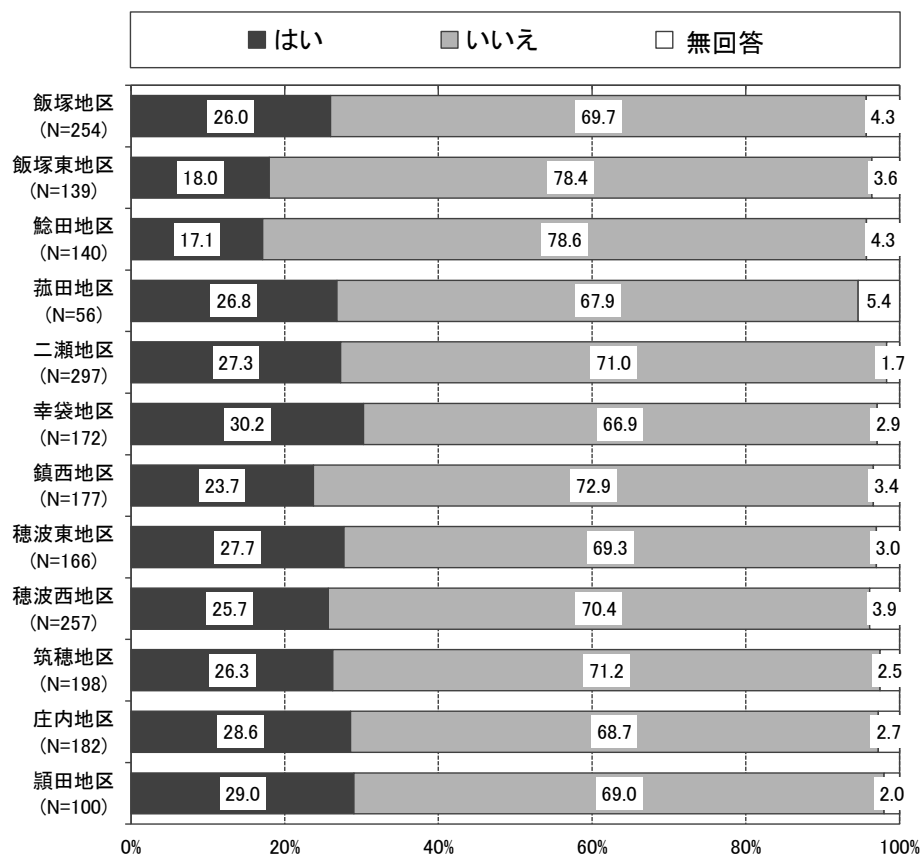
〔今日が何月何日かわからない時があるか〕



〔性・年齢別 今日が何月何日かわからない時があるか〕



〔居住地区別 今日が何月何日かわからない時があるか〕



第2章 調査結果

(2) 手段的自立度 (IADL)

① 手段的自立度 (IADL)

手段的自立度 (IADL) は、日常生活を送る上で必要な動作のうち、買物や食事の用意等の家事全般や、外出して乗り物に乗ること、金銭管理等の動作を指し、項目ごとの自立度で評価する。

本調査では、各項目を点数化し、その合計で自立度が「高い (5点)」、「やや低い (4点)」、「低い (3点以下)」と分類し集計を行っている。

このうち、「やや低い (4点)」または「低い (3点以下)」に該当した場合、手段的自立度 (IADL) の低下者 (4点以下) と判定する。

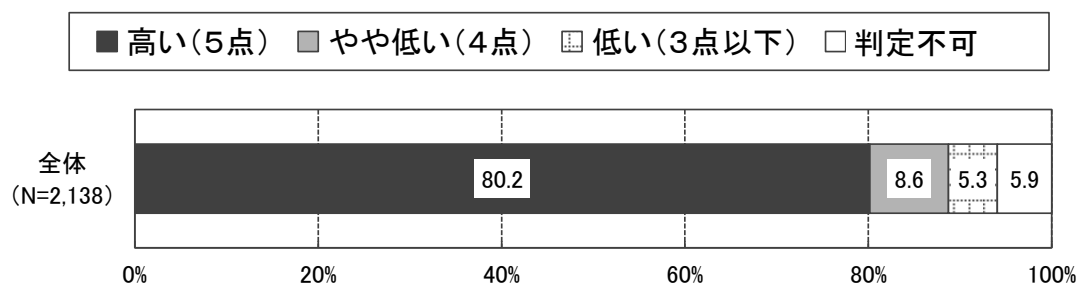
問番号	内容	回答	点数化
問4	(4) バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(6) 自分で食事の用意をしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(7) 自分で請求書の支払いをしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点
	(8) 自分で預貯金のおし入れをしていますか	1 できるし、している 2 できるけどしていない 3 できない	1点 1点 0点

■手段的自立度 (IADL) の低下者 (4点以下の者) の割合は、全体で13.9%となっている。

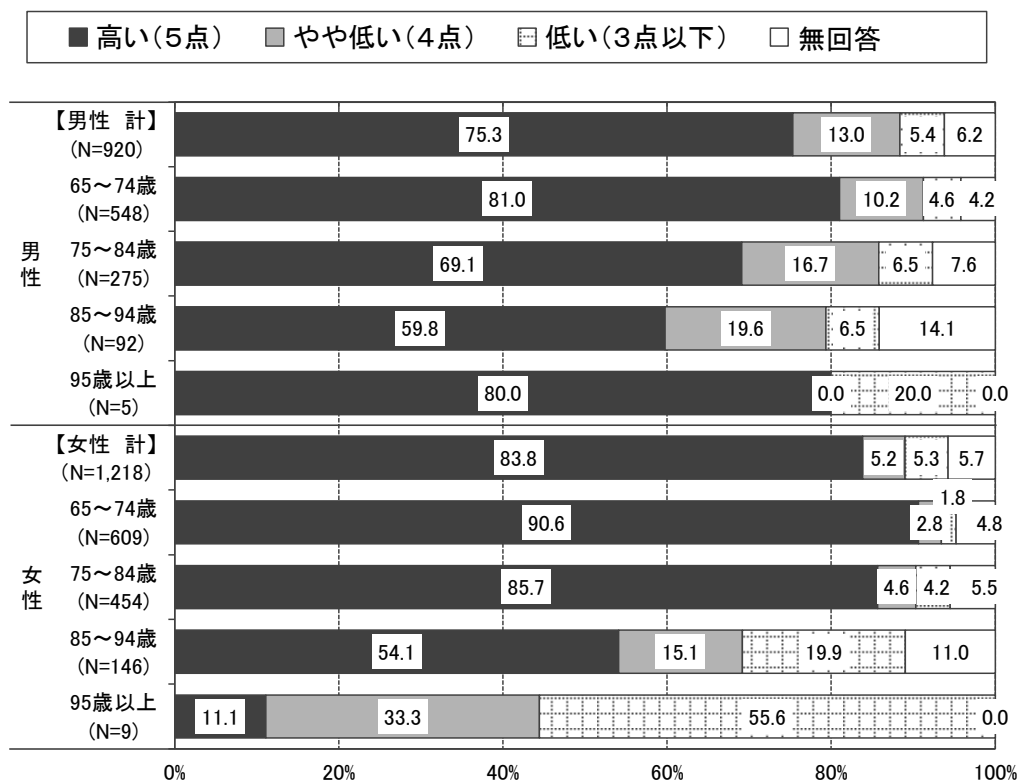
■性・年齢別にみると、低下者の割合は65～84歳まで女性より男性の割合が高くなっている。一方、女性の65～84歳までは低下者が1割に満たないが、85歳以上になると低下者が増加し、85～94歳では35.0%、95歳以上では88.9%となっている。

■居住地区別にみると、低下者の割合は菰田地区 (19.6%) で最も高く、鯉田地区 (10.0%) で最も低くなっている。

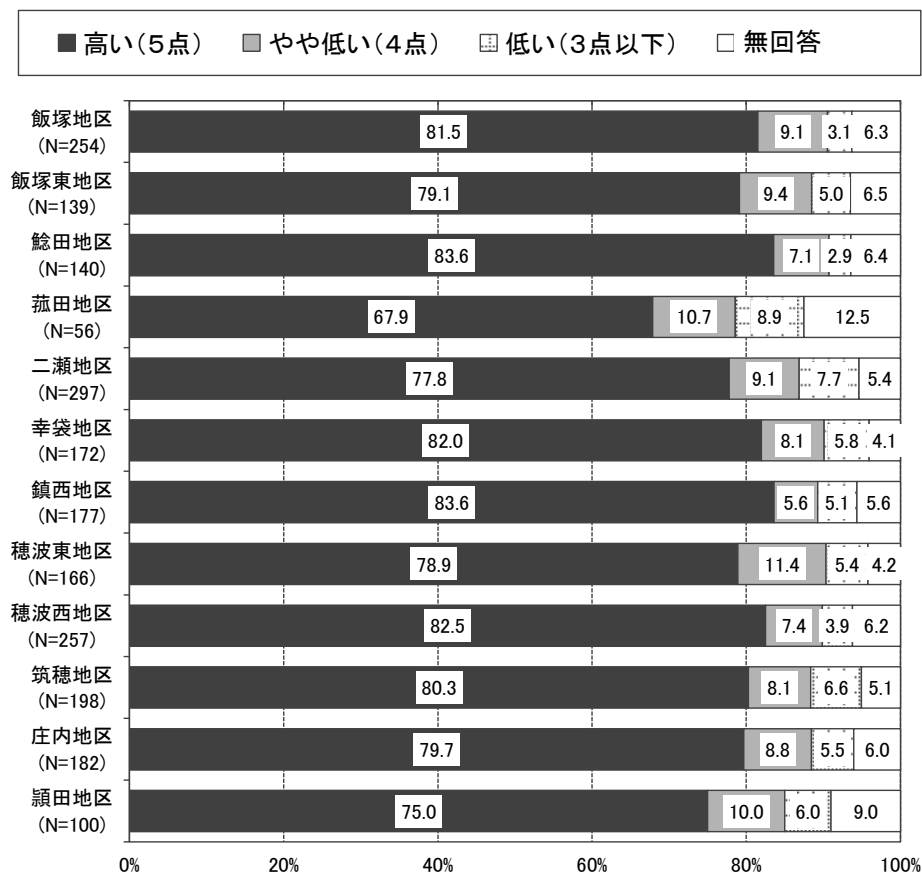
〔手段的自立度〔IADL〕〕



〔性・年齢別 手段的自立度〔IADL〕〕



〔居住地区別 手段的自立度〔IADL〕〕

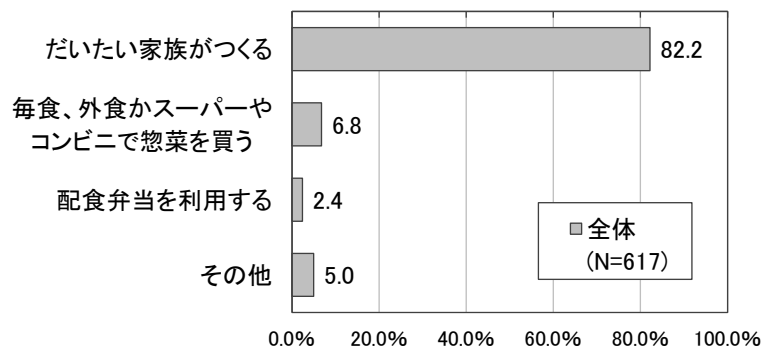


② 食事をどのように用意しているか

問番号		内容
問4	(6) ①	【(6)において「1. (自分で食事の用意を)できるし、している」以外の方のみ】 食事はどのように用意していますか

- 自分で食事の用意をしていない回答者が、食事をどのように用意しているかについては、「だいたい家族がつくる」(82.2%)が最も高い。
- 性別にみると、「だいたい家族がつくる」の割合は男性の方が多く、「毎食、外食かスーパーやコンビニで惣菜を買う」、「配食弁当を利用する」の割合は女性の方が多くなっている。年齢別にみると、「だいたい家族がつくる」人の割合は年齢とともに高くなるが、95歳以上になると低くなっている。
- 居住地区別にみると、「だいたい家族がつくる」人の割合は、飯塚東地区(95.2%)で最も高く、穂波東地区(72.9%)で最も低くなっている。

〔食事をどのように用意しているか(複数回答)〕



〔性・年齢別、居住地区別 食事をどのように用意しているか(%)〕

		調 査 数	が だ つ く ら い 家 族	毎 食、 外 食 か ス ー パ ー や コ ン ビ ニ で 惣 菜 を 買 う	配 食 弁 当 を 利 用 す る	そ の 他
全 体		617	82.2	6.8	2.4	5.0
性・年 齢 別	【男性 計】	506	86.6	4.9	1.6	1.8
	65～74歳	300	84.3	4.3	0.7	2.3
	75～84歳	160	89.4	5.6	1.9	0.6
	85～94歳	45	93.3	6.7	4.4	2.2
	95歳以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0
	【女性 計】	111	62.2	15.3	6.3	19.8
	65～74歳	24	50.0	25.0	4.2	29.2
	75～84歳	35	62.9	17.1	8.6	20.0
	85～94歳	44	68.2	11.4	6.8	18.2
95歳以上	8	62.5	0.0	0.0	0.0	
居 住 地 区	飯塚地区	67	82.1	4.5	1.5	11.9
	飯塚東地区	42	95.2	7.1	2.4	4.8
	鯉田地区	40	90.0	12.5	0.0	0.0
	菰田地区	13	92.3	7.7	0.0	0.0
	二瀬地区	82	85.4	3.7	3.7	4.9
	幸袋地区	52	73.1	15.4	3.8	0.0
	鎮西地区	54	74.1	3.7	1.9	7.4
	穂波東地区	48	72.9	14.6	2.1	10.4
	穂波西地区	74	81.1	8.1	1.4	2.7
	筑穂地区	67	82.1	1.5	6.0	1.5
	庄内地区	56	83.9	5.4	1.8	8.9
	潁田地区	22	86.4	0.0	0.0	0.0

第2章 調査結果

(3) 知的能動性

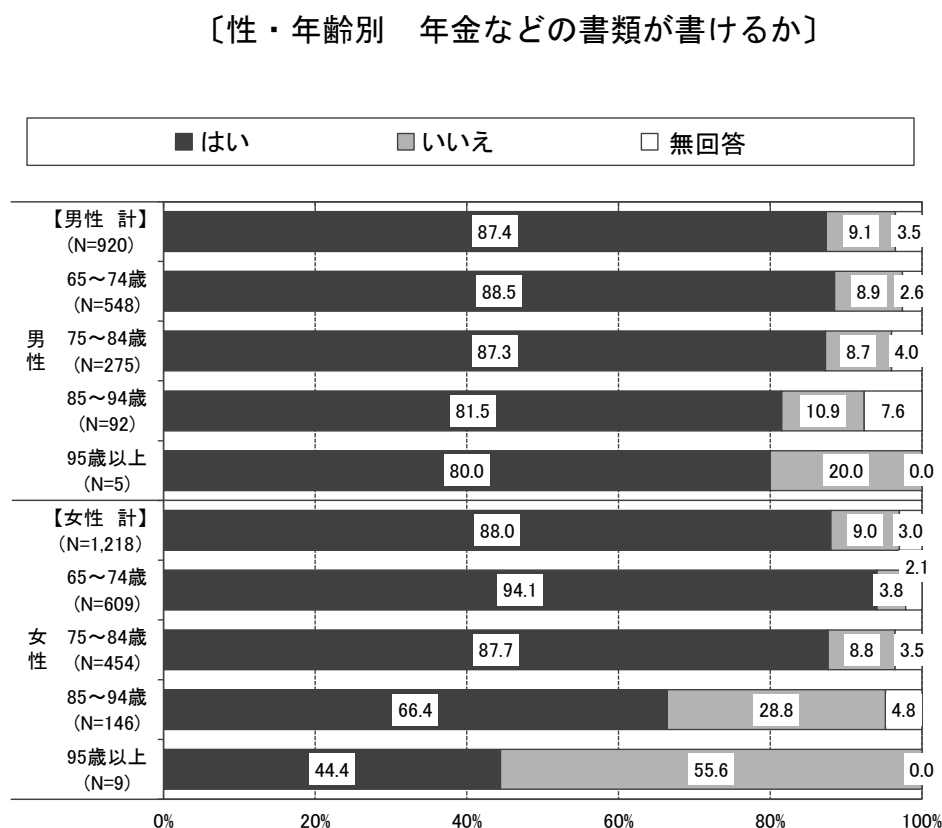
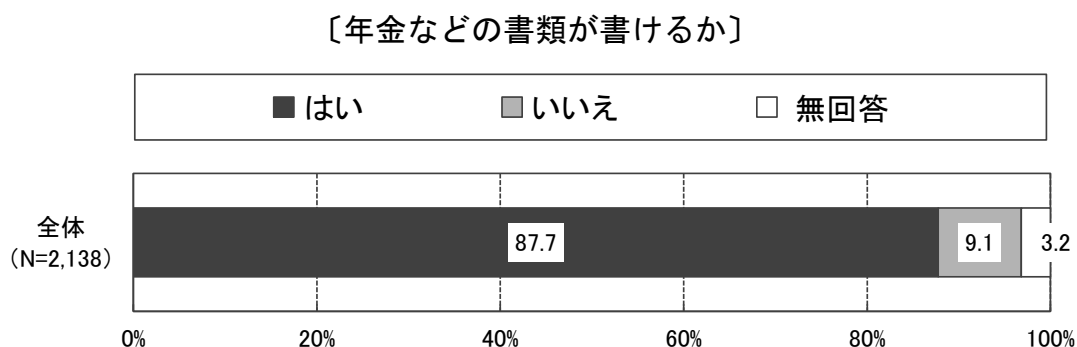
① 年金などの書類が書けるか

問番号		内容
問4	(9)	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

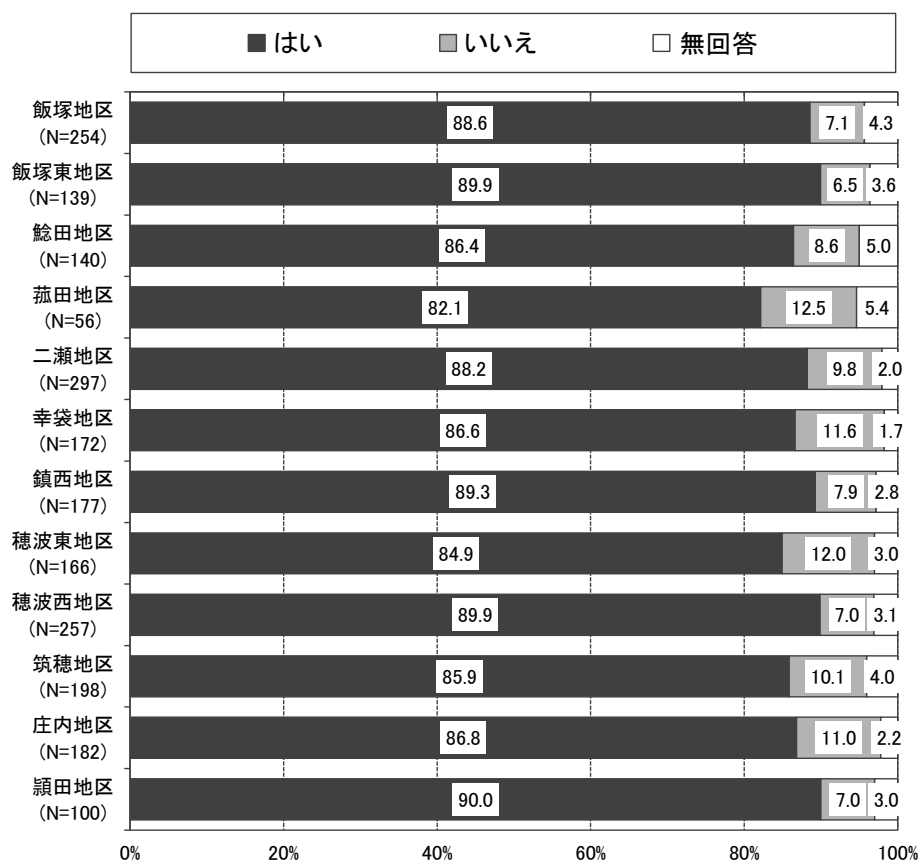
■年金などの書類が書けるかについて、「はい（書ける）」の割合は、全体で87.7%と非常に高くなっている。

■性・年齢別にみると、「はい（書ける）」の割合は、男性は各年齢層で大きな変化はないが、女性は年齢とともに低くなり、85～94歳の高齢者では66.4%まで落ち込む。

■居住地区別にみると、「年金などの書類を書ける」人の割合は、頤田地区（90.0%）で最も高く、菰田地区（82.1%）で最も低くなっている。



〔居住地区別 年金などの書類が書けるか〕



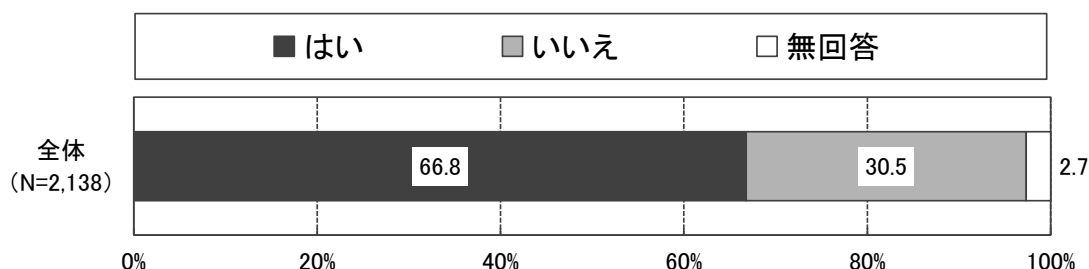
第2章 調査結果

② 新聞を読んでいるか

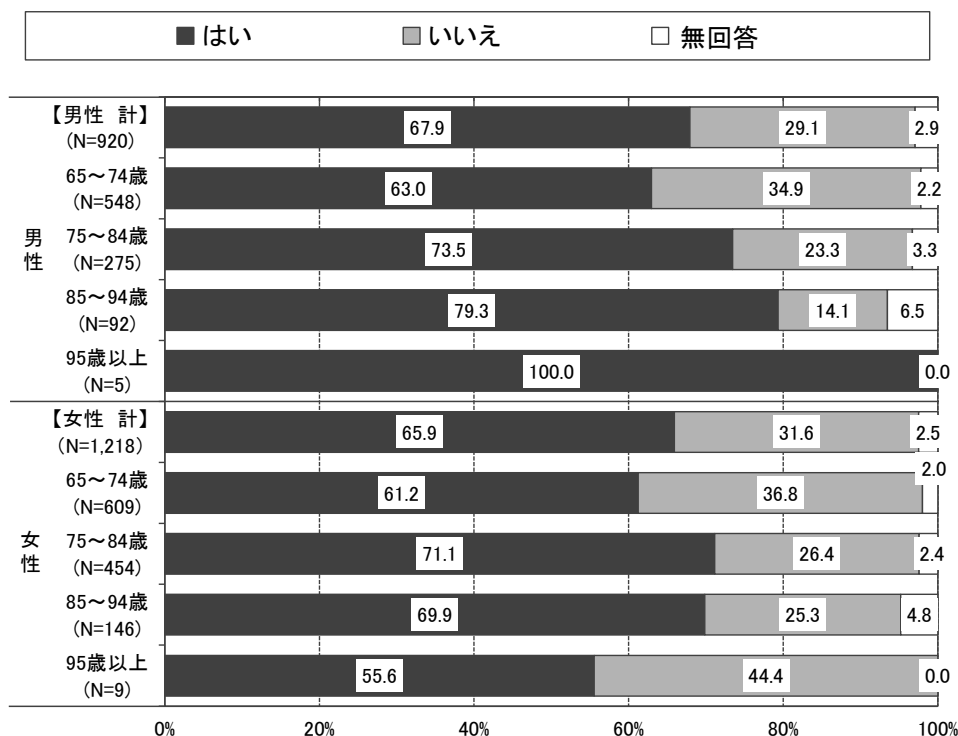
問番号		内容
問4	(10)	新聞を読んでいますか

- 新聞を読んでいるかについて、「はい（読んでいる）」の割合は、全体で66.8%となっている。
- 性・年齢別にみると、「はい（読んでいる）」の割合は、男性は年齢とともに高くなり、75歳以上では7割以上を占める。
- 居住地区別にみると、菰田地区の55.4%を除いて、他の地区は6割以上の高齢者が「新聞を読んでいる」と回答している。

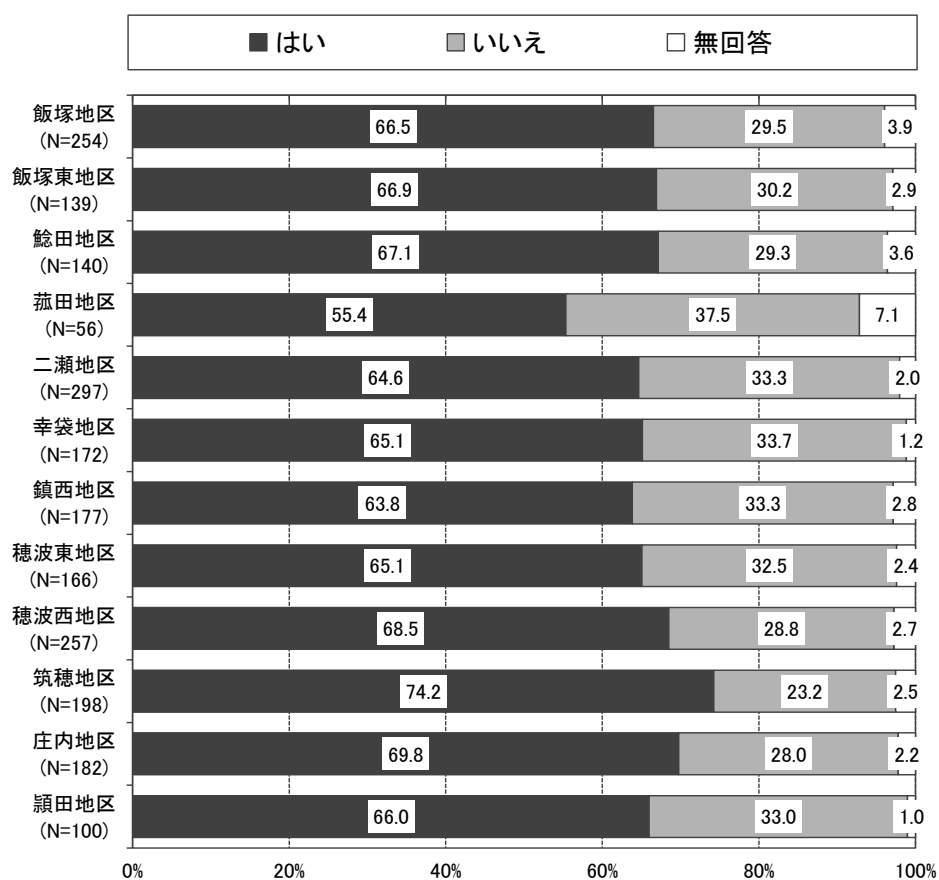
〔新聞を読んでいるか〕



〔性・年齢別 新聞を読んでいるか〕



〔居住地区別 新聞を読んでいるか〕



第2章 調査結果

③ 本や雑誌を読んでいるか

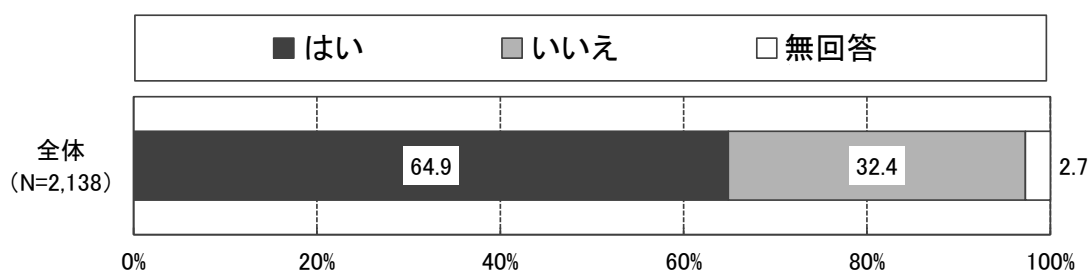
問番号		内容
問4	(11)	本や雑誌を読んでいますか

■本や雑誌を読んでいるかについて、「はい（読んでいる）」の割合は、全体で64.9%となっている。

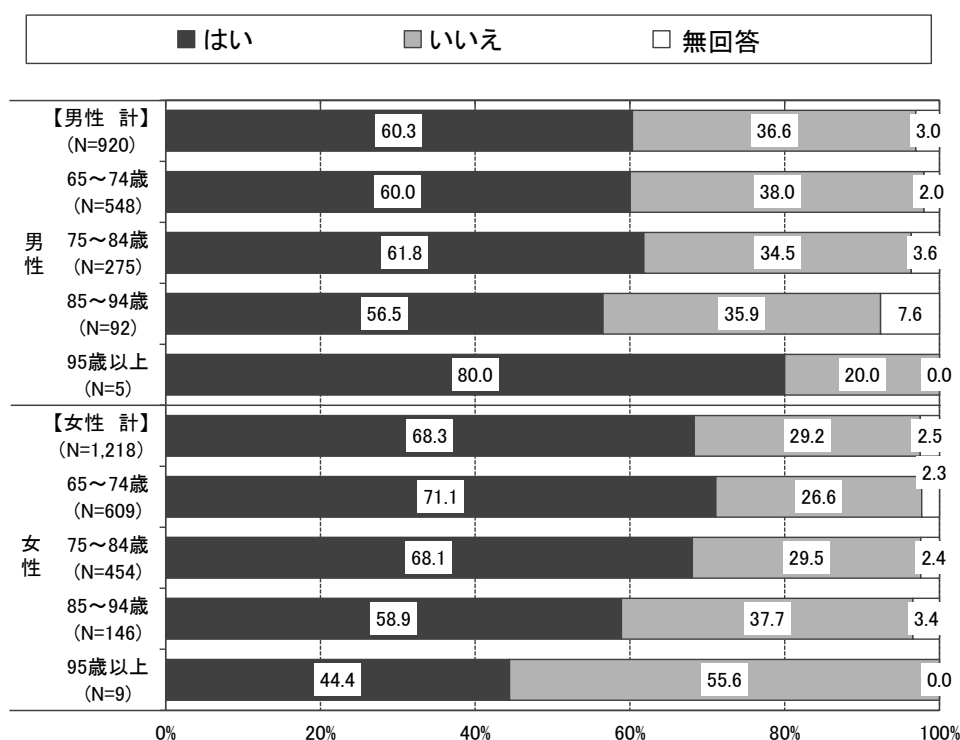
■性・年齢別にみると、「はい（読んでいる）」の割合は、女性は年齢とともに低くなり、85～94歳の高齢者では6割弱まで落ち込む。

■居住地区別にみると、いずれの地区も6割以上の高齢者が「本や雑誌を読んでいる」と回答している。

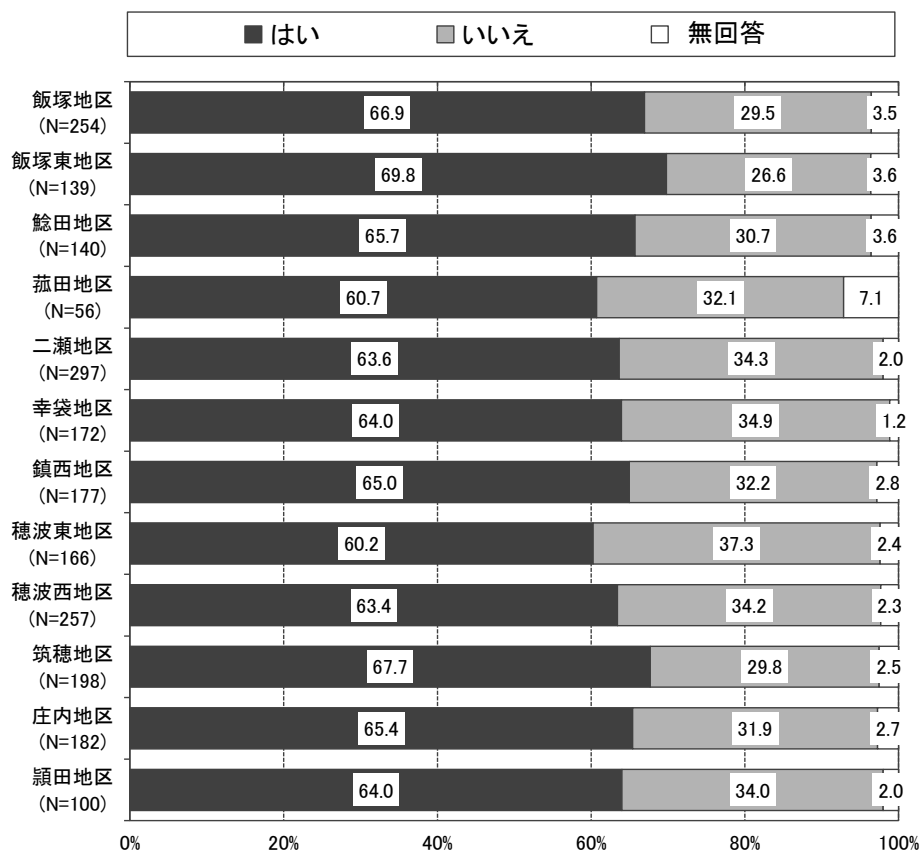
〔本や雑誌を読んでいるか〕



〔性・年齢別 本や雑誌を読んでいるか〕



〔居住地区別 本や雑誌を読んでいるか〕



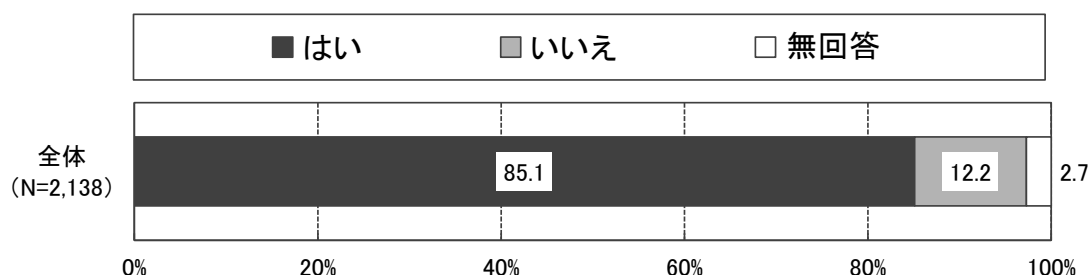
第2章 調査結果

④ 健康についての記事や番組に関心があるか

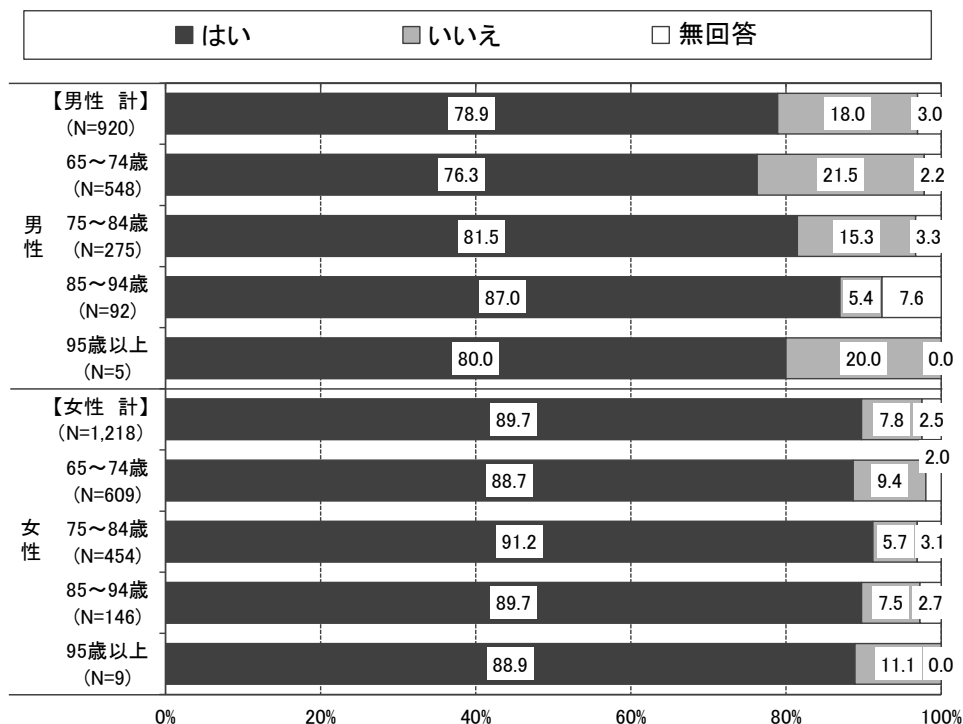
問番号	内容
問4	(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか

- 健康についての記事や番組に関心があるかについて、「はい（関心がある）」の割合は、全体で85.1%と非常に高くなっている。
- 性・年齢別にみると、「はい（関心がある）」の割合は、各年齢層とも男性に比べ女性の割合が高くなっている。
- 居住地区別にみると、いずれの地区も8～9割程度の高齢者が「健康についての記事や番組に関心がある」と回答している。

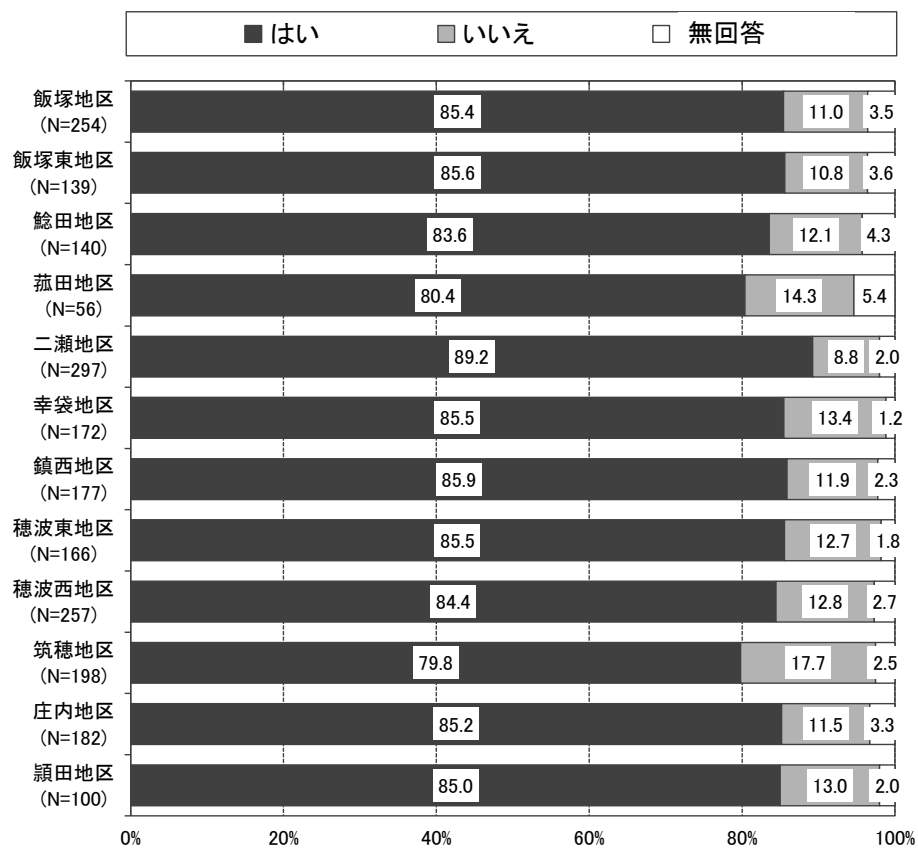
〔健康についての記事や番組に関心があるか〕



〔性・年齢別 健康についての記事や番組に関心があるか〕



〔居住地区別 健康についての記事や番組に関心があるか〕



第2章 調査結果

(4) 他者との関わり

① 友人の家を訪ねているか

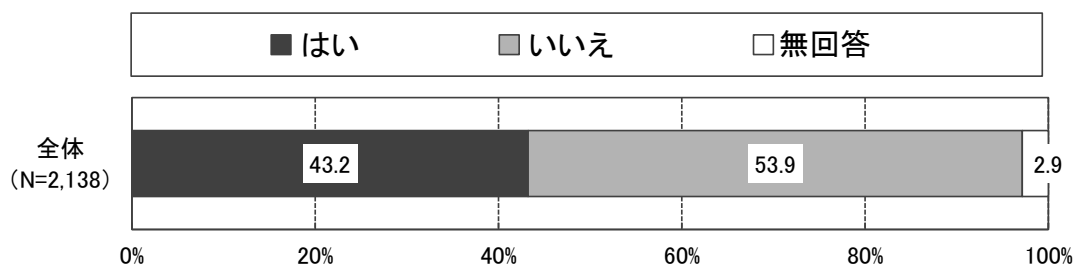
問番号		内容
問4	(13)	友人の家を訪ねていますか

■友人の家を訪ねているかについて、「はい（訪ねている）」の割合は、全体で43.2%となっている。

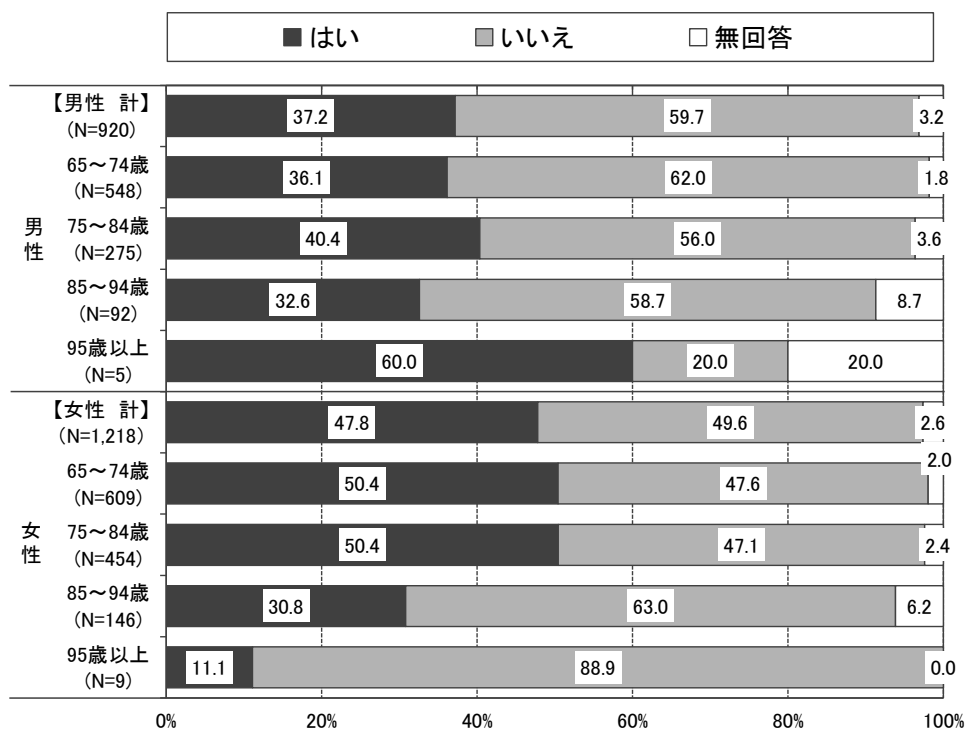
■性・年齢別にみると、「はい（訪ねている）」の割合は、男女ともに85～94歳以上で落ち込み、いずれも約3割となっている。

■居住地区別にみると、「友人の家を訪ねている」人の割合は、飯塚東地区（49.6%）で最も高く、菰田地区（28.6%）で最も低くなっている。

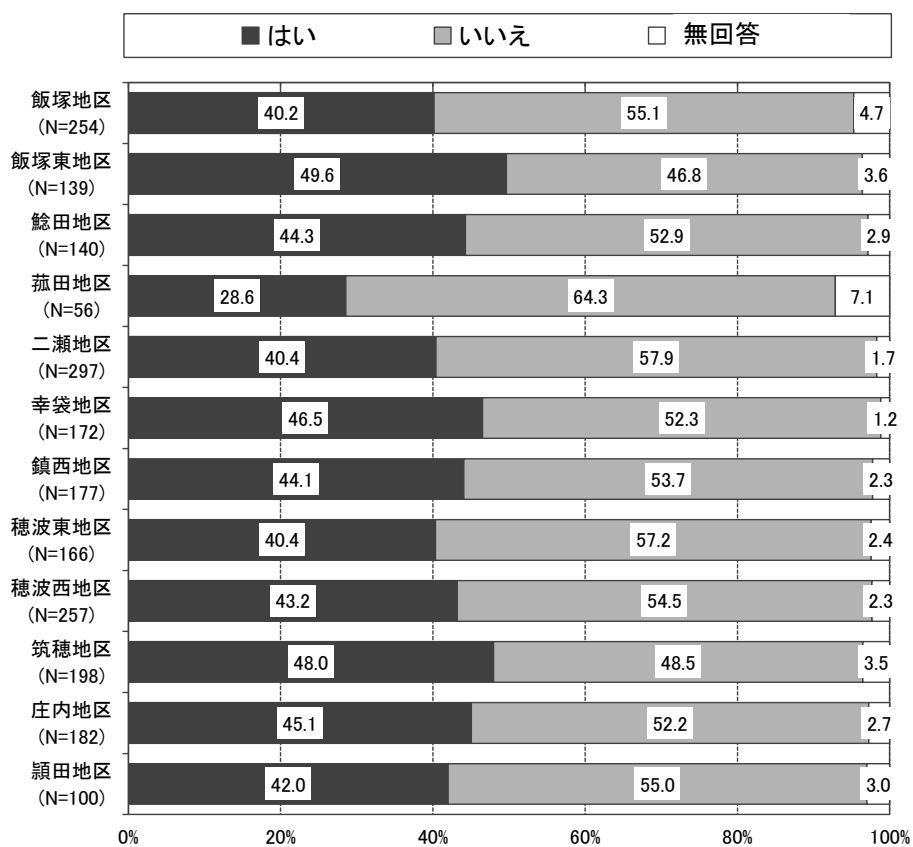
〔友人の家を訪ねているか〕



〔性・年齢別 友人の家を訪ねているか〕



〔居住地区別 友人の家を訪ねているか〕



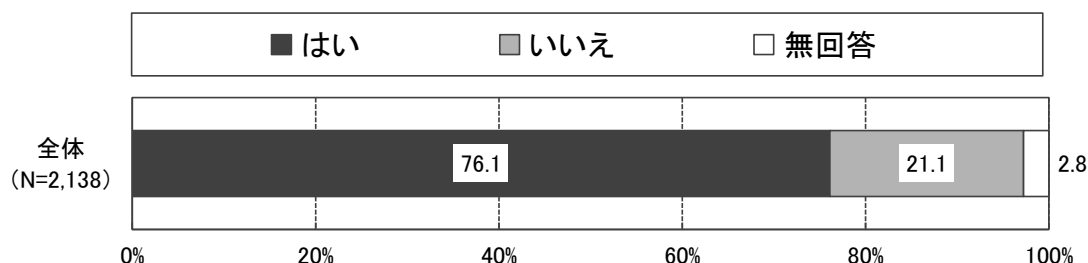
第2章 調査結果

② 家族や友人の相談にのっているか

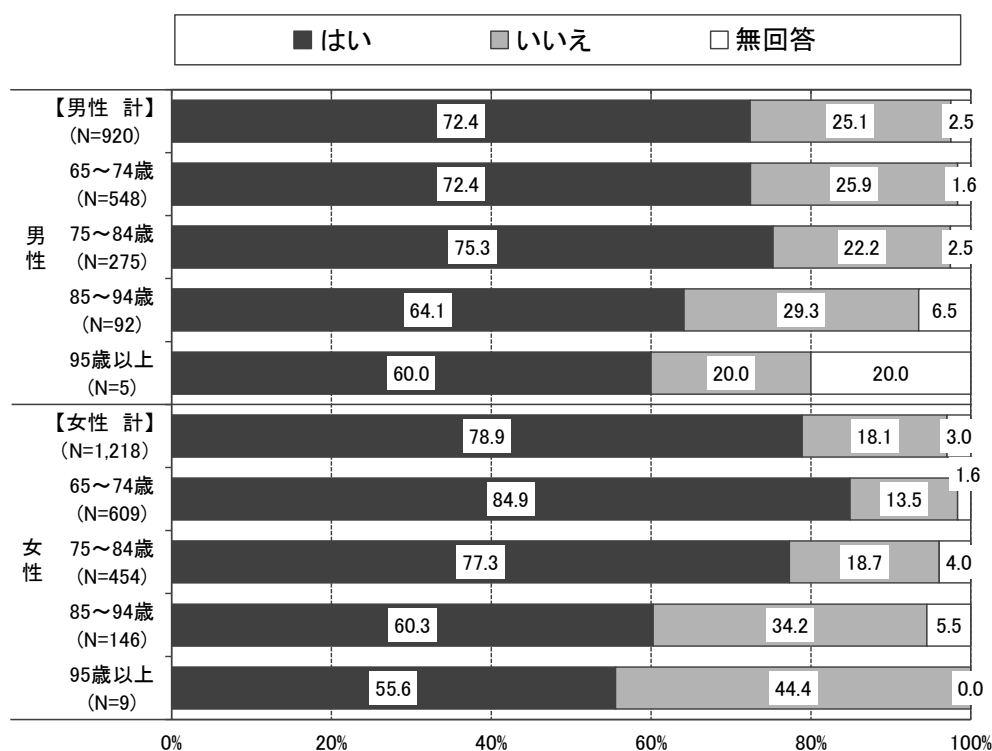
問番号		内容
問4	(14)	家族や友人の相談にのっていますか

- 家族や友人の相談にのっているかについて、「はい(のっている)」の割合は、全体で76.1%となっている。
- 性・年齢別にみると、「はい(のっている)」の割合は、男女とも年齢とともに低くなる傾向にある。また、男女とも85～94歳で約6割に落ち込んでいる。
- 居住地区別にみると、「家族や友人の相談にのっている」人の割合は、飯塚地区(80.3%)で最も高く、潁田地区(68.0%)で最も低くなっている。

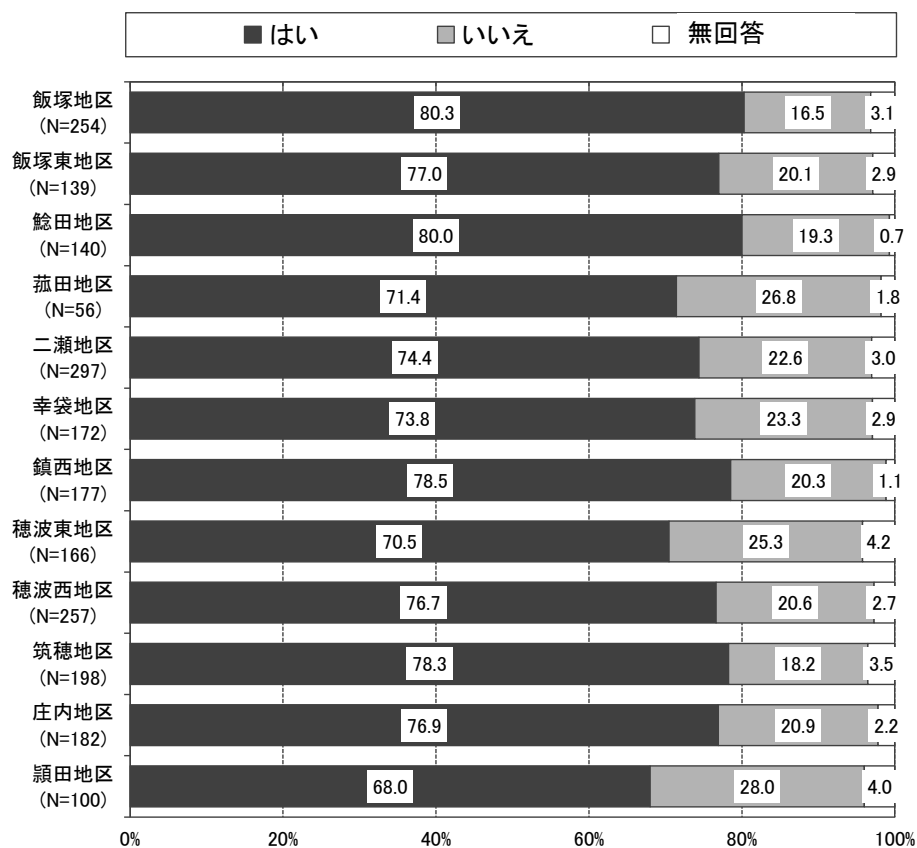
〔家族や友人の相談にのっているか〕



〔性・年齢別 家族や友人の相談にのっているか〕



〔居住地区別 家族や友人の相談にのっているか〕



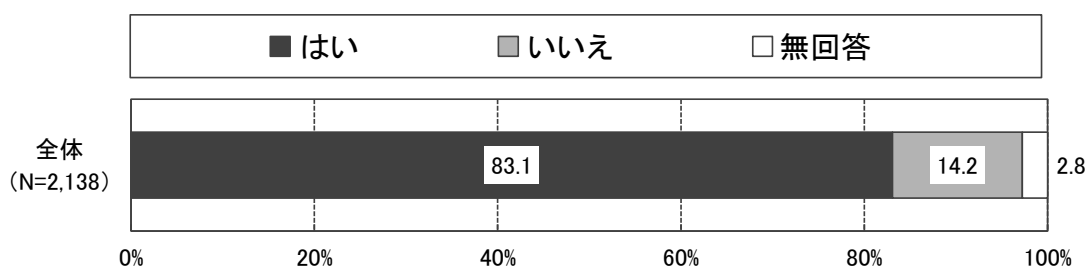
第2章 調査結果

③ 病人を見舞うことができるか

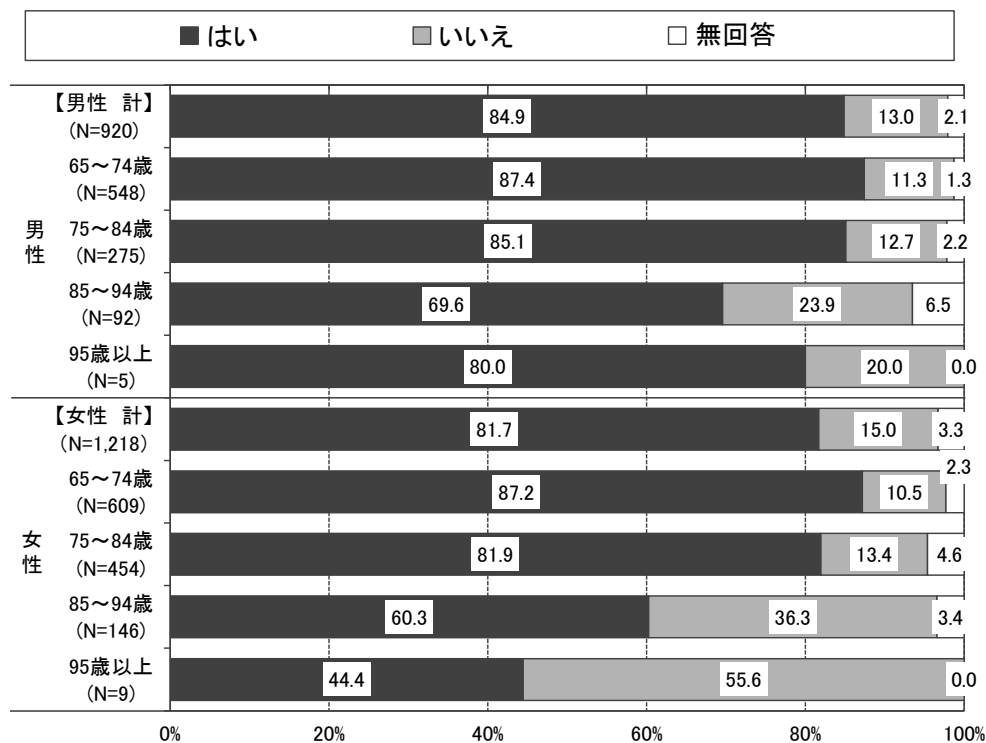
問番号	内容
問4	(15) 病人を見舞うことができますか

- 病人を見舞うことができるかについて、「はい（できる）」の割合は、全体で83.1%と非常に高くなっている。
- 性・年齢別にみると、「はい（できる）」の割合は、全ての年代で女性の方が低くっており、85～94歳の高齢者では約6割まで落ち込む。
- 居住地区別にみると、「病人を見舞うことができる」人の割合は、鯉田地区（89.3%）で最も高く、菰田地区（73.2%）で最も低くなっている。

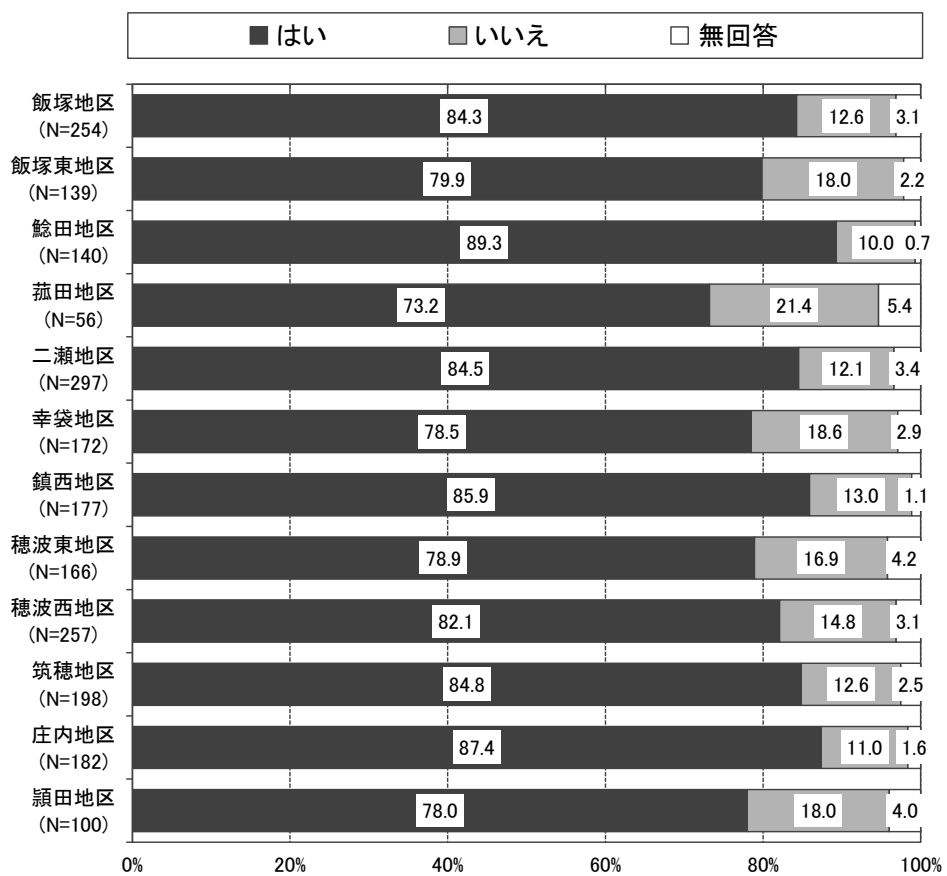
〔病人を見舞うことができるか〕



〔性・年齢別 病人を見舞うことができるか〕



〔居住地区別 病人を見舞うことができるか〕



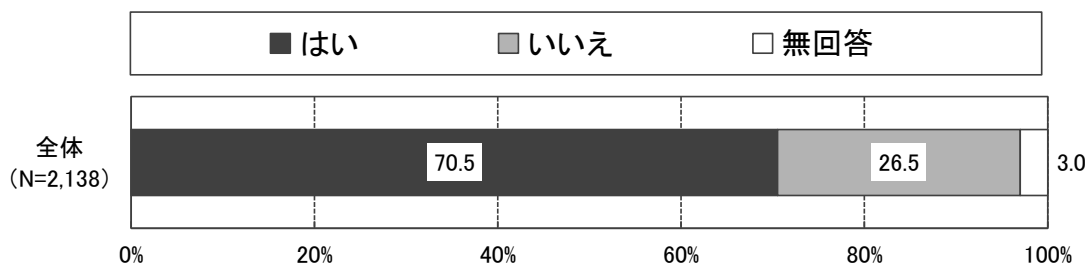
第2章 調査結果

④ 若い人に自分から話しかけることがあるか

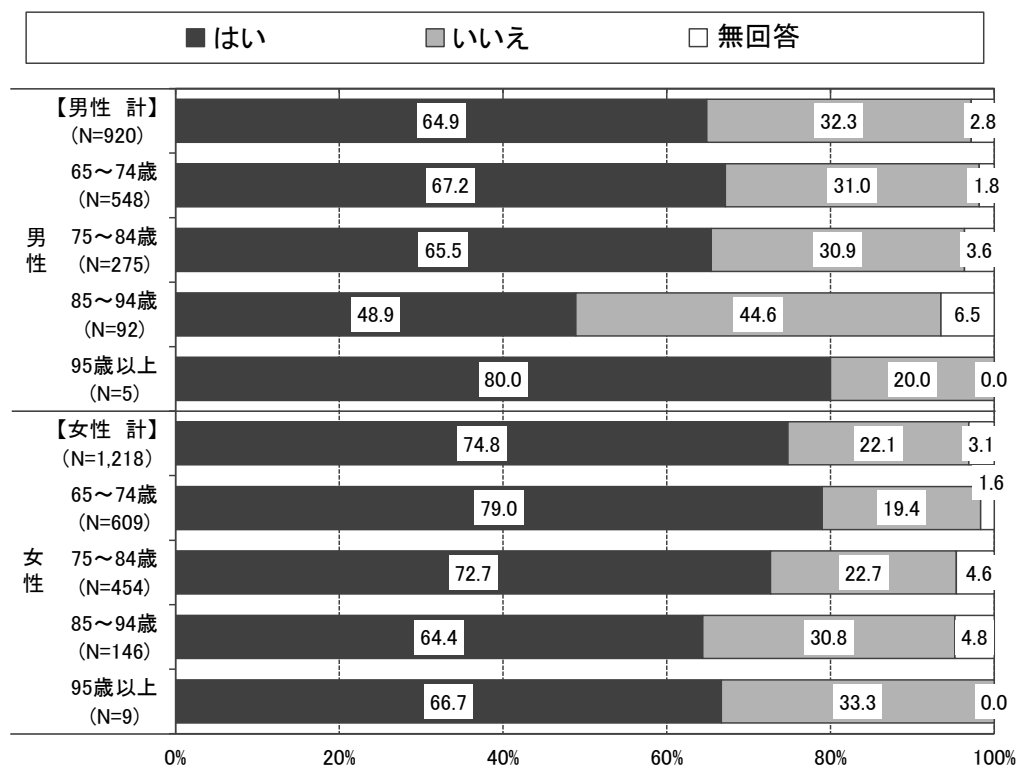
問番号	内容
問4	(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか

- 若い人に自分から話しかけることがあるかについて、「はい（ある）」の割合は、全体で70.5%となっている。
- 性・年齢別にみると、「はい（ある）」の割合は、95歳以上を除く年代で女性の方が高くなっている。男性の85～94歳では、5割に満たない。
- 居住地区別にみると、「若い人に自分から話しかけることがある」人の割合は、飯塚東地区（77.7%）で最も高く、菰田地区（55.4%）で最も低くなっている。

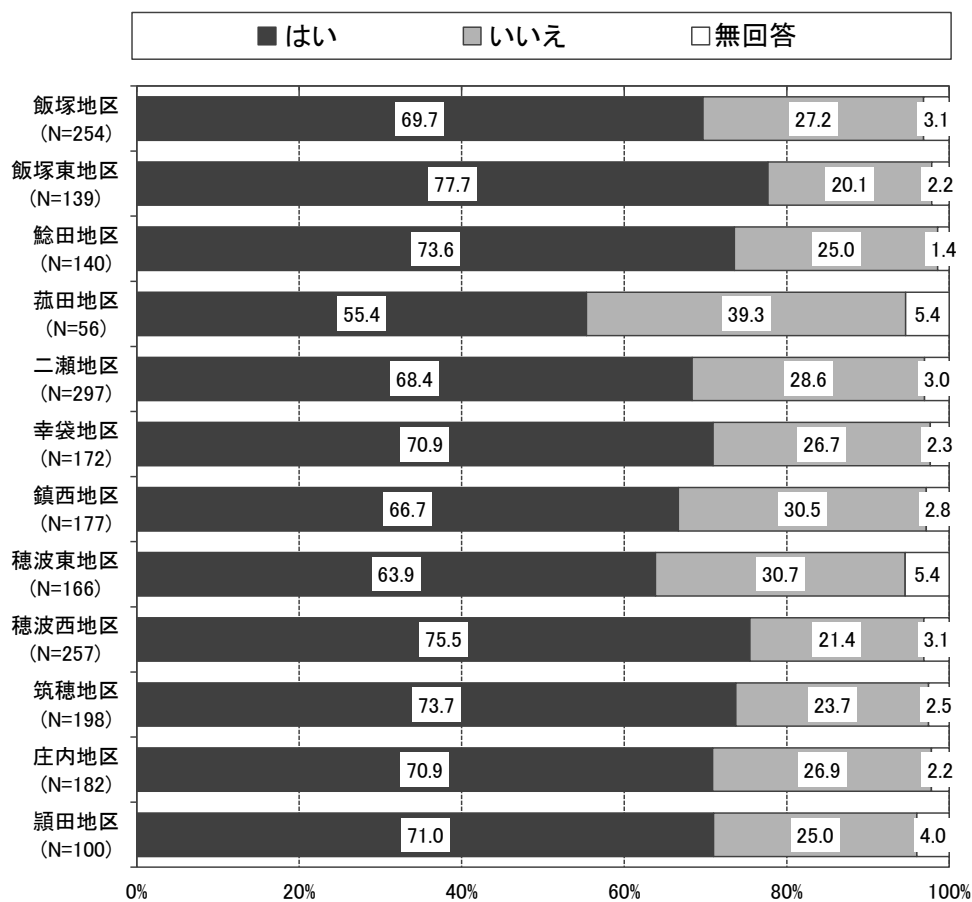
〔若い人に自分から話しかけることがあるか〕



〔性・年齢別 若い人に自分から話しかけることがあるか〕



〔居住地区別 若い人に自分から話しかけることがあるか〕



第2章 調査結果

(5) 趣味・生きがい

① 趣味があるか

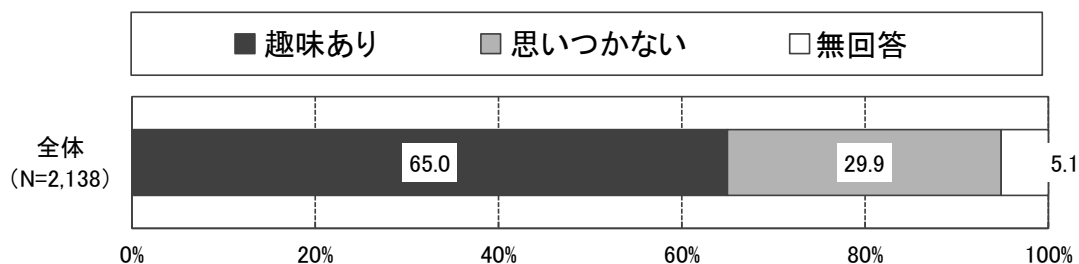
問番号		内容
問4	(17)	趣味はありますか

■趣味があるかについて、「趣味あり」の割合は全体で65.0%となっている。趣味がある方に内容を尋ねると、「音楽」「スポーツ」「読書」などの回答が多かった。

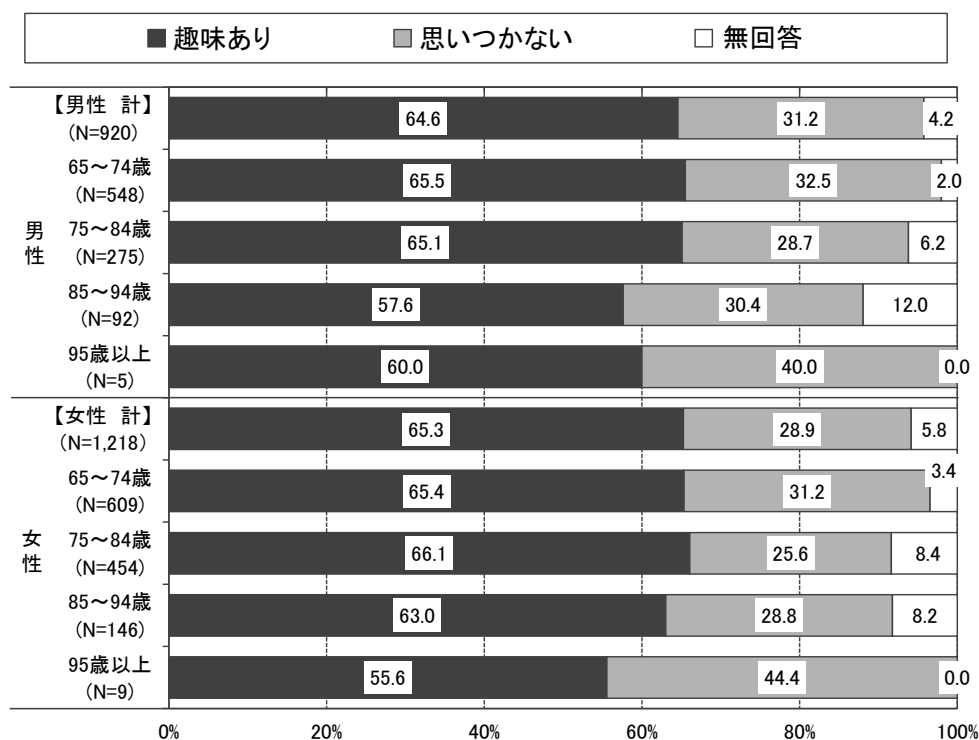
■性・年齢別にみると、「趣味あり」の割合に男女差はほとんどなく、いずれも過半数を占めている。

■居住地区別にみると、「趣味あり」と回答した人の割合は、幸袋地区（68.6%）で最も高く、穂波東地区（58.4%）で最も低くなっている。

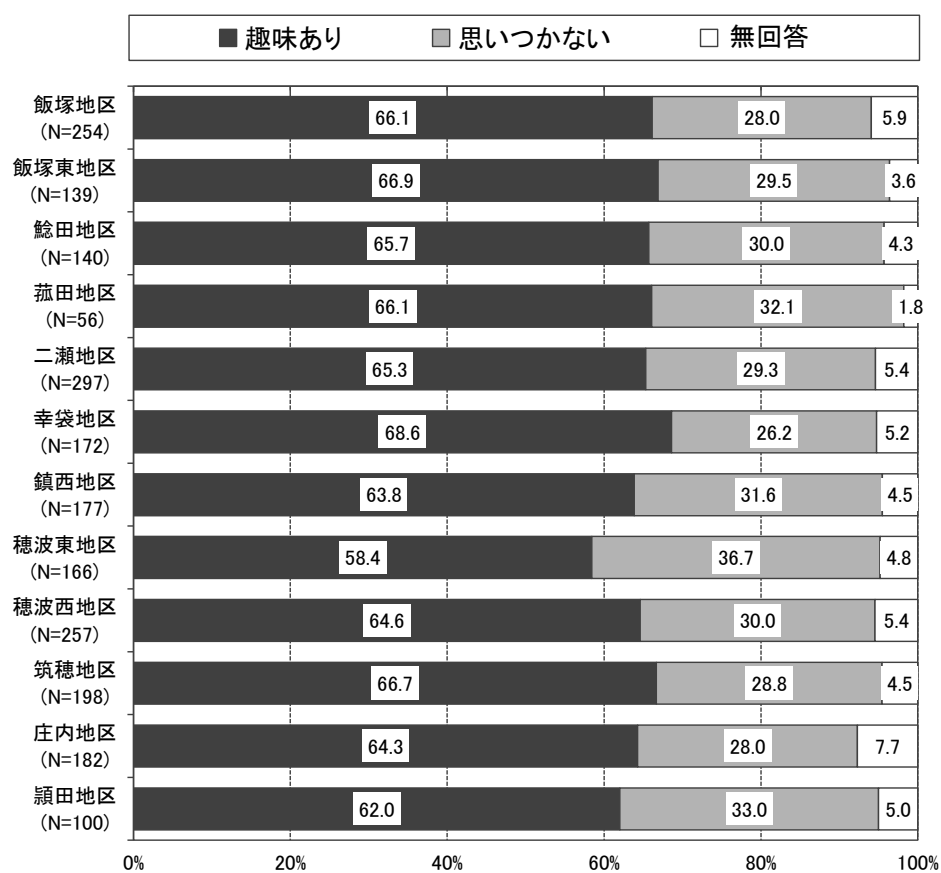
〔趣味があるか〕



〔性・年齢別 趣味があるか〕



〔居住地区別 趣味があるか〕



第2章 調査結果

② 生きがいはあるか

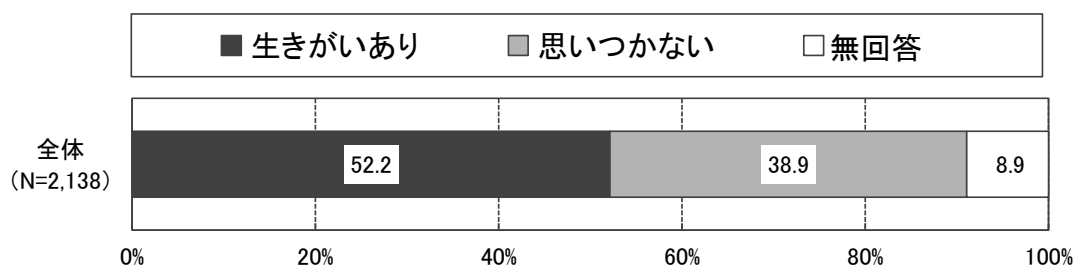
問番号		内容
問4	(18)	生きがいがありますか

■生きがいはあるかについて、「生きがいあり」の割合は、全体で52.2%となっている。生きがいがある方に内容を尋ねると、「家族」「健康でいること」「仕事」などの回答が多かった。

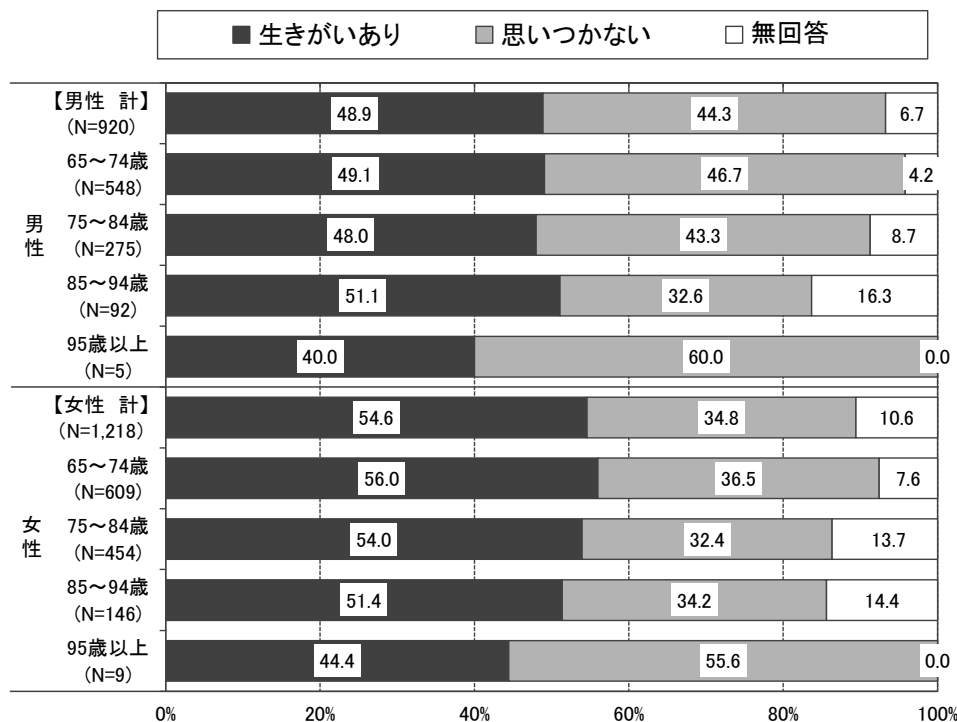
■性・年齢別にみると、「生きがいあり」の割合は、全ての年代で女性の方が高い。

■居住地区別にみると、「生きがいあり」と回答した人の割合は、菰田地区（58.9%）で最も高く、穂波東地区（42.2%）で最も低くなっている。

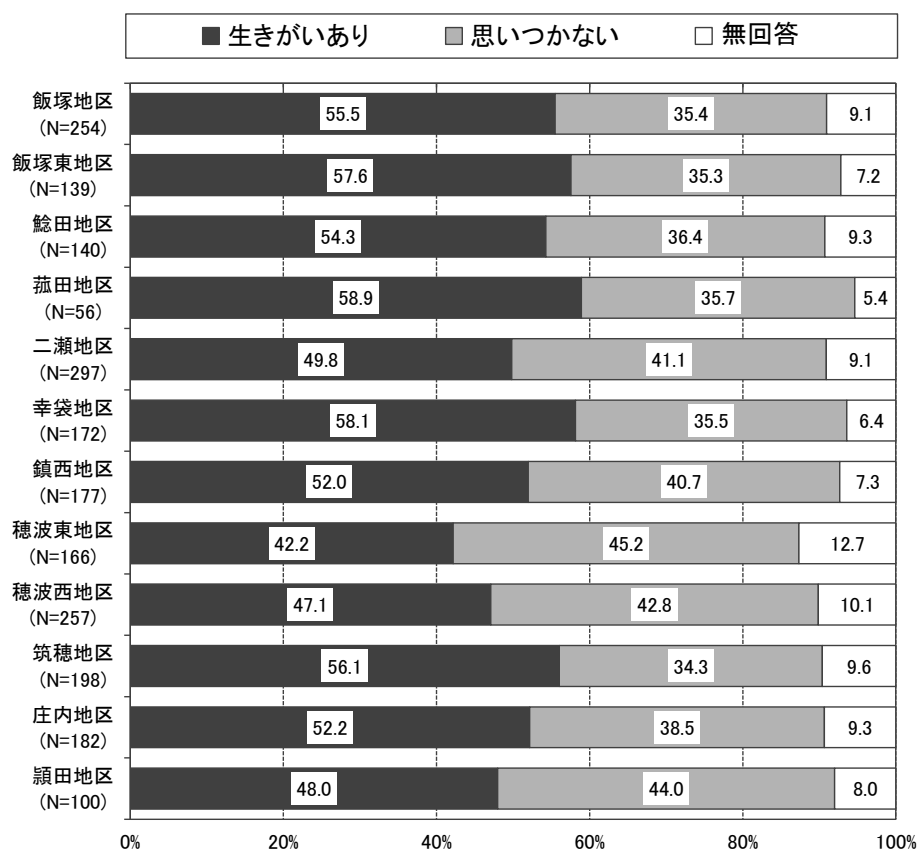
〔生きがいはあるか〕



〔性・年齢別 生きがいはあるか〕



〔居住地区別 生きがいはあるか〕



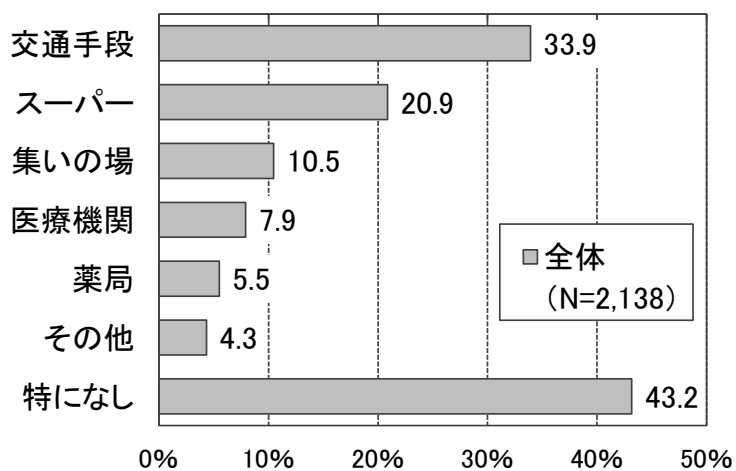
第2章 調査結果

(6) 現在暮らしている地域に足りないもの

問番号		内容
問4	(19)	現在暮らしている地域に、足りないと思うものは、何ですか

- 現在暮らしている地域に足りないものについては「特になし」(43.2%)の割合が最も高く、次いで「交通手段」(33.9%)、「スーパー」(20.9%)と続く。
- 性別にみると、「特になし」を除く選択肢で、男性全体に比べ女性全体の割合が高くなっている。
- 居住地区別にみると、「交通手段」は筑穂地区、「医療機関」「スーパー」「集いの場」は鯉田地区、「薬局」は鯉田地区で、地域に足りないと思う人の割合が最も高い。

〔現在暮らしている地域に足りないもの（複数回答）〕



〔性・年齢別、居住地区別 現在暮らしている地域に足りないもの(%)〕

		調査数	特になし	交通手段	医療機関	薬局	スーパー	集いの場	その他
全体		2,138	43.2	33.9	7.9	5.5	20.9	10.5	4.3
性・年齢別	【男性 計】	920	50.3	28.5	7.3	4.0	18.4	8.6	4.2
	65～74歳	548	52.9	27.2	7.3	3.3	17.9	7.7	4.2
	75～84歳	275	49.1	28.4	7.3	5.1	18.9	9.8	4.7
	85～94歳	92	39.1	34.8	7.6	5.4	20.7	9.8	3.3
	95歳以上	5	40.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	【女性 計】	1,218	37.8	38.0	8.4	6.7	22.7	11.9	4.4
	65～74歳	609	41.4	35.1	7.7	4.3	21.8	10.2	5.7
	75～84歳	454	34.1	40.7	9.0	7.3	23.1	13.9	2.9
	85～94歳	146	32.2	41.8	8.9	14.4	26.0	13.0	4.1
	95歳以上	9	66.7	33.3	11.1	11.1	11.1	11.1	0.0
居住地区	飯塚地区	254	15.0	2.4	1.2	11.8	13.4	5.1	59.1
	飯塚東地区	139	41.0	6.5	5.0	32.4	9.4	3.6	38.8
	鯉田地区	140	16.4	8.6	16.4	10.0	13.6	7.1	55.7
	菰田地区	56	21.4	8.9	5.4	16.1	5.4	3.6	55.4
	二瀬地区	297	36.0	4.7	1.3	22.9	7.7	2.4	41.4
	幸袋地区	172	45.3	9.9	8.7	20.3	11.0	4.1	33.7
	鎮西地区	177	34.5	10.2	4.5	14.1	10.2	4.0	48.6
	穂波東地区	166	31.9	4.2	5.4	17.5	12.7	4.8	44.0
	穂波西地区	257	28.4	4.7	3.1	16.7	10.5	5.1	51.8
	筑穂地区	198	57.1	23.2	11.1	25.8	8.6	5.1	24.7
	庄内地区	182	37.4	7.1	3.8	17.0	11.5	4.9	40.1
	瀬田地区	100	42.0	10.0	9.0	66.0	9.0	2.0	15.0

第2章 調査結果

(7) 補聴器について

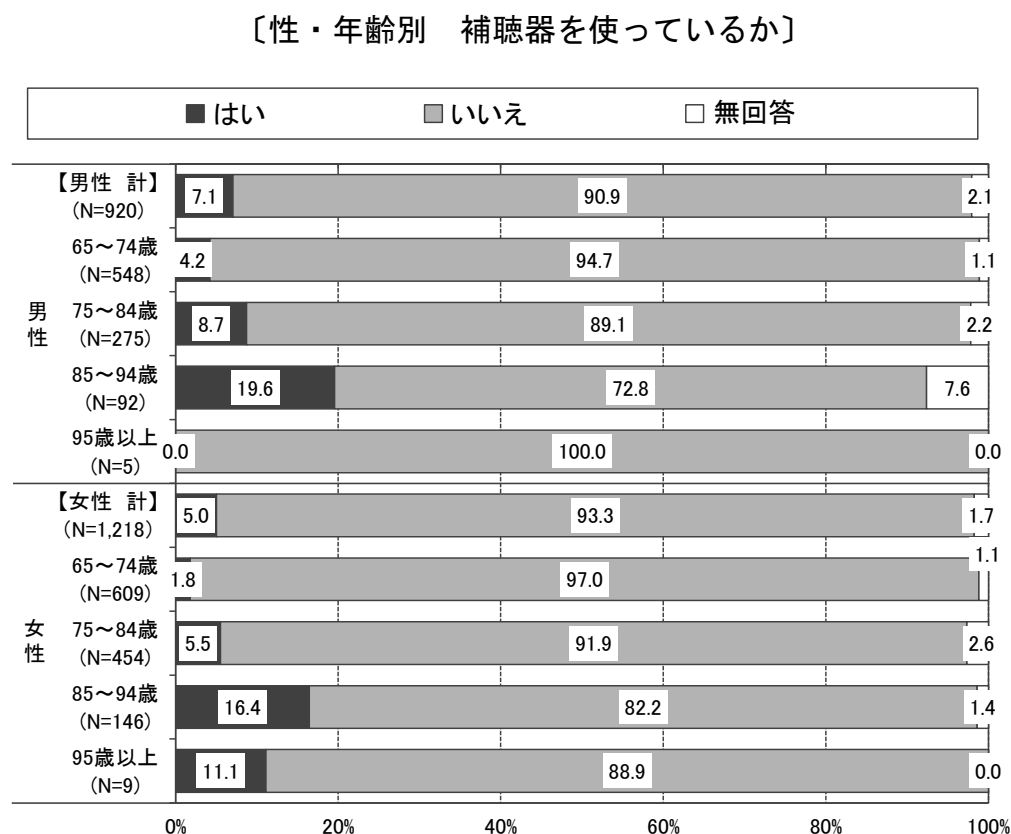
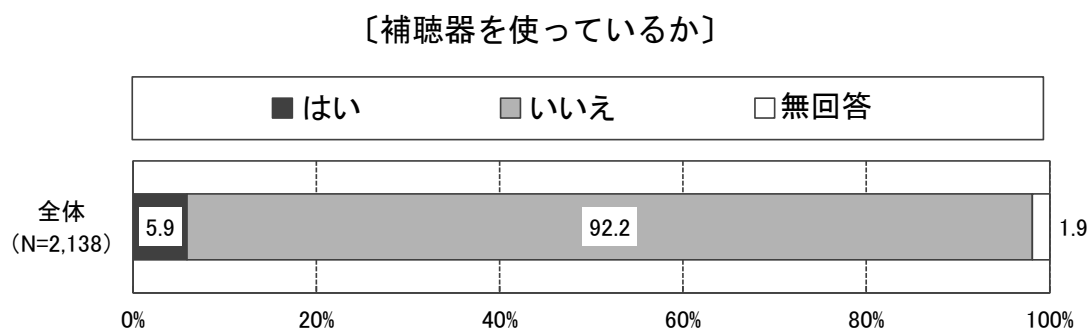
① 補聴器の使用有無

問番号		内容
問4	(20)	補聴器を使っていますか

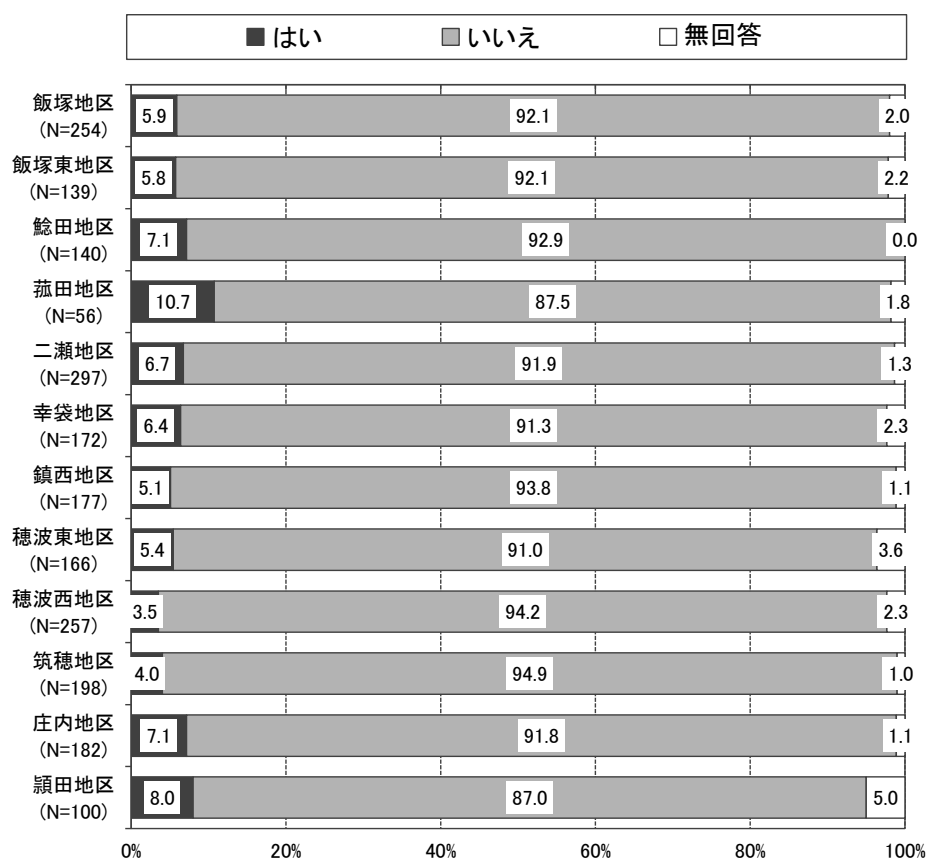
■補聴器を使っているかについて、「はい（使っている）」の割合は、全体で5.9%となっている。

■性・年齢別にみると、「はい（使っている）」の割合は85～94歳の男性では19.6%、女性では16.4%となっており、男性の方が多い。

■居住地区別にみると、「補聴器を使っている」と回答した人の割合は、菰田地区（10.7%）で最も高く、穂波西地区（3.5%）で最も低くなっている。



〔居住地区別 補聴器を使っているか〕



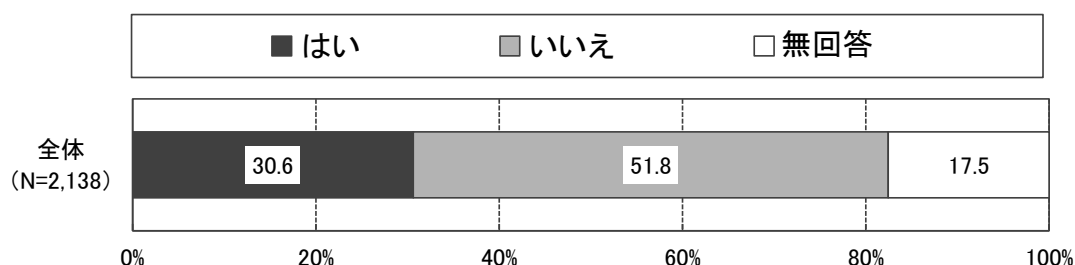
第2章 調査結果

② 補聴器の購入

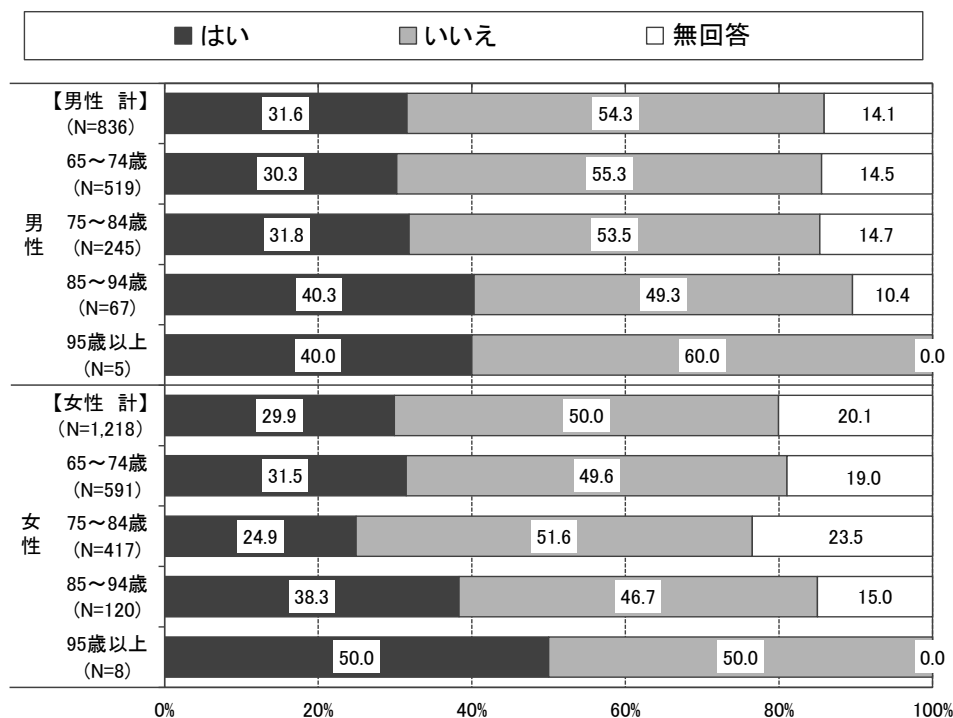
問番号		内容
問4	(20) ①	【(20)で「2. いいえ（補聴器を使っていない）」の方のみ】 補聴器購入の補助制度が創設されたら、購入しようと思いますか

- 補聴器の購入意向について、「はい（意向あり）」の割合は、全体で30.6%となっている。
- 性別にみると、男性全体、女性全体の「はい（意向あり）」の割合に男女差はほとんどない。年齢別にみると、女性95歳以上の高齢者で「はい（意向あり）」の割合が半数を占めている。
- 居住地区別にみると、「購入意向あり」と回答した人の割合は、幸袋地区（40.8%）で最も高く、飯塚地区（21.4%）で最も低くなっている。

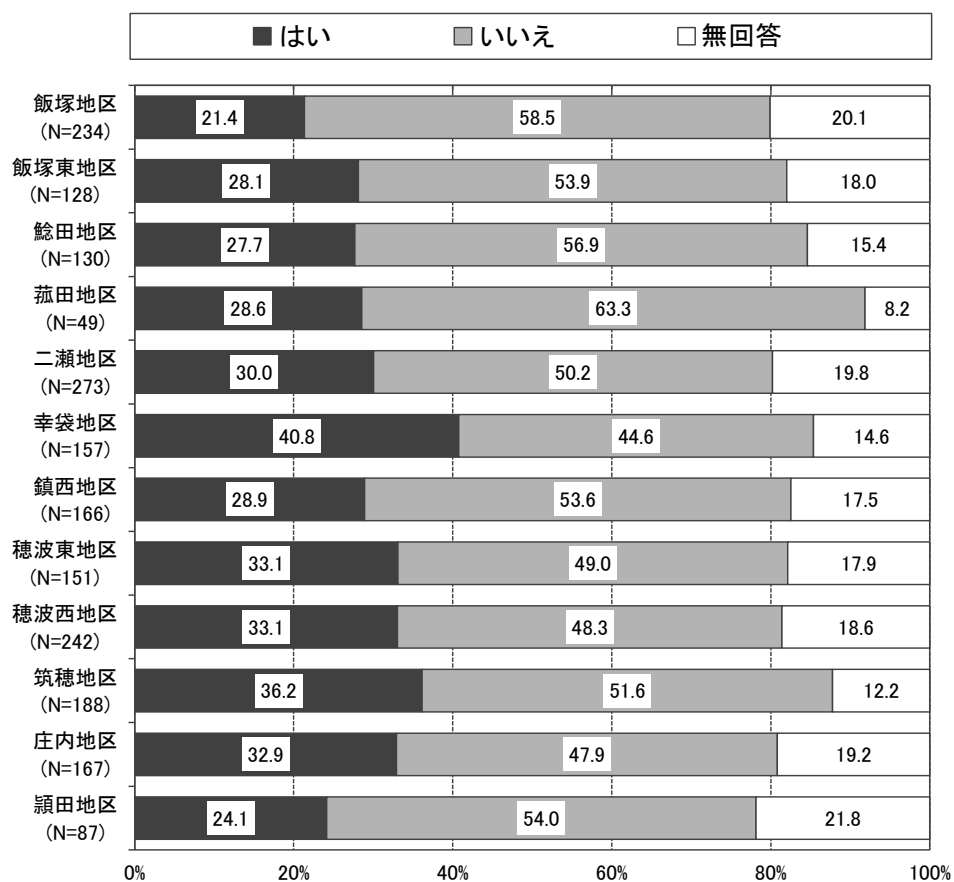
〔補聴器の購入意向〕



〔性・年齢別 補聴器の購入意向〕



〔居住地区別 補聴器の購入意向〕



4 地域での活動について

ここでは、高齢者の地域活動や趣味活動の状況、地域づくりへの参加意向を把握する。

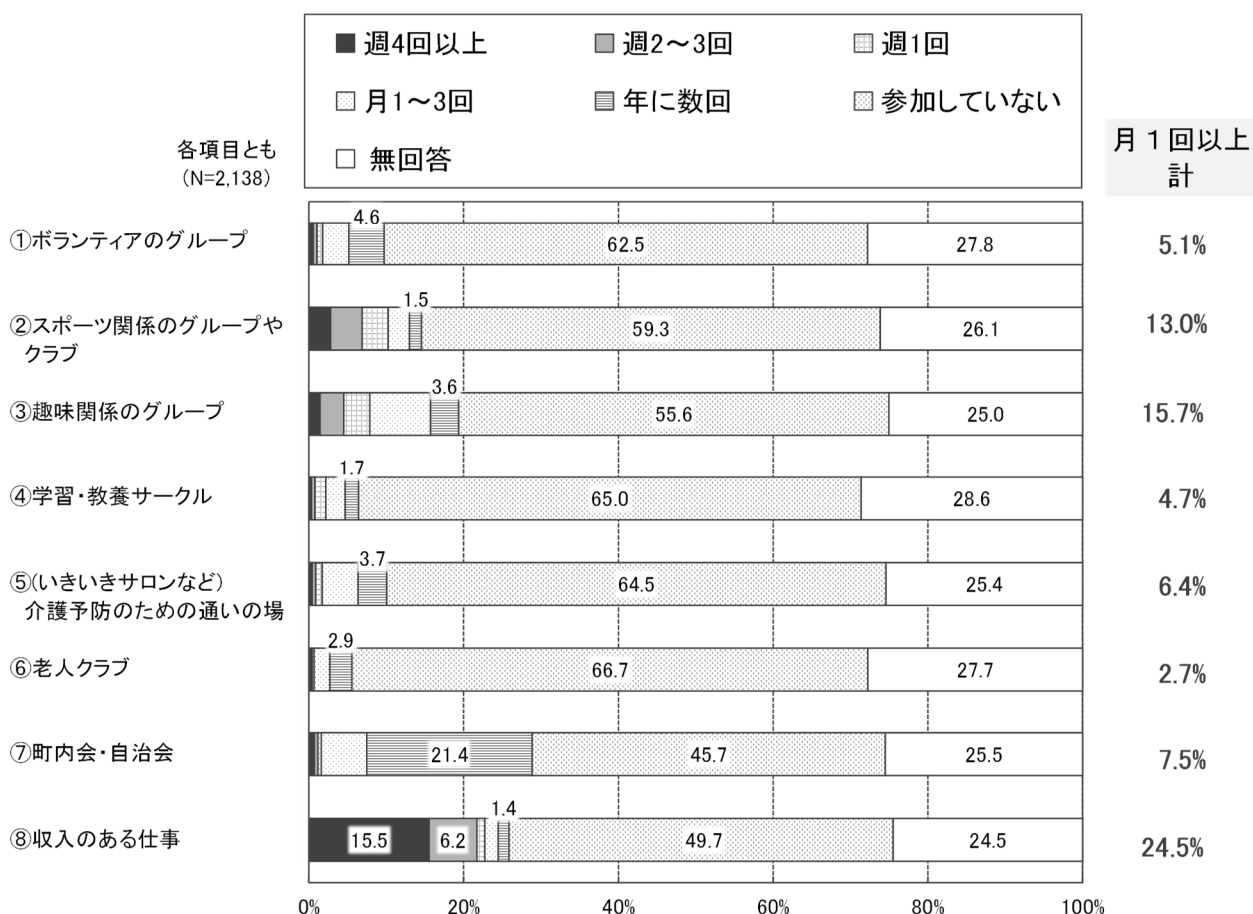
(1) 地域活動や趣味活動について

問番号	内容
問5	(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※①～⑧それぞれに回答してください

■ 8つの地域活動や趣味活動について参加頻度を質問した。

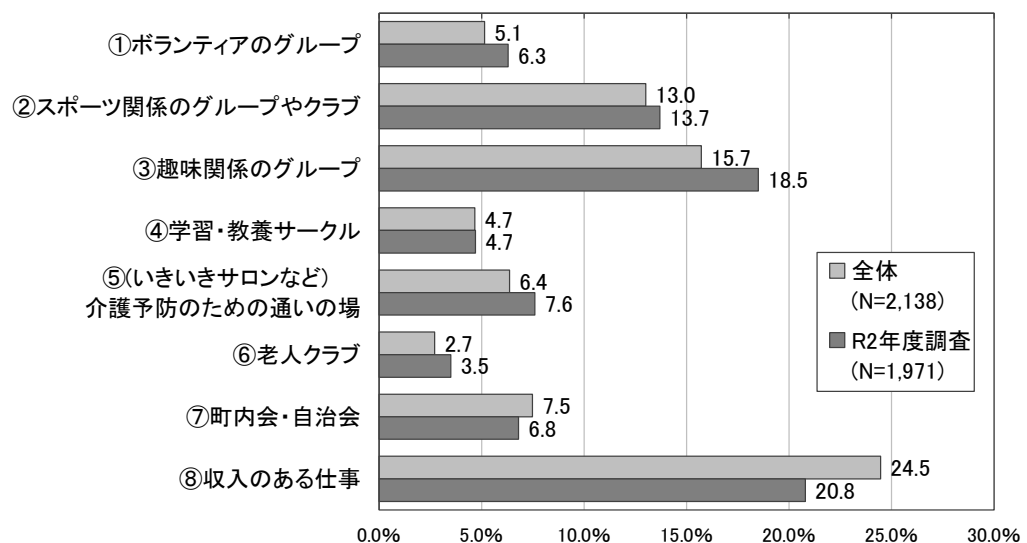
全活動とも「参加していない」の割合が最も高い。月1回以上参加している人の割合は、『⑧収入のある仕事』(24.5%)で最も高く、次いで『③趣味関係のグループ』(15.7%)、『②スポーツ関係のグループやクラブ』(13.0%)となっている。

〔地域活動や趣味活動への参加状況〕



- 前回調査と比較すると、「学習・教養サークル」「町内会・自治会」「収入のある仕事」を除く選択肢で減少している。
- 性別に月1回以上参加している人の割合をみると、『⑦町内会・自治会』や『⑧収入のある仕事』の割合は女性全体より男性全体で高く、『①ボランティアのグループ』、『②スポーツ関係のグループやクラブ』、『③趣味関係のグループ』、『④学習・教養サークル』、『⑤（いきいきサロンなど）介護予防のための通いの場』、『⑥老人クラブ』の割合は男性全体より女性全体の割合が高い。
- 居住地区別にみると、『①ボランティアのグループ』『③趣味関係のグループ』は菰田地区、『②スポーツ関係のグループやクラブ』は幸袋地区、『④学習・教養サークル』『⑥老人クラブ』は筑穂地区、『⑤（いきいきサロンなど）介護予防のための通いの場』『⑧収入のある仕事』は鯉田地区の割合が、最も高くなっている。また、『⑦町内会・自治会』の割合は菰田地区、幸袋地区、筑穂地区で高くなっており、1割を超えている。
- 手段的自立度（IADL）別にみると、いずれの活動も自立度が高い人ほど参加の割合が高く、なかでも『③趣味関係のグループ』、『⑧収入のある仕事』で顕著である。

〔地域活動や趣味活動の参加状況（月1回以上参加している人の割合） 前回調査比較〕



第2章 調査結果

〔性・年齢別、居住地区別、手段的自立度（IADL）別 地域活動や趣味活動への参加状況
（月1回以上参加している人の割合）（％）〕

「月1回以上参加」の割合

		調査数	① ボランティアの グループ	② スポーツ関係の グループやクラブ	③ 趣味関係のグルー プ	④ 学習・教養サークル	⑤ （いきいきサロンなど） 介護予防のための通いの場	⑥ 老人クラブ	⑦ 町内会・自治会	⑧ 収入のある仕事
全体		2,138	5.1	13.0	15.7	4.7	6.4	2.7	7.5	24.5
性・年齢別	【男性 計】	920	4.6	12.0	12.7	3.9	3.2	2.4	8.4	31.3
	65～74歳	548	5.7	11.5	12.0	4.2	1.6	0.7	8.6	42.0
	75～84歳	275	3.6	14.5	14.9	3.3	5.5	3.6	9.8	19.3
	85～94歳	92	1.1	7.6	9.8	4.3	4.3	6.5	2.2	5.4
	95歳以上	5	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0
	【女性 計】	1,218	5.6	13.8	18.0	5.3	8.8	3.0	6.8	19.3
	65～74歳	609	5.6	14.8	19.0	5.1	4.3	1.0	7.2	30.4
	75～84歳	454	6.6	15.6	18.5	6.8	12.1	4.6	6.6	10.4
	85～94歳	146	2.7	4.8	13.0	1.4	17.1	6.2	6.2	2.1
	95歳以上	9	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
居住地区	飯塚地区	254	5.9	13.8	15.0	5.1	7.9	1.2	7.1	22.8
	飯塚東地区	139	4.3	14.4	15.1	5.0	5.0	0.7	5.0	26.6
	鯉田地区	140	7.1	13.6	20.7	4.3	12.1	2.1	9.3	30.7
	菰田地区	56	17.9	7.1	21.4	5.4	10.7	0.0	10.7	16.1
	二瀬地区	297	0.0	9.4	16.2	4.0	8.4	1.3	7.7	24.9
	幸袋地区	172	7.6	18.6	19.2	4.7	8.7	3.5	12.8	20.9
	鎮西地区	177	5.1	11.9	8.5	4.5	1.1	1.7	5.6	29.9
	穂波東地区	166	3.0	15.1	14.5	3.6	3.0	1.8	5.4	19.9
	穂波西地区	257	6.6	12.8	15.2	5.1	4.7	3.1	7.0	21.8
	筑穂地区	198	5.1	9.1	16.7	6.6	7.6	8.6	10.6	28.8
	庄内地区	182	6.6	15.9	17.0	2.7	3.8	4.9	3.3	26.4
	瀬田地区	100	3.0	14.0	13.0	6.0	5.0	1.0	7.0	19.0
（手段的自立度）	高い	1,714	6.0	14.9	17.6	5.4	6.5	3.1	8.4	26.8
	やや低い	183	2.2	9.8	9.3	1.1	4.9	1.6	5.5	19.1
	低い	114	0.9	0.0	1.8	2.6	6.1	0.9	0.9	10.5
	無回答	127	1.6	3.9	11.8	2.4	6.3	0.8	3.9	12.6

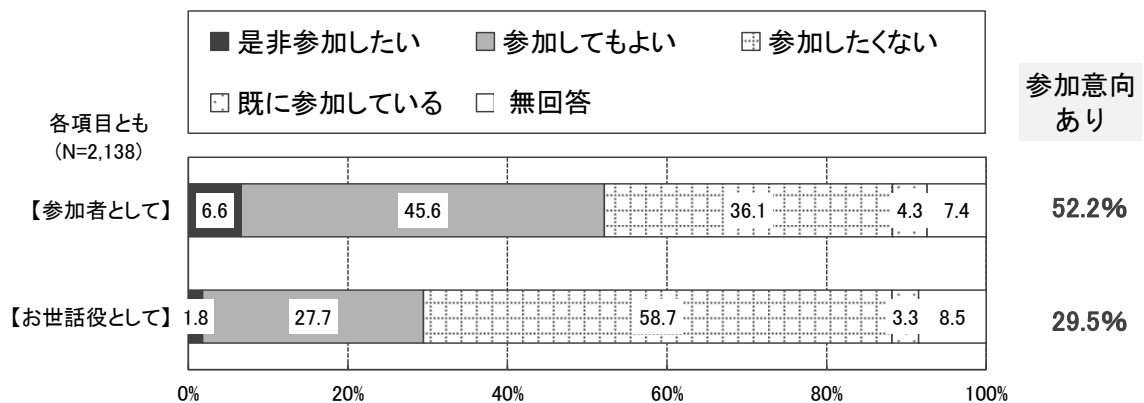
(2) 地域づくりについて

問番号	内容
問5	(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>参加者として</u> 参加してみたいと思いますか
問5	(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に <u>企画・運営(お世話役)として</u> 参加してみたいと思いますか

■地域づくりを進めるためのグループ活動について、【参加者として】の参加意向は「参加してもよい」(45.6%)が5割弱を占め、「是非参加したい」をあわせると52.2%で参加者としては比較的前向きな様子が見えてくる。

■一方、『お世話役として』の参加意向は「参加したくない」(58.7%)の割合が6割弱を占め、「参加してもよい」(27.7%)と「是非参加したい」(1.8%)を合わせた『参加したい』(29.5%)を上回る。

〔地域づくりへの参加意向〕



第2章 調査結果

〔性・年齢別、居住地区別、手段的自立度別 地域づくりへの参加意向（％）〕

		調査数	参加者として					お世話役として				
			是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	是非参加したい	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答
全体		2,138	6.6	45.6	36.1	4.3	7.4	1.8	27.7	58.7	3.3	8.5
性・年齢別	【男性 計】	920	4.5	47.3	38.2	3.6	6.5	1.5	29.6	60.1	2.8	6.0
	65～74歳	548	4.4	47.1	41.6	3.1	3.8	1.1	28.8	64.8	2.4	2.9
	75～84歳	275	5.1	50.2	32.7	2.9	9.1	2.5	32.7	53.1	2.2	9.5
	85～94歳	92	3.3	39.1	34.8	8.7	14.1	1.1	25.0	53.3	7.6	13.0
	95歳以上	5	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	60.0	0.0	20.0
	【女性 計】	1,218	8.2	44.3	34.6	4.9	8.0	2.0	26.3	57.7	3.7	10.3
	65～74歳	609	5.7	49.8	35.6	3.9	4.9	1.6	29.1	60.9	3.0	5.4
	75～84歳	454	11.7	42.7	30.0	5.3	10.4	2.2	26.2	53.1	4.2	14.3
	85～94歳	146	7.5	26.7	43.8	8.2	13.7	2.7	14.4	58.9	5.5	18.5
95歳以上	9	11.1	33.3	44.4	0.0	11.1	0.0	33.3	55.6	0.0	11.1	
居住地区	飯塚地区	254	7.9	46.1	35.4	3.5	7.1	1.6	29.1	53.5	3.9	11.8
	飯塚東地区	139	9.4	46.8	31.7	2.9	9.4	1.4	31.7	57.6	2.2	7.2
	鯉田地区	140	7.9	46.4	39.3	2.1	4.3	3.6	28.6	60.0	3.6	4.3
	菰田地区	56	10.7	42.9	32.1	8.9	5.4	0.0	32.1	58.9	3.6	5.4
	二瀬地区	297	5.7	43.1	39.4	5.4	6.4	0.7	23.6	63.6	3.0	9.1
	幸袋地区	172	4.1	43.6	35.5	9.9	7.0	1.7	29.1	58.1	5.2	5.8
	鎮西地区	177	5.1	49.2	38.4	1.7	5.6	3.4	31.6	58.2	0.0	6.8
	穂波東地区	166	9.6	40.4	34.9	6.0	9.0	3.0	21.7	62.7	3.6	9.0
	穂波西地区	257	5.1	45.1	39.3	3.5	7.0	1.2	27.2	58.8	3.5	9.3
	筑穂地区	198	5.6	45.5	34.8	5.6	8.6	3.0	27.8	57.1	4.5	7.6
	庄内地区	182	7.1	50.5	32.4	1.6	8.2	0.5	31.3	57.1	1.6	9.3
	頼田地区	100	5.0	48.0	32.0	3.0	12.0	1.0	22.0	59.0	6.0	12.0
(IADL)	高い	1,714	7.1	49.5	32.7	4.4	6.3	1.9	30.3	56.6	3.3	7.9
	やや低い	183	4.4	31.1	53.0	5.5	6.0	1.6	20.8	68.3	4.9	4.4
	低い	114	4.4	18.4	63.2	2.6	11.4	0.9	7.0	79.8	0.9	11.4
	無回答	127	4.7	37.0	33.9	3.9	20.5	1.6	20.5	55.1	3.9	18.9

■性別にみると、【参加者として】の参加意向は、「是非参加したい」とする人は女性全体（8.2％）で高く、「参加したくない」とする人は男性全体（38.2％）で高くなっている。
【お世話役として】の参加意向は、性別による大きな差はみられない。

■手段的自立度（IADL）別にみると、【参加者として】【お世話役として】のいずれも自立度が高い人ほど地域づくりへの参加意向が高く、自立度が低い人ほど「参加したくない」の割合が高くなっている。

5 たすけあいについて

ここでは、高齢者のたすけあいの状況を把握する。

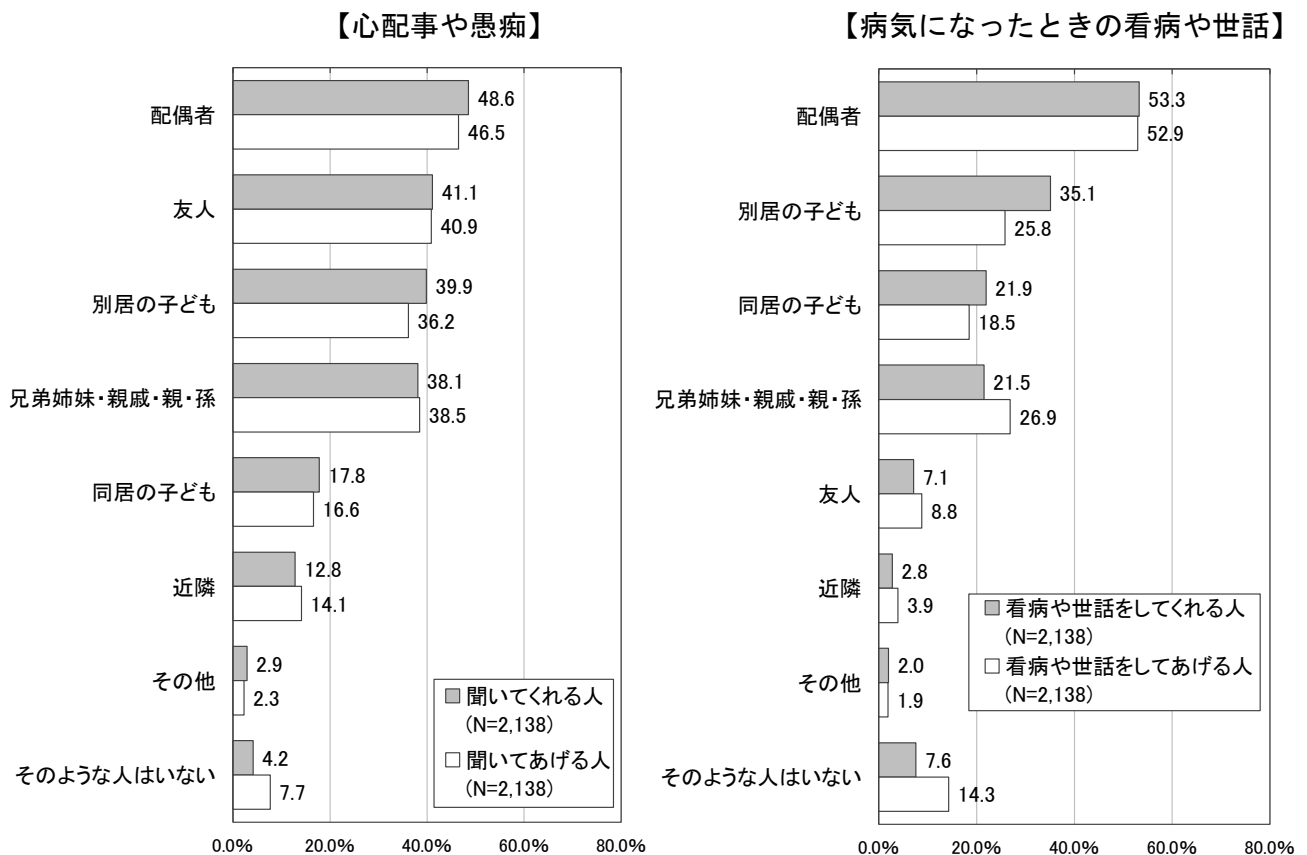
(1) たすけあいの状況

問番号	内容
問6	(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人
問6	(2) 反対に、あなたが、心配事や愚痴を聞いてあげる人
問6	(3) あなたが、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
問6	(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人

■心配事や愚痴については、『聞いてくれる人』『聞いてあげる人』ともに「配偶者」の割合が5割弱となっており、これに「友人」や「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が約4割で続いている。前回調査と比較すると、「そのような人はいない」の割合が3.5ポイント減少している。

■病気で数日間寝込んだときの看病や世話についても、『看病や世話をしてくれる人』『看病や世話をしてあげる人』ともに「配偶者」の割合が5割を超えて最も高く、これに「別居の子ども」「同居の子ども」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が18.5～35.1%となっている。

〔たすけあいの状況（複数回答）〕



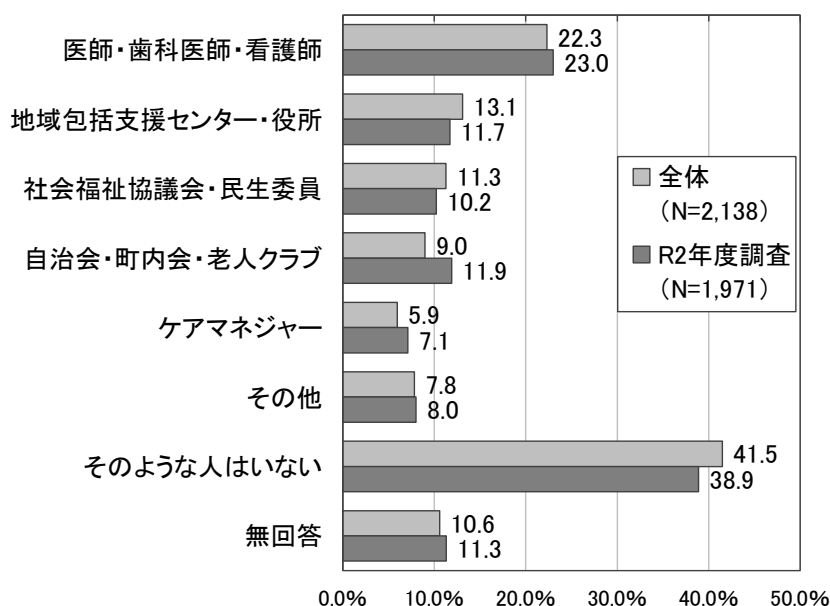
第2章 調査結果

(2) 相談経路

問番号		内容
問6	(5)	家族や友人・知人以外で、何かあったときに、相談する相手をお教えてください

- 家族や友人・知人以外の相談経路は、「そのような人はいない」(41.5%)が最も高く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」(22.3%)、「地域包括支援センター・役所」(13.1%)と続く。
- 前回調査と比較すると、「地域包括支援センター・役所」「社会福祉協議会・民生委員」「そのような人はいない」の割合が高くなっている。
- 性別にみると、「自治会・町内会・老人クラブ」「医師・歯科医師・看護師」では男性全体の割合が高く、「社会福祉協議会・民生委員」「ケアマネジャー」「地域包括支援センター」といった相談機関には女性全体の割合が高い。また、女性全体に比べ男性全体の方が「そのような人はいない」の割合が高くなっている。
- 居住地区別にみると、「そのような人はいない」の割合は、菰田地区・穂波東地区(48.2%)で最も高く、次いで飯塚地区(45.3%)、穂波西地区(45.1%)となっている。

〔相談経路（複数回答） 前回調査比較〕



〔性・年齢別、居住地区別 相談経路（％）〕

		調査数	老人 自治会・ クラブ・ 町内会・	民生 社会福 祉協 議会・ 委員	ケア マネ ジャー	医 師・ 歯 科 医 師・ 看 護 師	地 域 包 括 支 援 セ ン ター・ 役 所	そ の 他	そ の よ う な 人 は い ない	無 回 答
全体		2,138	9.0	11.3	5.9	22.3	13.1	7.8	41.5	10.6
全体※R2年度調査		1,971	11.9	10.2	7.1	23.0	11.7	8.0	38.9	11.3
性・ 年 齢 別	【男性 計】	920	11.5	8.6	4.1	23.7	11.4	9.1	45.4	7.0
	65～74歳	548	9.9	6.0	2.2	21.7	9.3	11.9	49.3	6.2
	75～84歳	275	14.2	9.5	4.4	26.5	13.1	4.0	42.2	8.4
	85～94歳	92	13.0	21.7	14.1	25.0	18.5	7.6	34.8	6.5
	95歳以上	5	20.0	0.0	20.0	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0
	【女性 計】	1,218	7.1	13.3	7.3	21.3	14.4	6.8	38.5	13.3
	65～74歳	609	4.6	8.5	5.1	20.5	14.9	8.4	45.2	10.8
	75～84歳	454	8.4	18.1	7.0	23.1	15.6	5.7	30.6	16.7
	85～94歳	146	11.6	17.8	15.8	19.2	7.5	3.4	37.7	13.0
	95歳以上	9	33.3	22.2	33.3	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1
居 住 地 区	飯塚地区	254	9.1	9.4	4.7	24.4	11.0	7.1	45.3	9.4
	飯塚東地区	139	6.5	12.2	7.2	29.5	12.2	4.3	43.9	6.5
	鯉田地区	140	9.3	14.3	7.1	25.0	23.6	5.7	35.7	10.0
	菰田地区	56	7.1	10.7	3.6	21.4	14.3	3.6	48.2	16.1
	二瀬地区	297	8.4	12.8	3.7	21.9	9.4	11.4	37.7	11.4
	幸袋地区	172	9.3	12.2	5.8	29.7	18.0	6.4	39.5	9.3
	鎮西地区	177	9.6	8.5	5.6	19.8	13.0	5.6	41.8	13.6
	穂波東地区	166	6.6	8.4	4.8	17.5	10.2	7.8	48.2	9.6
	穂波西地区	257	8.9	7.0	7.8	17.1	11.3	7.4	45.1	11.7
	筑穂地区	198	11.6	17.2	10.1	18.2	15.7	11.1	37.9	8.6
	庄内地区	182	7.7	10.4	3.3	22.5	12.6	9.9	40.7	11.5
	瀬田地区	100	14.0	15.0	8.0	26.0	12.0	6.0	35.0	12.0

第2章 調査結果

(3) 友人関係

① 友人・知人と会う頻度

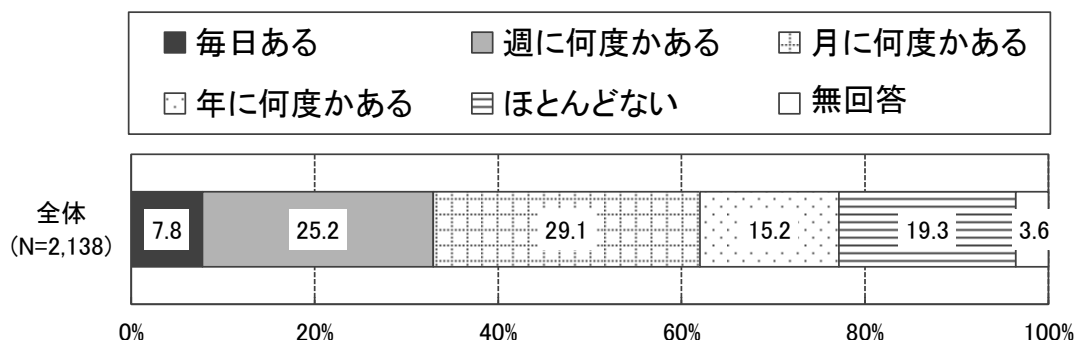
問番号	内容
問6	(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか

■友人・知人と会う頻度は、「月に何度かある」(29.1%) が最も高い。一方で「ほとんどない」(19.3%) は2割弱を占める。

■性別にみると、「ほとんどない」の割合は、女性全体に比べ男性全体の方が高い傾向にある。

■居住地区別にみると、「ほとんどない」の割合は菰田地区(35.7%)で最も高い。

〔友人・知人と会う頻度〕



〔性・年齢別、居住地区別 友人・知人と会う頻度 (%)〕

		調 査 数	毎 日 あ る	週 に 何 度 か あ る	月 に 何 度 か あ る	年 に 何 度 か あ る	ほ と ん ど な い	無 回 答
全体		2,138	7.8	25.2	29.1	15.2	19.3	3.6
性・年 齢 別	【男性 計】	920	7.0	21.2	29.2	16.1	23.2	3.4
	65～74歳	548	7.7	18.4	29.0	18.4	23.5	2.9
	75～84歳	275	7.3	27.3	29.1	12.0	20.7	3.6
	85～94歳	92	1.1	18.5	32.6	15.2	28.3	4.3
	95歳以上	5	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0
	【女性 計】	1,218	8.4	28.2	29.0	14.4	16.3	3.7
	65～74歳	609	8.0	25.9	32.2	17.1	14.1	2.6
	75～84歳	454	9.7	31.3	26.9	11.9	15.4	4.8
	85～94歳	146	5.5	29.5	21.9	11.6	26.7	4.8
	95歳以上	9	11.1	0.0	33.3	11.1	44.4	0.0
居 住 地 区	飯塚地区	254	6.7	26.8	25.6	16.9	19.7	4.3
	飯塚東地区	139	10.1	28.8	30.2	11.5	18.0	1.4
	鯉田地区	140	5.0	26.4	32.9	17.1	15.0	3.6
	菰田地区	56	3.6	17.9	28.6	7.1	35.7	7.1
	二瀬地区	297	7.1	23.9	31.6	12.5	21.2	3.7
	幸袋地区	172	8.1	30.8	26.2	8.1	23.3	3.5
	鎮西地区	177	7.9	19.8	29.4	18.6	21.5	2.8
	穂波東地区	166	9.6	18.7	29.5	18.1	21.7	2.4
	穂波西地区	257	6.2	24.5	28.4	17.1	20.6	3.1
	筑穂地区	198	10.6	28.8	30.8	15.2	10.6	4.0
	庄内地区	182	6.6	26.9	28.0	18.7	15.4	4.4
	潁田地区	100	12.0	24.0	28.0	15.0	17.0	4.0

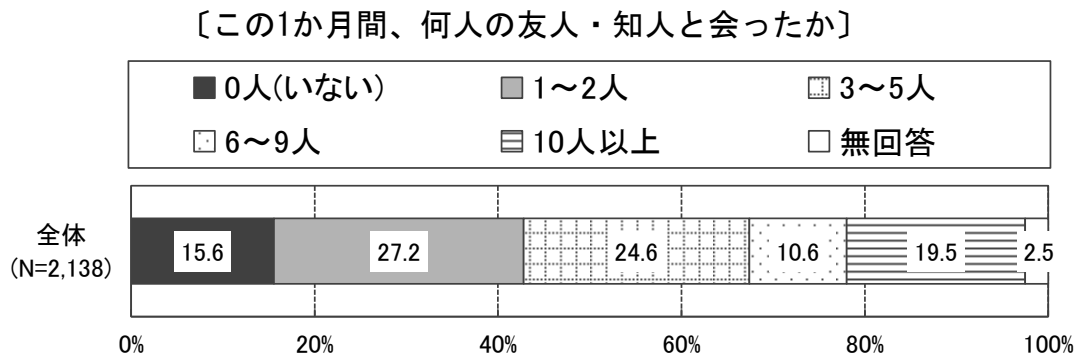
② この1か月間、何人の友人・知人と会ったか

問番号	内容
問6	(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか 同じ人には、何度会っても1人と数えることとします

■この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては、「1～2人」(27.2%)が最も高い。一方で「0人(いない)」(15.6%)は2割弱を占める。

■性・年齢別にみると、「0人(いない)」の割合は、女性全体よりも男性全体で高く、特に65～74歳男性(20.8%)で高い。

■居住地区別にみると、「0人(いない)」の割合は菰田地区(21.4%)で最も高い。



〔性・年齢別、居住地区別 この1か月間、何人の友人・知人と会ったか (%)〕

		調査数	0人(いない)	1～2人	3～5人	6～9人	10人以上	無回答
全体		2,138	15.6	27.2	24.6	10.6	19.5	2.5
性・年齢別	【男性 計】	920	19.0	26.5	23.3	9.9	18.9	2.4
	65～74歳	548	20.8	26.1	20.4	10.4	20.4	1.8
	75～84歳	275	16.4	24.4	26.9	10.5	18.9	2.9
	85～94歳	92	16.3	37.0	29.3	5.4	8.7	3.3
	95歳以上	5	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0
	【女性 計】	1,218	13.0	27.8	25.6	11.2	19.9	2.6
	65～74歳	609	12.8	28.6	23.8	10.2	22.7	2.0
	75～84歳	454	11.2	26.2	28.9	13.7	17.6	2.4
	85～94歳	146	18.5	28.8	24.7	7.5	14.4	6.2
	95歳以上	9	22.2	33.3	0.0	11.1	33.3	0.0
居住地区別	飯塚地区	254	16.5	23.2	24.8	13.0	18.5	3.9
	飯塚東地区	139	10.8	28.1	25.2	10.1	24.5	1.4
	鯉田地区	140	15.0	29.3	25.7	12.1	16.4	1.4
	菰田地区	56	21.4	25.0	21.4	8.9	16.1	7.1
	二瀬地区	297	16.8	27.3	25.6	10.8	17.2	2.4
	幸袋地区	172	16.9	25.6	24.4	9.3	23.3	0.6
	鎮西地区	177	17.5	31.1	23.2	10.7	15.8	1.7
	穂波東地区	166	17.5	28.3	25.9	7.8	16.3	4.2
	穂波西地区	257	18.7	29.2	22.2	9.7	18.3	1.9
	筑穂地区	198	10.6	27.3	21.7	11.6	25.8	3.0
	庄内地区	182	14.3	26.4	25.8	10.4	19.8	3.3
	瀬田地区	100	9.0	25.0	31.0	11.0	23.0	1.0

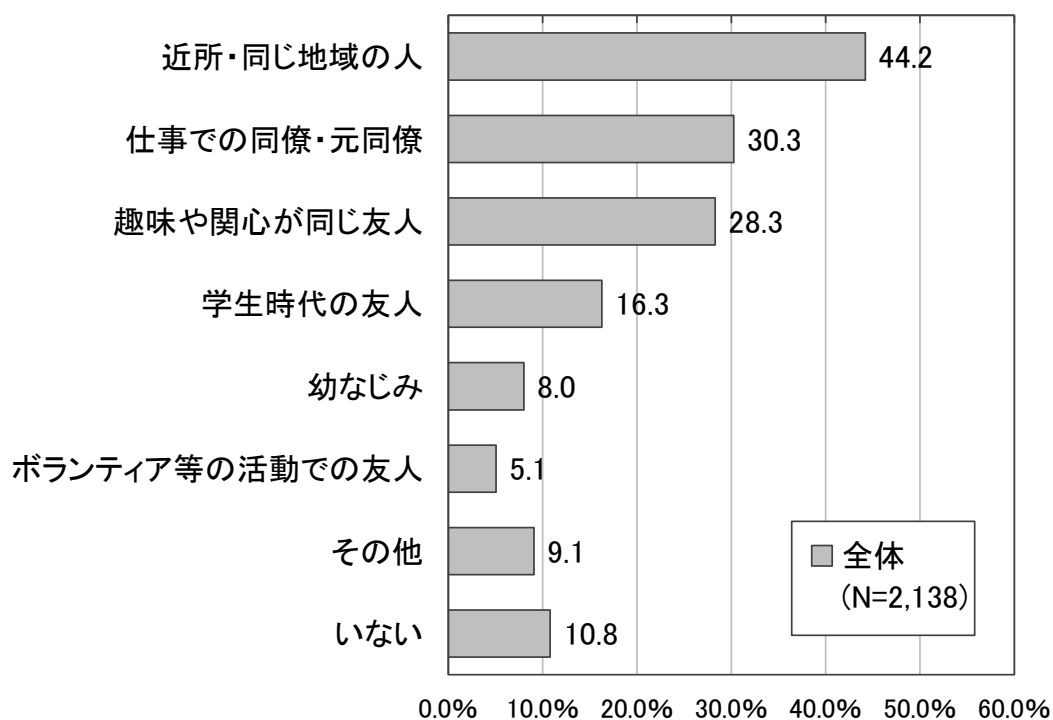
第2章 調査結果

③ よく会う友人・知人はどんな関係の人か

問番号		内容
問6	(8)	よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか

- よく会う友人・知人はどんな関係の人かについては、「近所・同じ地域の人」(44.2%)が最も高く、次いで「仕事での同僚・元同僚」(30.3%)、「趣味や関心が同じ友人」(28.3%)と続く。
- 性別にみると、「近所・同じ地域の人」の割合は男性全体よりも女性全体の方が高いが、年代別では男性の95歳以上が8割と最も高くなっている。
- 居住地区別にみると、「近所・同じ地域の人」の割合は筑穂地区(59.6%)で最も高い。

〔よく会う友人・知人はどんな関係の人か（複数回答）〕



〔性・年齢別、居住地区別 よく会う友人・知人はどんな関係の人か（％）〕

		調査数	人近所・同じ地域の	幼なじみ	学生時代の友人	仕事での同僚・元同僚	趣味や関心が同じ友人	ボランティア等の活動での友人	その他	いない	無回答
全体		2,138	44.2	8.0	16.3	30.3	28.3	5.1	9.1	10.8	4.4
性・年齢別	【男性 計】	920	38.7	8.0	17.1	32.6	24.6	4.0	8.8	13.4	4.1
	65～74歳	548	30.7	9.1	20.1	37.4	22.1	4.4	10.8	14.4	3.3
	75～84歳	275	50.9	8.0	13.5	29.1	28.4	2.9	5.5	10.9	4.7
	85～94歳	92	47.8	2.2	10.9	15.2	27.2	4.3	7.6	14.1	7.6
	95歳以上	5	80.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0
	【女性 計】	1,218	48.4	8.0	15.7	28.5	31.1	5.8	9.3	8.9	4.6
	65～74歳	609	41.5	7.4	18.7	38.4	30.9	6.1	10.2	8.0	3.3
	75～84歳	454	56.8	9.7	14.8	22.2	32.6	6.8	8.1	7.0	4.8
	85～94歳	146	51.4	5.5	6.2	7.5	28.8	2.1	6.8	16.4	9.6
	95歳以上	9	33.3	0.0	11.1	11.1	11.1	0.0	44.4	33.3	0.0
居住地区	飯塚地区	254	36.2	8.7	21.7	28.0	31.5	5.1	12.2	11.0	3.9
	飯塚東地区	139	43.9	10.1	20.1	30.9	30.2	5.0	11.5	9.4	4.3
	鯉田地区	140	45.7	5.0	24.3	37.9	28.6	5.0	5.7	10.0	3.6
	菰田地区	56	39.3	10.7	12.5	16.1	28.6	3.6	10.7	14.3	10.7
	二瀬地区	297	39.7	6.7	13.5	30.6	25.9	4.7	8.1	11.8	5.7
	幸袋地区	172	44.8	5.8	17.4	26.7	27.3	5.2	11.0	15.1	1.7
	鎮西地区	177	41.8	8.5	16.4	36.2	26.0	5.1	8.5	13.0	4.5
	穂波東地区	166	47.0	6.0	20.5	22.9	27.7	3.6	9.0	11.4	3.6
	穂波西地区	257	43.2	10.1	16.0	33.5	26.8	5.1	7.0	12.5	4.7
	筑穂地区	198	59.6	9.1	11.1	31.3	24.7	6.1	9.1	6.1	4.0
	庄内地区	182	42.3	7.7	12.1	33.5	33.0	6.0	7.7	8.2	4.4
	舘田地区	100	53.0	9.0	6.0	23.0	33.0	5.0	10.0	6.0	5.0

第2章 調査結果

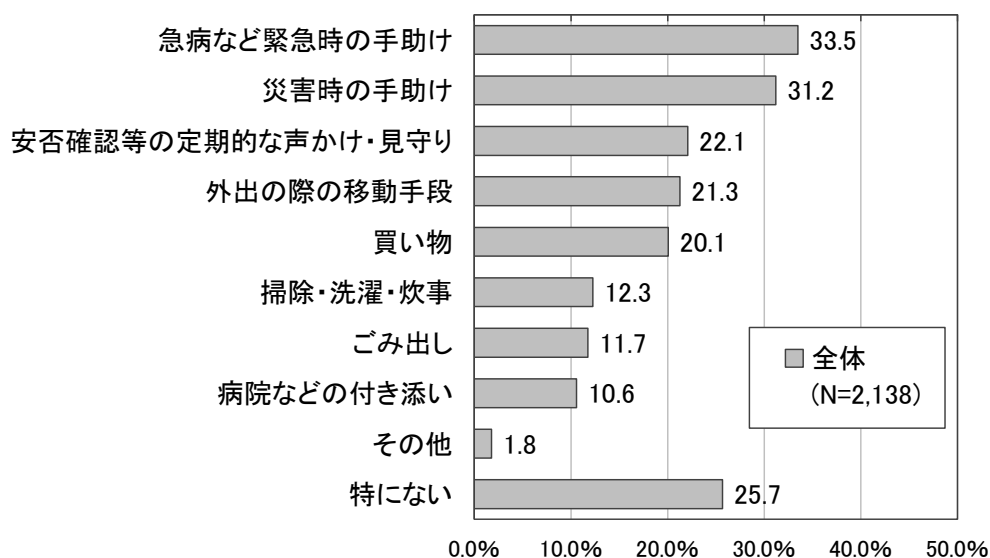
(4) 地域で支援してほしいこと・できること

① 地域の人に支援してほしいこと

問番号		内容
問6	(9)	あなたのご家族に、日常生活上支援が必要となったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか

- 家族が日常生活上支援が必要になったとき、地域の人に支援をしてほしいことは、「急病など緊急時の手助け」(33.5%)が最も高く、次いで「災害時の手助け」(31.2%)と続く。
- 性別にみると、男性全体では女性全体に比べて「掃除・洗濯・炊事」「特にない」の割合が高く、その他の選択肢では女性全体の割合の方が高くなっている。
- 居住地区別にみると、「急病などの緊急時の手助け」は飯塚東地区(41.0%)で最も高く、「災害時の手助け」は幸袋地区(35.5%)で最も高い。

〔地域の人に支援してほしいこと（複数回答）〕



〔性・年齢別、居住地区別 地域の人に支援してほしいこと（％）〕

		調査数	外出の際の移動手段	買い物	ごみ出し	掃除・洗濯・炊事	急病など緊急時の手助け	病院などの付き添い	な安否確認等の定期的な声かけ・見守り	災害時の手助け	その他	特にない
全体		2,138	21.3	20.1	11.7	12.3	33.5	10.6	22.1	31.2	1.8	25.7
性・年齢別	【男性 計】	920	18.2	18.2	10.4	12.9	31.0	9.2	21.3	30.9	1.5	31.2
	65～74歳	548	16.6	17.7	9.9	13.0	28.6	8.6	22.6	30.5	1.5	34.9
	75～84歳	275	20.0	18.2	11.6	13.5	35.3	9.5	20.4	33.5	1.1	28.0
	85～94歳	92	21.7	19.6	9.8	12.0	29.3	12.0	14.1	25.0	3.3	20.7
	95歳以上	5	20.0	40.0	20.0	0.0	80.0	20.0	60.0	40.0	0.0	0.0
	【女性 計】	1,218	23.6	21.5	12.7	11.7	35.4	11.6	22.7	31.4	2.0	21.5
	65～74歳	609	21.3	19.5	12.2	9.9	32.8	10.3	24.1	33.2	2.0	25.8
	75～84歳	454	25.1	22.2	12.1	12.1	37.9	11.9	21.4	28.6	2.2	17.8
	85～94歳	146	28.8	26.7	16.4	17.8	37.0	15.8	21.2	32.9	1.4	14.4
	95歳以上	9	22.2	33.3	22.2	22.2	55.6	11.1	11.1	33.3	0.0	33.3
居住地区	飯塚地区	254	24.0	22.8	14.6	14.2	31.5	12.6	21.7	29.9	1.6	26.0
	飯塚東地区	139	23.7	23.0	8.6	13.7	41.0	11.5	25.9	33.8	0.0	23.7
	鯉田地区	140	17.1	19.3	13.6	12.9	38.6	10.0	25.0	32.9	1.4	24.3
	菰田地区	56	25.0	26.8	17.9	14.3	35.7	8.9	16.1	23.2	1.8	21.4
	二瀬地区	297	22.6	22.2	11.4	13.8	31.6	12.1	18.5	30.6	3.4	24.2
	幸袋地区	172	22.1	15.7	14.0	12.2	35.5	11.6	20.9	35.5	2.3	27.9
	鎮西地区	177	16.9	19.2	10.2	10.7	29.9	9.0	24.3	32.8	2.3	27.7
	穂波東地区	166	21.1	20.5	8.4	10.8	30.1	10.8	24.1	33.7	0.6	24.7
	穂波西地区	257	19.8	18.3	10.1	10.9	31.9	9.3	23.7	28.0	1.6	28.8
	筑穂地区	198	24.7	21.2	14.1	13.6	37.9	10.6	21.2	33.8	1.0	22.7
	庄内地区	182	19.8	17.0	9.3	11.0	27.5	8.8	19.8	25.3	2.2	29.7
	額田地区	100	17.0	16.0	12.0	7.0	40.0	8.0	24.0	34.0	2.0	21.0

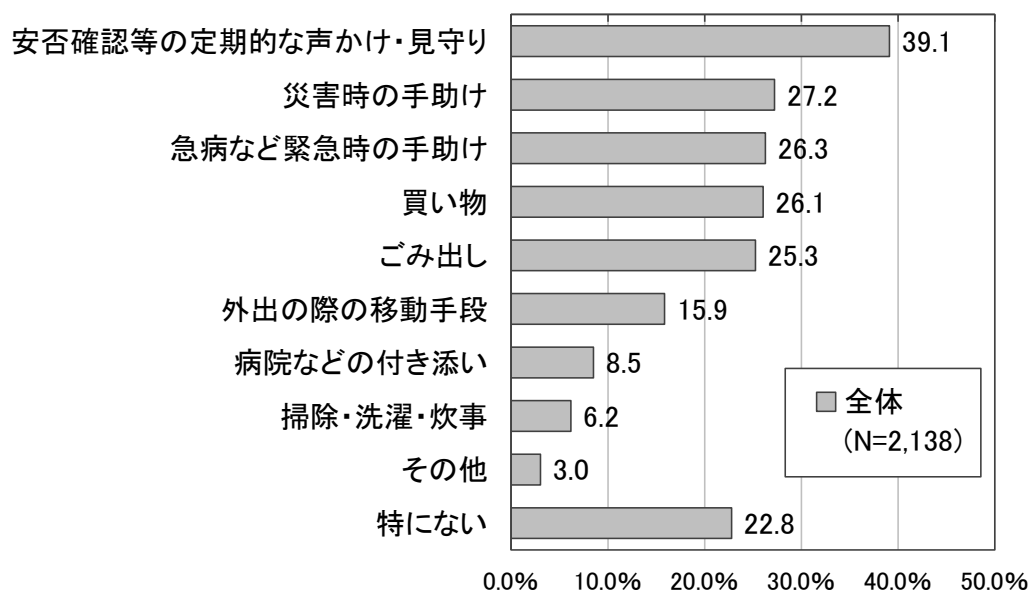
第2章 調査結果

② 地域の人に支援できること

問番号		内容
問6	(10)	となり近所に、高齢や病気・障がい等で困っている家庭があった場合、あなたは、どのような支援ができると思いますか

- となり近所に、高齢や病気・障がい等で困っている家庭があった場合、支援できることは「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」(39.1%)が最も高く、次いで「災害時の手助け」(27.2%)、「急病など緊急時の手助け」(26.3%)と続く。
- 性別にみると、男性全体では「災害時の手助け」(37.3%)が最も高く、女性全体では「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」(42.0%)が最も高い。
- 居住地区別にみると、「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」は鯉田地区(45.7%)で最も高く、「災害時の手助け」は幸袋地区(34.9%)、「急病など緊急時の手助け」(31.0%)は鯉田地区で最も高い。

〔地域の人に支援できること（複数回答）〕



〔性・年齢別、居住地区別 地域の人に支援できること（％）〕

		調査数	外出の際の移動手段	買い物	ごみ出し	掃除・洗濯・炊事	急病など緊急時の手助け	病院などの付き添い	安否確認等の定期的な声かけ・見守り	災害時の手助け	その他	特にない
全体		2,138	15.9	26.1	25.3	6.2	26.3	8.5	39.1	27.2	3.0	22.8
性・年齢別	【男性 計】	920	20.7	21.1	21.3	2.5	30.7	7.0	35.2	37.3	2.2	26.2
	65～74歳	548	21.5	21.5	21.5	1.6	32.3	7.8	39.1	39.8	1.5	26.5
	75～84歳	275	22.2	22.9	22.2	3.6	29.1	5.8	31.3	38.5	2.5	24.0
	85～94歳	92	9.8	12.0	16.3	3.3	23.9	2.2	23.9	17.4	5.4	32.6
	95歳以上	5	40.0	40.0	40.0	20.0	60.0	60.0	40.0	60.0	0.0	0.0
	【女性 計】	1,218	12.2	29.8	28.2	8.9	23.0	9.7	42.0	19.6	3.7	20.2
	65～74歳	609	15.3	37.3	31.2	10.3	27.6	10.7	46.1	27.4	2.1	16.1
	75～84歳	454	11.0	28.2	30.0	8.6	21.4	10.8	43.6	13.2	3.7	18.1
	85～94歳	146	4.1	5.5	12.3	4.8	10.3	2.7	22.6	8.2	8.9	41.1
	95歳以上	9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	66.7
居住地区	飯塚地区	254	12.2	25.6	22.8	5.5	26.4	6.7	33.5	22.4	2.0	24.8
	飯塚東地区	139	18.0	36.0	32.4	5.8	27.3	8.6	44.6	32.4	0.7	20.9
	鯉田地区	140	15.0	29.3	26.4	7.1	23.6	11.4	45.7	26.4	2.1	18.6
	菰田地区	56	8.9	12.5	16.1	3.6	16.1	7.1	32.1	17.9	1.8	26.8
	二瀬地区	297	12.8	24.9	26.3	3.7	22.6	5.7	36.7	24.9	3.4	23.9
	幸袋地区	172	19.2	26.7	28.5	9.9	29.7	15.1	40.7	34.9	3.5	21.5
	鎮西地区	177	18.6	29.4	27.1	10.7	23.2	11.3	40.1	32.8	4.0	23.7
	穂波東地区	166	10.2	27.7	26.5	6.0	29.5	9.6	38.0	26.5	2.4	25.9
	穂波西地区	257	20.6	21.8	22.2	7.0	30.4	8.6	38.9	23.7	2.3	22.6
	筑穂地区	198	19.7	28.8	25.8	5.1	28.8	6.6	43.4	29.8	2.5	21.2
	庄内地区	182	15.4	21.4	20.3	3.3	22.5	6.0	36.3	24.7	7.1	24.7
	額田地区	100	16.0	24.0	27.0	7.0	31.0	8.0	42.0	32.0	4.0	16.0

6 健康について

ここでは、主観的健康感や幸福感をはじめ、うつ傾向や喫煙の習慣、疾病の状況等、高齢者の心身の健康状況を把握する。

(1) 健康について

① 主観的健康感

問番号	内容
問7	(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

■高齢者の生活の質（QOL）の指標にもなっている主観的健康感については、「まあよい」（65.2%）の割合が最も高く、次いで「あまりよくない」（19.3%）となっている。この結果、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康群』が75.2%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『不健康群』が22.5%となっている。

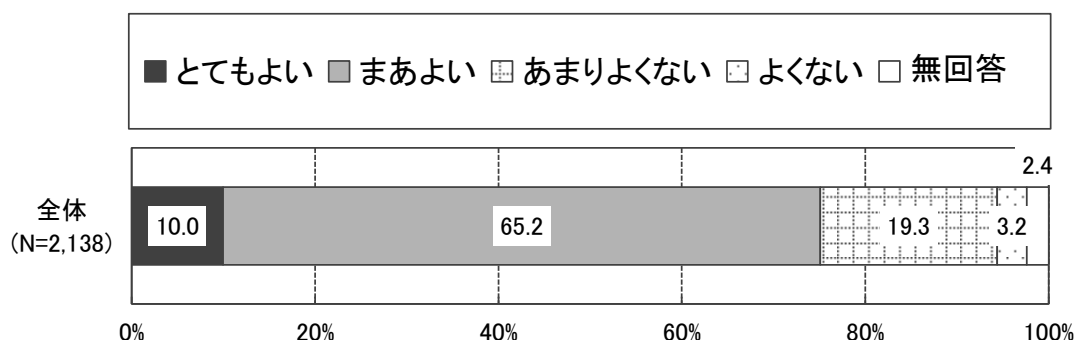
■性・年齢別にみると、性別による大きな差はみられないが、年齢とともに『不健康群』の割合が高くなる傾向にある。特に女性でその傾向が強く、75～84歳までは『不健康群』が24.5%であるのに対し、85～94歳になると35.0%に増加している。

■居住地区別にみると、『不健康群』の割合は穂波東地区（30.7%）で最も高く、菰田地区（17.9%）で最も低くなっている。

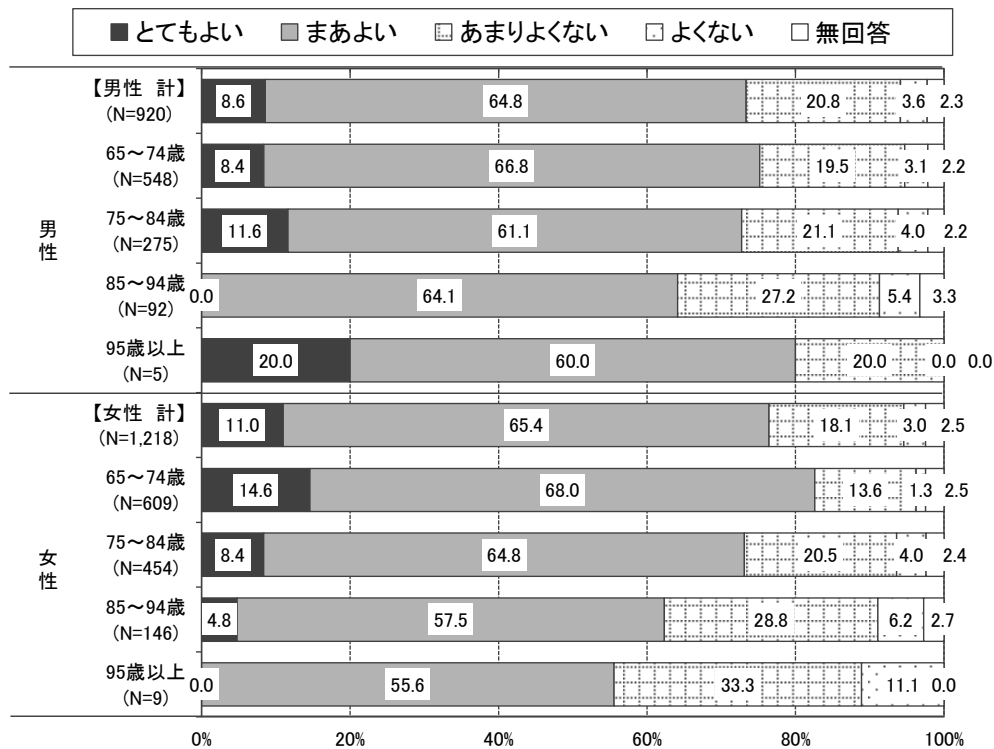
■うつ傾向別にみると、『健康群』の割合は、うつ傾向の非該当者では88.2%であるのに対し、該当者は61.2%にとどまっている。

一方、『不健康群』の割合は、非該当者（10.6%）をうつ傾向の該当者（36.6%）が大きく上回る。

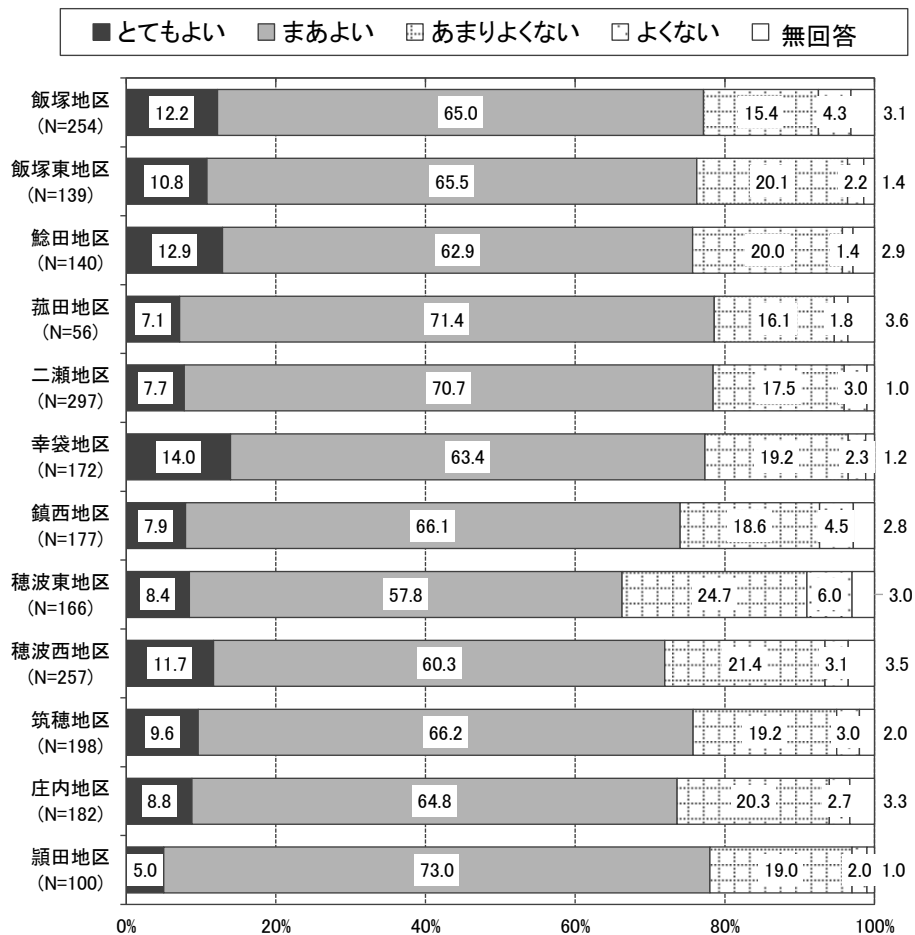
〔主観的健康感の状況〕



〔性・年齢別 主観的健康感の状況〕

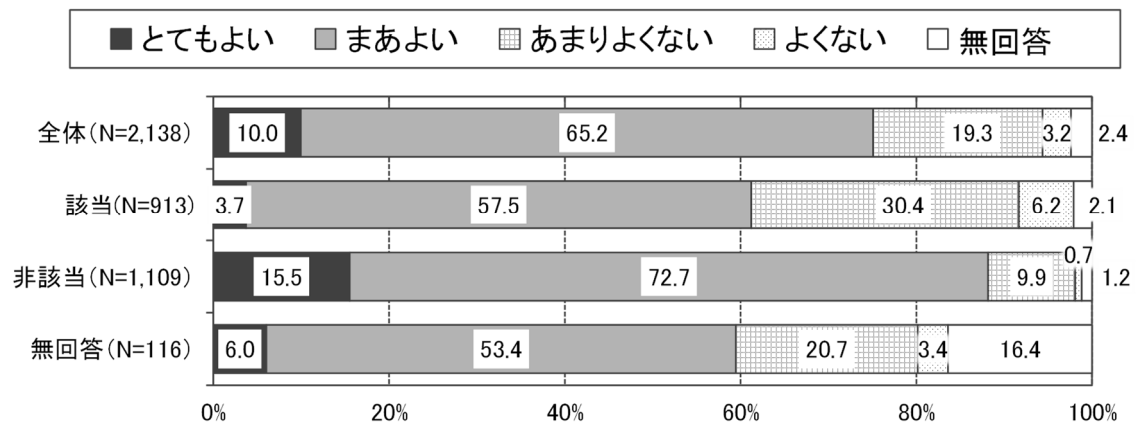


〔居住地区別 主観的健康感の状況〕



第2章 調査結果

〔うつ傾向別 主観的健康感の状況〕



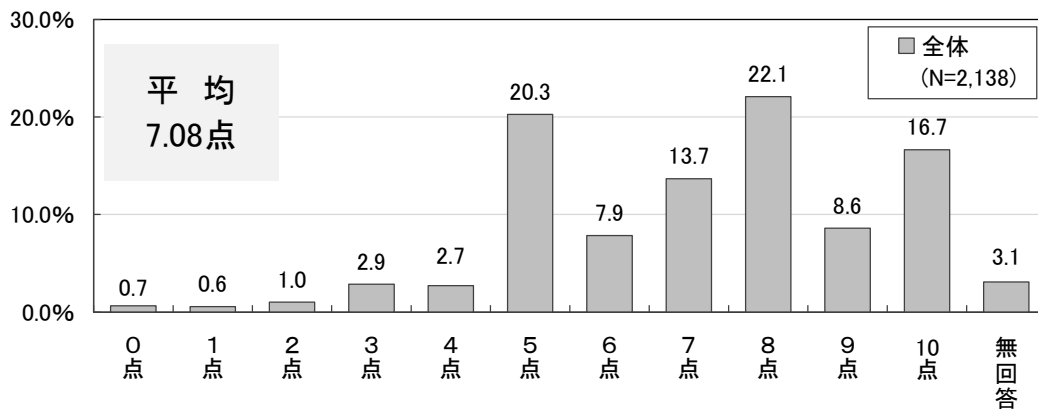
② 主観的幸福感

問番号	内容
問7	(2) あなたは、現在、どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

■現在の主観的幸福感について0～10点で評価した結果、「8点」(22.1%)の割合が最も高く、次いで「5点」(20.3%)、「10点」(16.7%)、「7点」(13.7%)となっており、平均は7.08点となっている。

■介護状況別にみると、介護・介助の必要がない人の幸福感が最も高い。また、経済状況やうつ傾向別にみても、経済状況にゆとりがある人、うつ傾向が非該当の人ほど幸福感が高い傾向にある。

〔主観的幸福感の状況〕



〔介護状況別、経済状況別、うつ傾向別 主観的幸福感 (%)〕

	調査数	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答	平均点
全体	2,138	0.7	0.6	1.0	2.9	2.7	20.3	7.9	13.7	22.1	8.6	16.7	3.1	7.08
介護状況														
必要なし	1,703	0.2	0.5	0.8	1.9	2.3	19.2	7.9	14.4	23.2	9.4	17.9	2.3	7.27
必要だが、受けていない	199	3.0	0.5	2.5	5.5	3.0	27.6	11.1	9.5	17.6	7.5	7.5	4.5	6.17
受けている	143	2.8	1.4	2.8	9.8	4.9	23.1	4.9	10.5	18.9	2.8	13.3	4.9	6.13
無回答	93	1.1	0.0	0.0	3.2	6.5	19.4	5.4	12.9	16.1	5.4	18.3	11.8	6.98
経済状況														
苦しい	844	1.3	1.2	2.1	5.8	5.7	27.1	8.1	13.6	16.6	5.7	9.4	3.4	6.24
ふつう	1,076	0.2	0.1	0.4	0.9	0.7	16.4	8.2	14.2	26.4	9.9	20.4	2.3	7.59
ゆとりがある	95	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.4	4.2	6.3	26.3	16.8	35.8	2.1	8.49
無回答	123	0.8	0.8	0.0	1.6	2.4	16.3	6.5	14.6	18.7	11.4	18.7	8.1	7.37
うつ傾向														
該当	913	1.4	1.1	1.9	5.3	3.9	28.6	10.5	13.5	18.4	5.3	7.6	2.6	6.23
非該当	1,109	0.1	0.0	0.3	0.8	1.8	13.8	6.0	13.9	25.5	11.9	24.6	1.4	7.80
無回答	116	0.0	1.7	1.7	3.4	1.7	16.4	5.2	12.9	18.1	3.4	12.1	23.3	6.81

第2章 調査結果

(2) うつ

高齢者のうつ傾向に関して、リスク判定を行う。下表の2つの設問のうち、網掛け部分に1問（点）以上該当した場合、うつ傾向の高齢者と判定される。

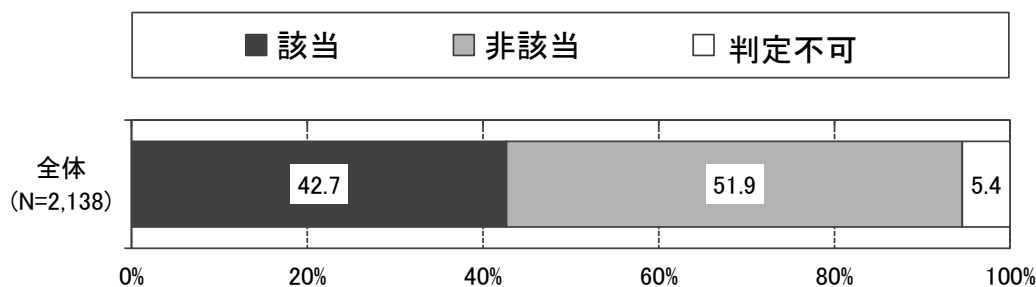
問番号	内容	回答
問7	(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1 はい（1点） 2 いいえ
	(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか	1 はい（1点） 2 いいえ

■ うつ傾向の該当者（1点以上の者）の割合は全体で42.7%となっている。

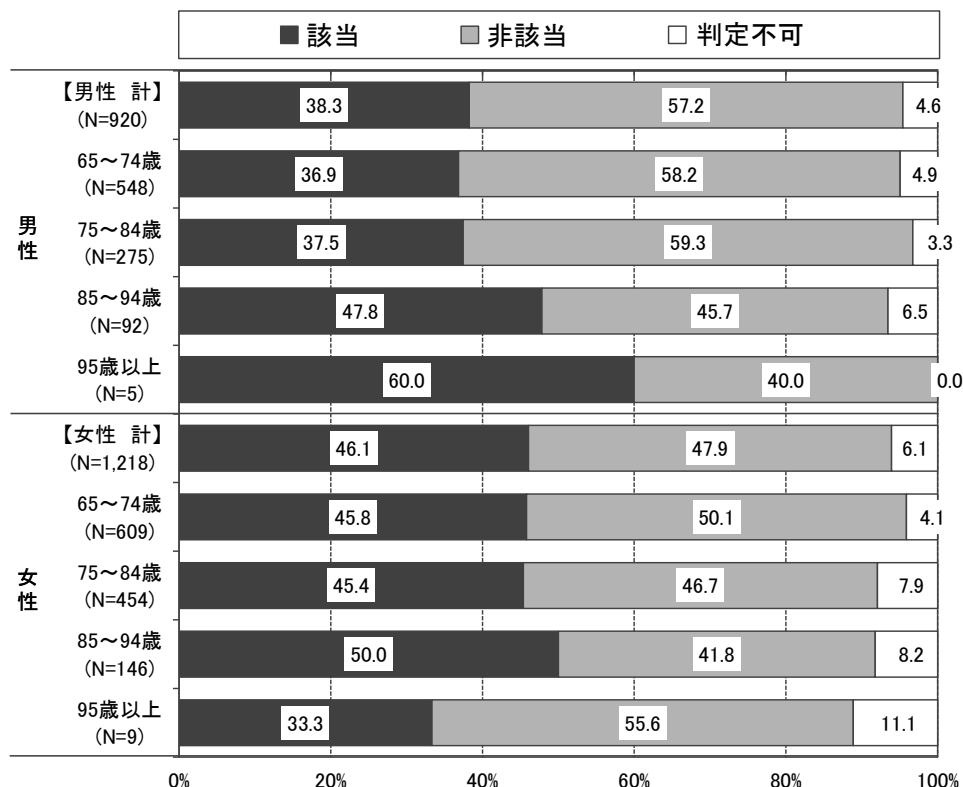
■ 性別にみると、該当者の割合は、男性全体に比べ女性全体の方が高くなっている。年齢別にみると、該当者の割合は、男性は年齢とともに高くなり85～94歳では47.8%、95歳以上では60.0%となっている。

■ 居住地区別にみると、該当者の割合は、穂波東地区(53.0%)で最も高く、颯田地区(35.0%)で最も低くなっている。

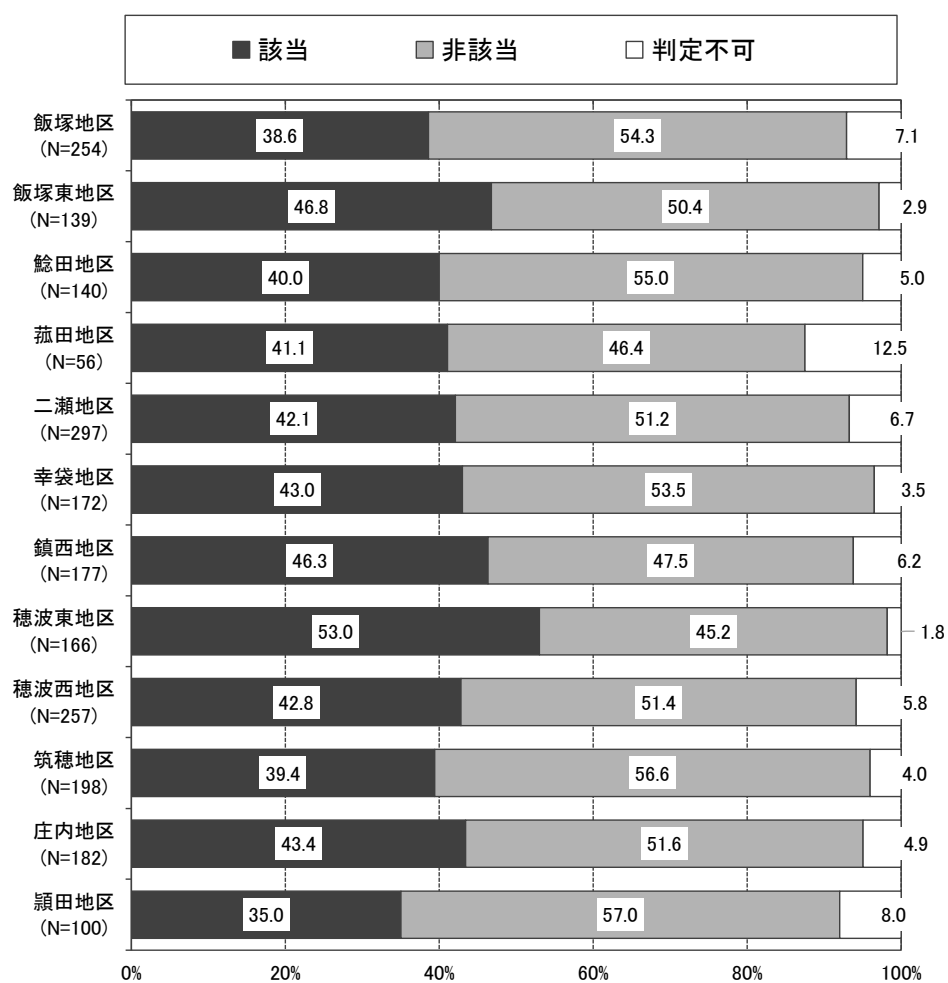
〔うつ傾向判定〕



〔性・年齢別 うつ傾向判定〕



〔居住地区別 うつ傾向判定〕

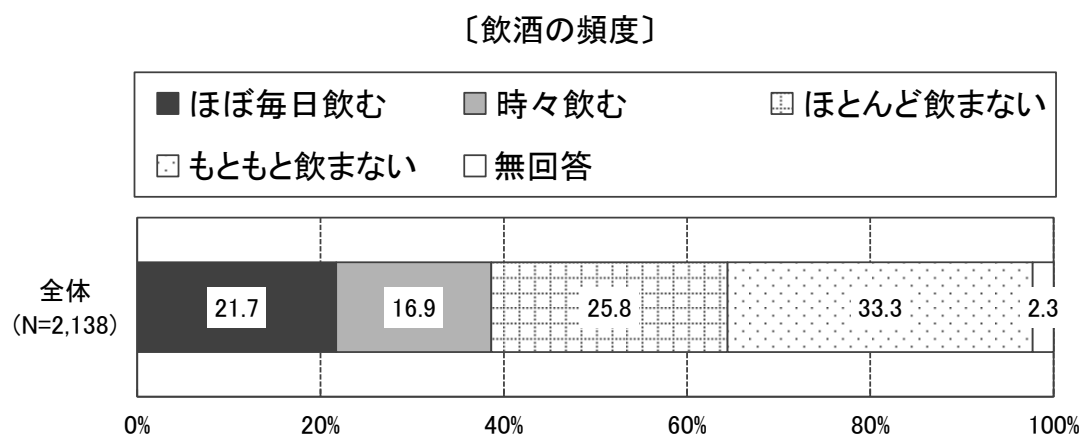


第2章 調査結果

(3) 飲酒

問番号		内容
問7	(5)	お酒は飲みますか

- 飲酒の頻度は「もともと飲まない」(33.3%)の割合が最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(25.8%)となっている。
- 性・年齢別にみると、飲酒頻度は女性より男性で高く、男性では「ほぼ毎日飲む」(37.7%)が4割弱を占める。また、「ほぼ毎日飲む」の割合は男性の65～74歳(39.1%)で最も高く、「時々飲む」とあわせると6割弱を占める。
- 居住地区別にみると、「ほぼ毎日飲む」の割合は、飯塚東地区(25.9%)で最も高く、菰田地区(17.9%)で最も低くなっている。



〔性・年齢別、居住地区別 飲酒の頻度（％）〕

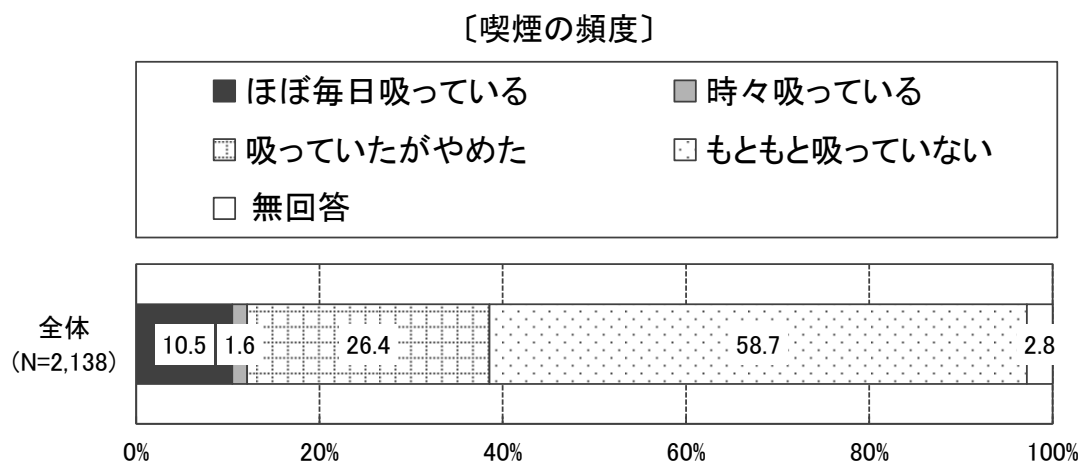
		調査数	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	無回答
全体		2,138	21.7	16.9	25.8	33.3	2.3
性・年齢別	【男性 計】	920	37.7	19.9	22.4	17.8	2.2
	65～74歳	548	39.1	19.3	21.9	17.3	2.4
	75～84歳	275	36.7	20.4	23.3	18.9	0.7
	85～94歳	92	34.8	22.8	20.7	16.3	5.4
	95歳以上	5	0.0	0.0	60.0	40.0	0.0
	【女性 計】	1,218	9.6	14.7	28.3	45.0	2.4
	65～74歳	609	12.6	16.1	29.2	40.6	1.5
	75～84歳	454	7.0	15.0	27.5	47.1	3.3
	85～94歳	146	4.8	8.2	28.1	56.2	2.7
	95歳以上	9	11.1	11.1	11.1	55.6	11.1
居住地区	飯塚地区	254	20.9	22.4	25.2	28.7	2.8
	飯塚東地区	139	25.9	20.9	26.6	25.9	0.7
	鯉田地区	140	24.3	17.1	24.3	32.1	2.1
	菰田地区	56	17.9	19.6	30.4	26.8	5.4
	二瀬地区	297	21.9	16.8	26.3	32.0	3.0
	幸袋地区	172	19.8	15.1	29.7	34.9	0.6
	鎮西地区	177	22.6	15.8	22.6	35.0	4.0
	穂波東地区	166	21.7	13.3	16.9	45.8	2.4
	穂波西地区	257	20.2	16.0	29.2	31.9	2.7
	筑穂地区	198	23.7	13.1	25.3	36.4	1.5
	庄内地区	182	20.9	19.2	30.2	29.1	0.5
	潁田地区	100	19.0	13.0	22.0	43.0	3.0

第2章 調査結果

(4) 喫煙

問番号		内容
問7	(6)	タバコは吸っていますか

- 喫煙の頻度は「もともと吸っていない」(58.7%)の割合が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(26.4%)となっている。
- 性・年齢別にみると、喫煙頻度は女性より男性で高く、男性では「ほぼ毎日吸っている」(19.2%)が2割弱を占める。また、「ほぼ毎日吸っている」の割合は男性の65～74歳(25.5%)で最も高く、「時々吸っている」とあわせると喫煙者が3割弱を占める。
- 居住地区別にみると、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『喫煙者』の割合は鎮西地区(15.9%)で最も高く、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」を合わせた『非喫煙者』の割合は庄内地区(89.0%)で最も高くなっている。



〔性・年齢別、居住地区別 喫煙の頻度（％）〕

		調査数	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	無回答
全体		2,138	10.5	1.6	26.4	58.7	2.8
性・年齢別	【男性 計】	920	19.2	2.1	50.8	24.9	3.0
	65～74歳	548	25.5	2.6	49.5	19.5	2.9
	75～84歳	275	11.3	1.5	53.8	30.9	2.5
	85～94歳	92	6.5	1.1	50.0	37.0	5.4
	95歳以上	5	0.0	0.0	40.0	60.0	0.0
	【女性 計】	1,218	3.9	1.3	8.0	84.2	2.6
	65～74歳	609	6.6	2.0	9.5	80.5	1.5
	75～84歳	454	1.3	0.9	6.6	87.4	3.7
	85～94歳	146	0.7	0.0	6.8	89.0	3.4
	95歳以上	9	0.0	0.0	0.0	88.9	11.1
居住地区	飯塚地区	254	10.6	2.8	24.0	59.1	3.5
	飯塚東地区	139	9.4	0.7	24.5	64.0	1.4
	鯉田地区	140	9.3	0.7	28.6	60.0	1.4
	菰田地区	56	5.4	1.8	26.8	58.9	7.1
	二瀬地区	297	12.5	1.7	23.9	58.6	3.4
	幸袋地区	172	14.5	0.0	26.7	57.0	1.7
	鎮西地区	177	13.6	2.3	26.6	53.7	4.0
	穂波東地区	166	10.2	1.8	26.5	59.0	2.4
	穂波西地区	257	10.9	2.3	24.9	58.8	3.1
	筑穂地区	198	8.1	1.5	29.3	59.6	1.5
	庄内地区	182	7.7	1.6	30.8	58.2	1.6
	颯田地区	100	7.0	1.0	29.0	58.0	5.0

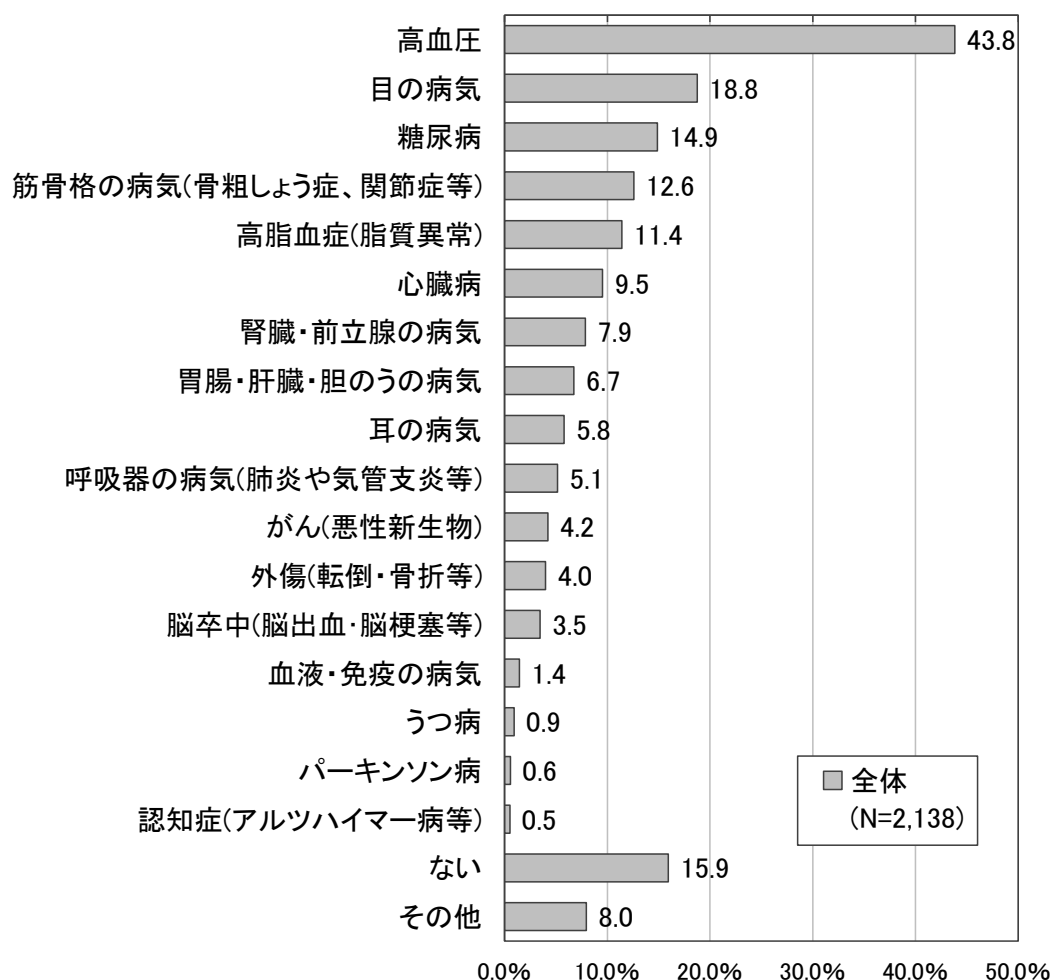
第2章 調査結果

(5) 疾病の状況

問番号		内容
問7	(7)	現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか（いくつでも）

■現在治療中、または後遺症のある病気では「高血圧」(43.8%)の割合が最も高く、次いで「目の病気」(18.8%)、「糖尿病」(14.9%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(12.6%)、「高脂血症(脂質異常)」(11.4%)、「心臓病」(9.5%)が続いている。

〔現在治療中、または後遺症のある病気（複数回答）〕



〔性・年齢別、居住地区別 治療中・後遺症のある病気（主要7疾病）（％）〕

		調査数	高血圧	糖尿病	症（筋骨格の病気、関節症等）	心臓病	物がん（悪性新生）	血脳卒中（脳梗塞等）	ハ認イ知マ（アルツ）
全体		2,138	43.8	14.9	12.6	9.5	4.2	3.5	0.5
性・年齢別	【男性 計】	920	47.1	19.2	4.9	12.7	4.1	5.3	0.7
	65～74歳	548	44.9	19.9	4.9	11.7	4.2	4.6	0.5
	75～84歳	275	48.7	20.4	3.6	13.1	5.1	5.8	1.1
	85～94歳	92	54.3	13.0	7.6	18.5	1.1	8.7	0.0
	95歳以上	5	60.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	【女性 計】	1,218	41.4	11.6	18.4	7.1	4.3	2.1	0.4
	65～74歳	609	34.2	9.9	12.3	3.9	3.8	1.3	0.2
	75～84歳	454	49.3	14.8	22.7	9.3	4.6	2.4	0.4
	85～94歳	146	45.9	8.9	28.8	13.7	5.5	3.4	1.4
	95歳以上	9	55.6	11.1	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0
居住地区	飯塚地区	254	40.9	7.9	11.8	7.1	2.4	3.1	0.4
	飯塚東地区	139	46.8	11.5	10.1	13.7	5.0	2.2	0.0
	鯉田地区	140	55.0	18.6	13.6	8.6	4.3	2.1	0.0
	菰田地区	56	41.1	14.3	14.3	7.1	10.7	8.9	0.0
	二瀬地区	297	38.0	12.5	12.1	6.7	5.1	5.1	0.0
	幸袋地区	172	52.3	19.8	8.7	10.5	3.5	2.9	0.0
	鎮西地区	177	35.6	17.5	10.7	9.6	4.0	2.3	1.7
	穂波東地区	166	44.0	15.7	12.0	7.2	3.0	1.8	1.2
	穂波西地区	257	42.0	16.3	15.6	14.8	5.1	3.9	1.2
	筑穂地区	198	44.4	17.7	13.1	9.1	3.5	2.0	1.0
	庄内地区	182	47.8	13.2	14.3	7.1	4.4	3.8	0.0
	穎田地区	100	46.0	19.0	16.0	15.0	4.0	7.0	0.0

■治療中・後遺症のある病気のうち、主なものについて、性・年齢別及び居住地区別に該当者の割合（有病率）をみる。

- ・「高血圧」の有病率は、女性全体（41.4％）より男性全体（47.1％）で高い。年齢別にみると、男女とも年齢とともに高くなる傾向にある。居住地区別にみると、鯉田地区（55.0％）が他の地区より高くなっている。
- ・「糖尿病」の有病率は、女性全体（11.6％）より男性全体（19.2％）で高い。居住地区別にみると、幸袋地区（19.8％）や穎田地区（19.0％）が他の地区よりやや高くなっている。
- ・「筋骨格の病気」の有病率は、男性全体（4.9％）よりも女性全体（18.4％）で高い。また、各年齢層別にみても男性を大きく上回り、女性の有病率は85～94歳で3割弱となり、95歳以上になると4割を超えている。
- ・「心臓病」の有病率は、女性全体（7.1％）より男性全体（12.7％）で高い。居住地区別にみると、穎田地区（15.0％）や穂波西地区（14.8％）が他の地区よりやや高くなっている。
- ・「がん」の有病率は、性・年齢別および居住地区別でほとんど差はなく1割未満となっているが、菰田地区で1割を超えている。
- ・「脳卒中」の有病率は、女性全体（2.1％）より男性全体（5.3％）でやや高くなっている。居住地区別にみると、菰田地区（8.9％）が他の地区よりやや高くなっている。
- ・「認知症」の有病率は、割合が低いいため特に傾向はみられない。

7 認知症にかかる相談窓口について

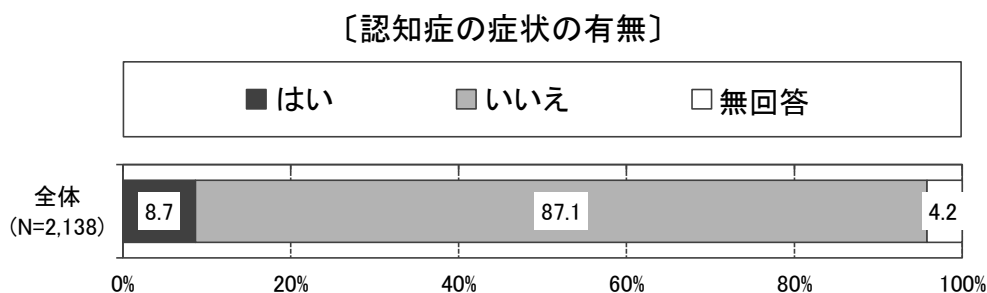
ここでは、認知症にかかる相談窓口の認知状況について把握する。

(1) 認知症について

① 認知症の症状の有無

問番号	内容
問8	(1) 認知症の症状がある、または、家族に認知症の症状がある人がいますか

- 認知症の症状の有無について、「はい」の割合は全体で8.7%となっている。
- 性・年齢別にみると、「はい」の割合は、男性の85～94歳（14.1%）、女性の65～74歳、95歳以上で1割を超えている。
- 居住地区別にみると、「はい」の割合は、菰田地区（14.3%）や筑穂地区（11.6%）、幸袋地区（11.0%）で高くなっている。



〔性・年齢別、居住地区別 認知症の症状の有無 (%)〕

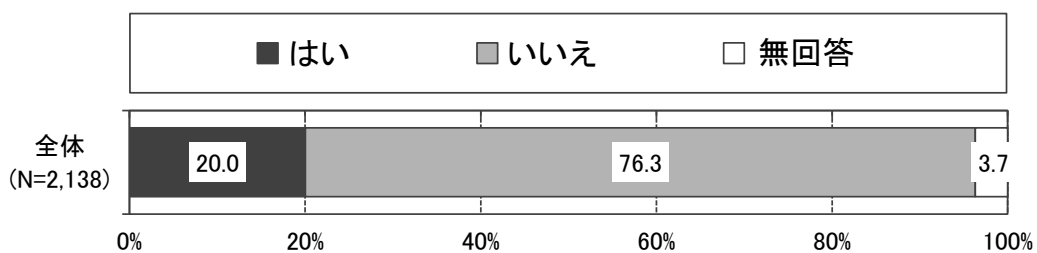
		調査数	はい	いいえ	無回答
性・年齢別	全体	2,138	8.7	87.1	4.2
	【男性 計】	920	8.6	87.8	3.6
	65～74歳	548	8.4	88.1	3.5
	75～84歳	275	7.3	90.2	2.5
	85～94歳	92	14.1	78.3	7.6
	95歳以上	5	0.0	100.0	0.0
	【女性 計】	1,218	8.7	86.6	4.7
	65～74歳	609	10.2	88.0	1.8
	75～84歳	454	7.0	87.0	5.9
	85～94歳	146	7.5	80.1	12.3
	95歳以上	9	11.1	77.8	11.1
居住地区	飯塚地区	254	9.1	86.2	4.7
	飯塚東地区	139	4.3	95.0	0.7
	鯉田地区	140	7.1	88.6	4.3
	菰田地区	56	14.3	75.0	10.7
	二瀬地区	297	8.8	86.5	4.7
	幸袋地区	172	11.0	84.3	4.7
	鎮西地区	177	7.9	87.0	5.1
	穂波東地区	166	7.8	87.3	4.8
	穂波西地区	257	8.6	86.4	5.1
	筑穂地区	198	11.6	85.9	2.5
	庄内地区	182	8.8	88.5	2.7
	額田地区	100	5.0	92.0	3.0

② 認知症に関する相談窓口

問番号		内容
問8	(2)	認知症に関する相談窓口を知っていますか

- 認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい（知っている）」の割合は全体で20.0%となっている。
- 性・年齢別にみると、「はい（知っている）」の割合は、男性は年齢とともに高くなる傾向にあり、女性は低くなっている。
- 居住地区別でみると、「はい（知っている）」の割合は、筑穂地区（26.8%）で最も高く、二瀬地区（13.1%）で最も低くなっている。

〔認知症に関する相談窓口を知っているか〕



〔性・年齢別、居住地区別 認知症に関する相談窓口を知っているか (%)〕

		調査数	はい	いいえ	無回答
全体		2,138	20.0	76.3	3.7
性・年齢別	【男性 計】	920	18.0	79.0	2.9
	65～74歳	548	18.1	78.8	3.1
	75～84歳	275	16.4	82.2	1.5
	85～94歳	92	20.7	72.8	6.5
	95歳以上	5	60.0	40.0	0.0
	【女性 計】	1,218	21.5	74.2	4.3
	65～74歳	609	24.5	73.6	2.0
	75～84歳	454	20.9	73.8	5.3
	85～94歳	146	11.6	78.1	10.3
	95歳以上	9	11.1	77.8	11.1
居住地区	飯塚地区	254	20.9	74.8	4.3
	飯塚東地区	139	23.0	75.5	1.4
	鯉田地区	140	23.6	73.6	2.9
	菰田地区	56	19.6	73.2	7.1
	二瀬地区	297	13.1	82.5	4.4
	幸袋地区	172	26.2	72.1	1.7
	鎮西地区	177	14.7	80.2	5.1
	穂波東地区	166	15.7	80.1	4.2
	穂波西地区	257	18.3	77.8	3.9
	筑穂地区	198	26.8	69.7	3.5
	庄内地区	182	22.0	75.3	2.7
	瀬田地区	100	23.0	73.0	4.0

第2章 調査結果

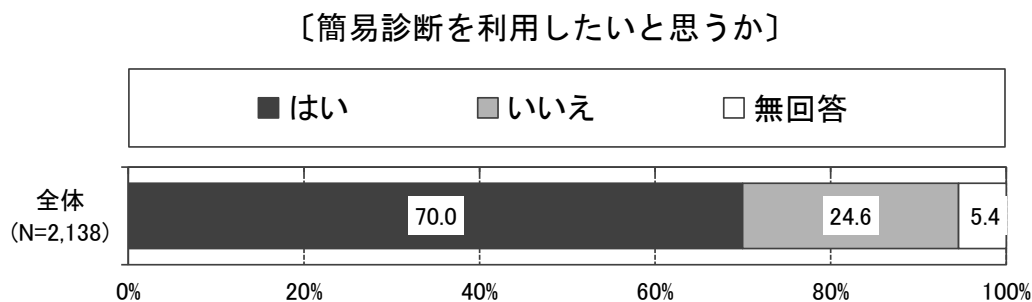
③ 認知症の簡易診断

問番号		内容
問8	(3)	相談窓口で認知症の簡易診断ができるようになったら利用したいと思いますか

■相談窓口で認知症の簡易診断を利用したいと思うかについて、「はい（利用したい）」の割合は全体で70.0%となっている。

■性・年齢別にみると、「はい（利用したい）」の割合は、男女ともに95歳以上で高くなっている。

■居住地区別にみると、「はい（利用したい）」の割合は、菰田地区（75.0%）で最も高くなっている。



〔性・年齢別、居住地区別 簡易診断を利用したいと思うか (%)〕

		調査数	はい	いいえ	無回答
全体		2,138	70.0	24.6	5.4
性・年齢別	【男性 計】	920	69.1	27.2	3.7
	65～74歳	548	67.7	28.8	3.5
	75～84歳	275	72.0	25.1	2.9
	85～94歳	92	68.5	23.9	7.6
	95歳以上	5	80.0	20.0	0.0
	【女性 計】	1,218	70.6	22.7	6.7
	65～74歳	609	73.9	22.3	3.8
	75～84歳	454	69.4	23.1	7.5
	85～94歳	146	60.3	23.3	16.4
	95歳以上	9	77.8	11.1	11.1
居住地区	飯塚地区	254	67.3	27.2	5.5
	飯塚東地区	139	71.9	24.5	3.6
	鯉田地区	140	67.9	28.6	3.6
	菰田地区	56	75.0	14.3	10.7
	二瀬地区	297	68.7	24.2	7.1
	幸袋地区	172	72.1	25.6	2.3
	鎮西地区	177	65.0	27.7	7.3
	穂波東地区	166	69.3	25.9	4.8
	穂波西地区	257	72.4	21.8	5.8
	筑穂地区	198	73.7	20.7	5.6
	庄内地区	182	71.4	24.7	3.8
	瀬田地区	100	68.0	25.0	7.0

8 終末期について

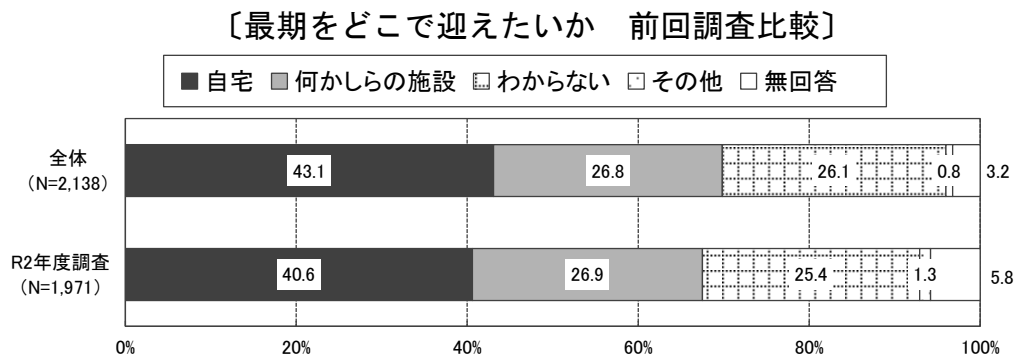
ここでは、終末期の過ごし方の意向を把握する。

(1) 終末期について

① 最期をどこで迎えたいか

問番号	内容
問9	(1) あなたは、人生の最期を迎えるとしたら、どこを希望していますか 事情は考慮せず、純粋にあなたが望む場所をご回答ください

- 最期をどこで迎えたいかは「自宅」(43.1%)の割合が最も高く、次いで「何かしらの施設」(26.8%)となっている。
- 前回調査と比較すると、「自宅」の割合が2.5ポイント高くなっている。
- 世帯構成別にみると、1人暮らしでは「自宅」(32.2%)よりも「何かしらの施設」(36.0%)の割合が高い。
- 介護状況別にみると、介護が必要な人ほど「何かしらの施設」の割合が高くなっている。



〔世帯構成別、介護状況別 最期をどこで迎えたいか (%)〕

	調査数	自宅	何かしらの施設	わからない	その他	無回答
全体	2,138	43.1	26.8	26.1	0.8	3.2
全体※R2年度調査	1,971	40.6	26.9	25.4	1.3	5.8
世帯構成別						
1人暮らし	559	32.2	36.0	27.0	1.3	3.6
夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	786	46.9	25.3	25.4	0.5	1.8
夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	89	51.7	21.3	20.2	0.0	6.7
息子・娘との2世帯	302	50.7	22.8	23.2	0.7	2.6
その他	310	41.9	20.6	32.3	1.0	4.2
無回答	92	46.7	21.7	21.7	1.1	8.7
介護状況						
必要なし	1,703	43.8	26.1	27.0	0.7	2.4
必要だが、受けていない	199	44.7	28.1	23.1	0.5	3.5
受けている	143	36.4	36.4	19.6	2.8	4.9
無回答	93	36.6	20.4	28.0	0.0	15.1

第2章 調査結果

② どのような施設で最期をどこで迎えたいか

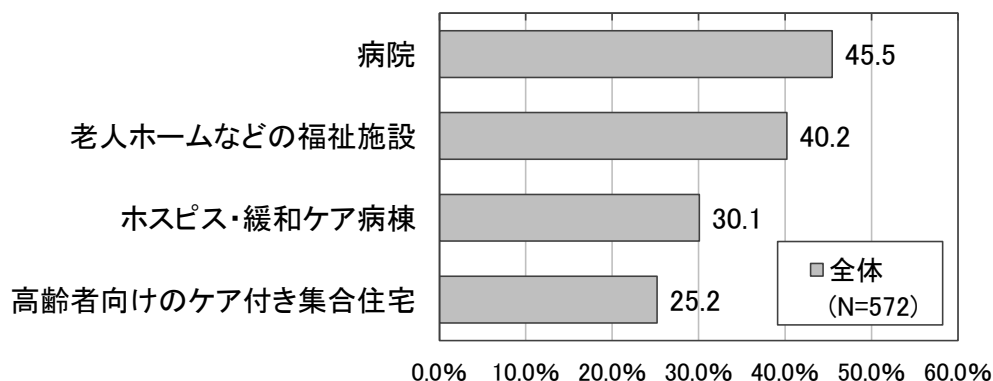
問番号		内容
問9	(1) ①	【(1)で「2. 何かしらの施設」と回答した方のみ】 どのような施設ですか

■何かしらの施設で最期を迎えたい回答者が、どのような施設で最期を迎えたいかについては、「病院」(45.5%)が最も高く、次いで「老人ホームなどの福祉施設」(40.2%)となっている。

■世帯構成別にみると、どの世帯も4割以上が「病院」と回答している。

■介護状況別にみると、必要なし(介護・介助は必要ない人)では「病院」(46.1%)と回答した割合が最も高い。受けている(現在、何らかの介護を受けている人)では、「病院」「老人ホームなどの福祉施設」(46.2%)が最も高い。

〔どのような施設で最期をどこで迎えたいか〕



〔世帯構成別、介護状況別 どのような施設で最期をどこで迎えたいか (%)〕

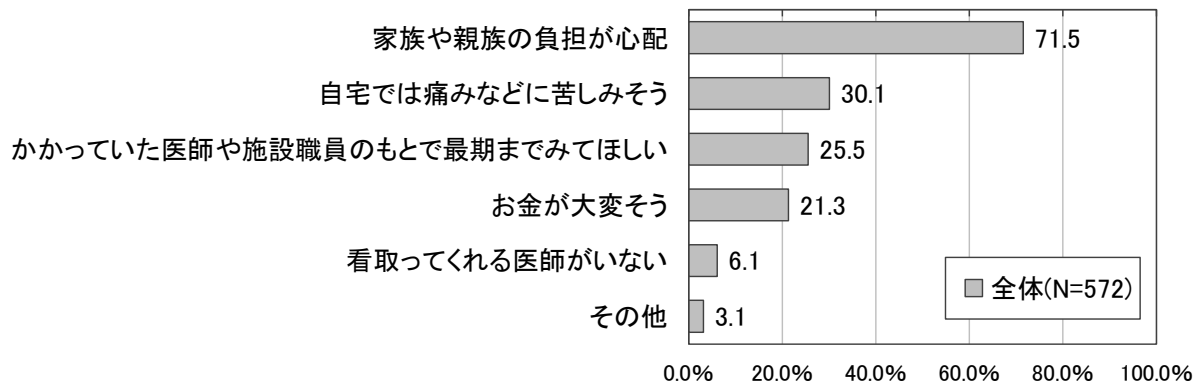
		調査数	病院	ホスピス・緩和ケア病棟	老人ホームなどの福祉施設	高齢者向けのケア付き集合住宅
全体		572	45.5	30.1	40.2	25.2
世帯構成別	1人暮らし	201	42.8	24.9	42.3	33.8
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	199	49.7	35.7	39.2	20.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	19	47.4	26.3	21.1	26.3
	息子・娘との2世帯	69	49.3	27.5	42.0	20.3
	その他	64	45.3	31.3	42.2	17.2
	無回答	20	15.0	35.0	35.0	25.0
介護状況	必要なし	445	46.1	32.4	41.3	26.3
	必要だが、受けていない	56	50.0	26.8	28.6	21.4
	受けている	52	46.2	17.3	46.2	17.3
	無回答	19	15.8	21.1	31.6	31.6

③ 施設を選択した理由

問番号		内容
問9	(1) ②	【(1)で「2. 何かしらの施設」と回答した方のみ】 施設を選択した理由は、何ですか

- 何かしらの施設で最期を迎えたい回答者が、施設を選択した理由は「家族や親族の負担が心配」(71.5%)が最も高く、次いで「自宅では痛みなどに苦しみそう」(30.1%)と続く。
- 世帯構成別にみると、どの世帯も「家族や親族の負担が心配」が最も高くなっている。
- 介護状況別にみると、介護が必要な人ほど「かかっていた医師や施設職員のもとで最期までみてほしい」の割合が高くなっている。

〔施設を選択した理由（複数回答）〕



〔世帯構成別、介護状況別 施設を選択した理由 (%)〕

		調査数	家族や親族の負担が心配	看取ってくれる医師がい	お金が大変そう	自宅では痛みなどに苦しみそう	施設職員のほとで最期までみてほしい	かかっていた医師や	その他
全体		572	71.5	6.1	21.3	30.1	25.5	3.1	
世帯構成別	1人暮らし	201	58.2	8.0	27.4	29.9	31.8	4.0	
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	199	81.4	6.0	17.1	30.7	22.1	4.0	
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	19	78.9	0.0	15.8	10.5	0.0	0.0	
	息子・娘との2世帯	69	72.5	0.0	18.8	33.3	27.5	1.4	
	その他	64	75.0	6.3	20.3	35.9	25.0	1.6	
	無回答	20	85.0	15.0	20.0	15.0	15.0	0.0	
介護状況	必要なし	445	74.4	6.5	20.0	28.5	23.4	3.1	
	必要だが、受けていない	56	60.7	7.1	35.7	46.4	30.4	5.4	
	受けている	52	59.6	1.9	15.4	32.7	38.5	1.9	
	無回答	19	68.4	5.3	26.3	10.5	26.3	0.0	

第2章 調査結果

④ 希望する場所で最期を迎えることが可能か

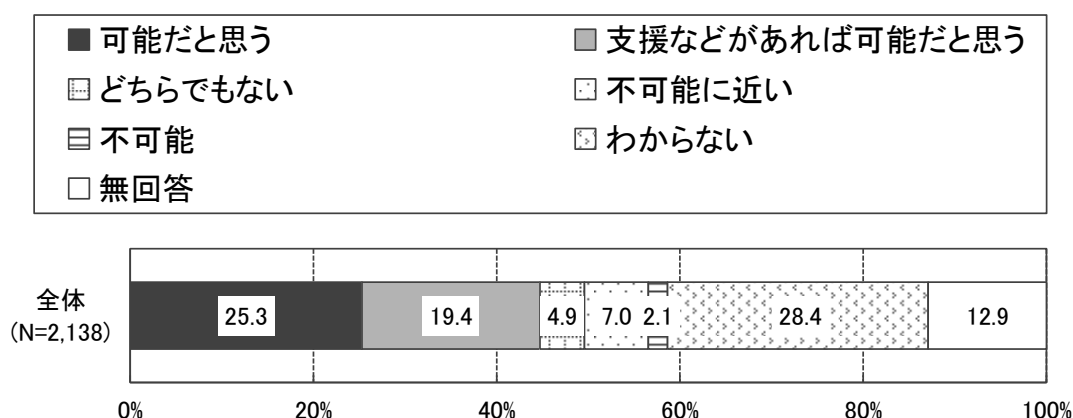
問番号	内容
問9	(2) あなたは、希望する場所で人生の最期を迎えることが可能な状況にありますか

■希望する場所で最期を迎えることが可能かについて、「わからない」(28.4%)の割合が最も高く、次いで「可能だと思う」(25.3%)、「支援などがあれば可能だと思う」(19.4%)となっている。

■世帯構成別にみると、息子・娘との2世帯、その他は「可能だと思う」が最も高い。

■介護状況別にみると、介護が必要な人ほど「不可能に近い」の割合が高くなっている。

〔希望する場所で最期を迎えることが可能か〕



〔世帯構成別、介護状況別 希望する場所で最期を迎えることが可能か (%)〕

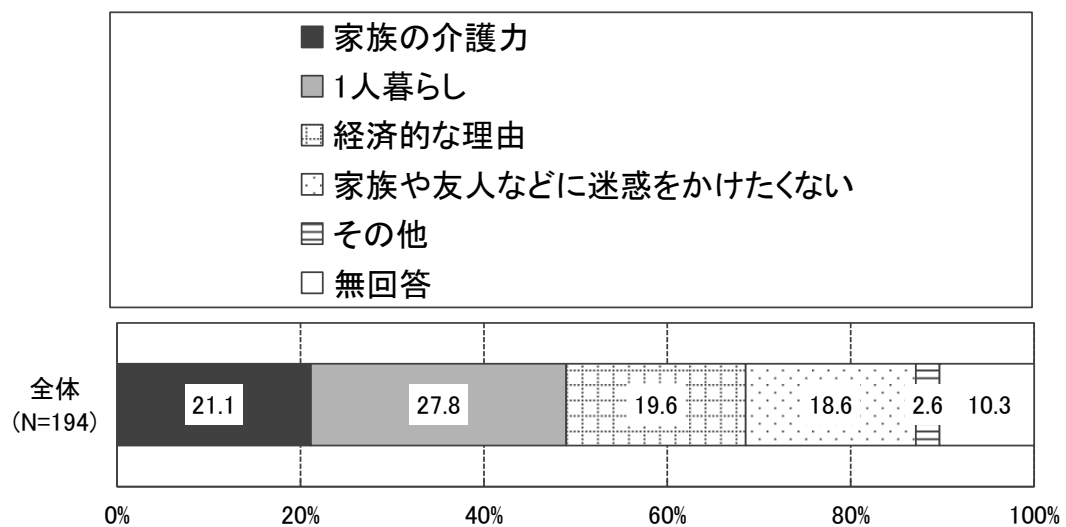
		調査数	可能だと思う	支援などがあれば可能だと思う	どちらでもない	不可能に近い	不可能	わからない	無回答
全体		2,138	25.3	19.4	4.9	7.0	2.1	28.4	12.9
世帯構成別	1人暮らし	559	18.4	18.1	4.3	11.8	3.6	28.6	15.2
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	786	26.2	22.0	6.5	4.8	1.3	26.8	12.3
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	89	25.8	19.1	5.6	3.4	2.2	34.8	9.0
	息子・娘との2世帯	302	30.8	18.2	3.6	6.0	2.3	28.5	10.6
	その他	310	30.3	17.4	4.2	6.5	1.6	29.7	10.3
	無回答	92	23.9	16.3	0.0	4.3	1.1	30.4	23.9
介護状況	必要なし	1,703	26.1	20.3	5.0	6.5	1.9	29.2	11.0
	必要だが、受けていない	199	22.6	17.1	5.5	9.0	3.0	26.6	16.1
	受けている	143	22.4	13.3	4.2	10.5	2.1	28.0	19.6
	無回答	93	20.4	18.3	1.1	6.5	3.2	19.4	31.2

⑤ 不可能だと思う要因

問番号		内容
問9	(2) ①	【(2)において「4. 不可能に近い」「5. 不可能」の方のみ】 あなたが最も不可能だと思う要因は、何ですか

- 希望する場所で最期を迎えることが不可能だと思う要因は、「1人暮らし」(27.8%)が最も高く、次いで「家族の介護力」(21.1%)となっている。
- 世帯構成別にみると、1人暮らしは「1人暮らし」(61.6%)、息子・娘との2世帯、夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)は「家族の介護力」が最も高い。
- 介護状況別にみると、受けている(現在、何らかの介護を受けている人)は「家族や友人などに迷惑をかけたくない」(33.3%)が最も高い。

〔不可能だと思う要因〕



〔世帯構成別、介護状況別 不可能だと思う要因 (%)〕

		調査数	家族の介護力	1人暮らし	経済的な理由	家族や友人などに迷惑をかけたくない	その他	無回答
全体		194	21.1	27.8	19.6	18.6	2.6	10.3
世帯構成別	1人暮らし	86	1.2	61.6	14.0	9.3	3.5	10.5
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	48	41.7	0.0	20.8	31.3	2.1	4.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	5	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	20.0
	息子・娘との2世帯	25	52.0	0.0	28.0	12.0	0.0	8.0
	その他	25	24.0	4.0	20.0	24.0	4.0	24.0
	無回答	5	20.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0
介護状況	必要なし	143	21.0	29.4	20.3	14.0	2.1	13.3
	必要だが、受けていない	24	20.8	33.3	16.7	29.2	0.0	0.0
	受けている	18	27.8	16.7	5.6	33.3	11.1	5.6
	無回答	9	11.1	11.1	44.4	33.3	0.0	0.0

9 今後の介護希望について

ここでは、今後の介護希望について把握する。

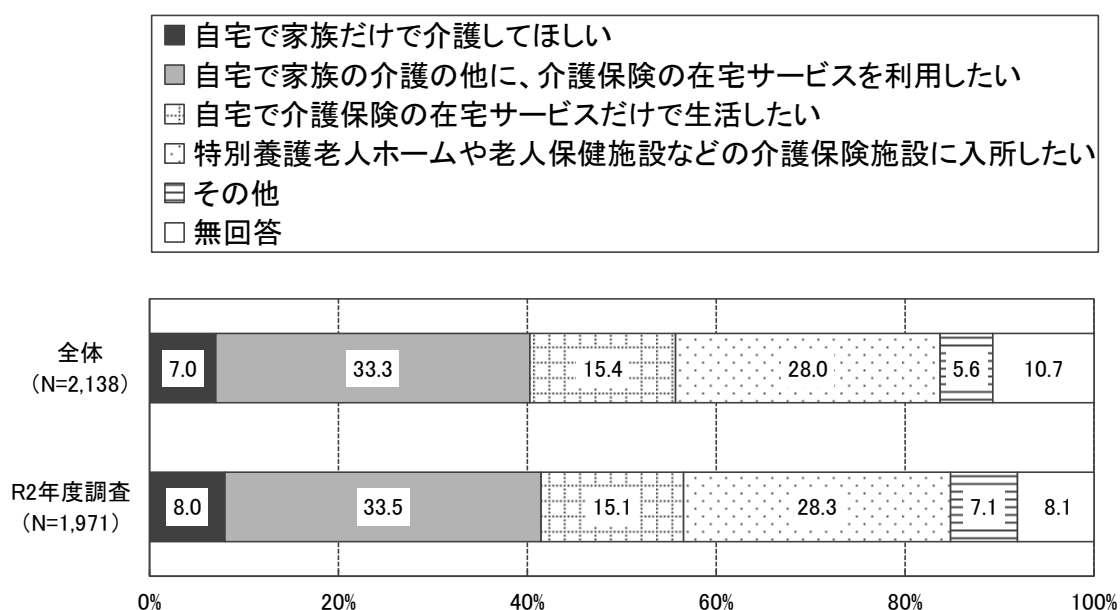
(1) 今後の介護希望について

① 今後の介護希望について

問番号	内容
問10	(1) あなたは、今後、どのように介護してほしいと思いますか

- 今後の介護希望については、「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい」(33.3%)の割合が最も高く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい」(28.0%)となっている。
- 前回調査と比較すると、「自宅で家族だけで介護してほしい」の割合が1ポイント減少している。
- 世帯構成別にみると、1人暮らしでは「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい」(36.0%)が最も高く、その他全ての世帯では「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい」が最も高くなっている。
- 居住地区別にみると、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい」は筑穂地区(31.8%)で最も高く、「自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい」は幸袋地区(20.3%)で最も高くなっている。

〔今後の介護希望について 前回調査比較〕



〔世帯構成別、居住地区別 今後の介護希望について (%)〕

		調査数	ほ し い 自 宅 で 家 族 だ け で 介 護 し て	利 用 し た い 自 宅 で 家 族 の 在 宅 サ ー ビ ス を	自 宅 で 介 護 保 険 の 在 宅 サ ー ビ ス だ け で 生 活 し た い	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム や 老 人 保 健 施 設 な ど の 介 護 保 険 施 に 入 所 し た い	そ の 他	無 回 答
全体		2,138	7.0	33.3	15.4	28.0	5.6	10.7
全体※R2年度調査		1,971	8.0	33.5	15.1	28.3	7.1	8.1
世帯構成別	1人暮らし	559	3.0	14.3	27.7	36.0	5.5	13.4
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	786	8.9	41.1	10.8	26.0	4.1	9.2
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	89	6.7	42.7	11.2	24.7	5.6	9.0
	息子・娘との2世帯	302	9.3	39.1	11.6	23.8	7.6	8.6
	その他	310	7.4	38.1	11.9	24.5	8.1	10.0
	無回答	92	6.5	37.0	8.7	26.1	3.3	18.5
居住地区	飯塚地区	254	6.7	29.5	18.1	29.9	6.3	9.4
	飯塚東地区	139	5.0	35.3	15.8	27.3	5.8	10.8
	鯉田地区	140	5.0	40.0	13.6	27.1	2.1	12.1
	菰田地区	56	3.6	35.7	19.6	23.2	7.1	10.7
	二瀬地区	297	7.4	34.0	14.8	30.3	5.1	8.4
	幸袋地区	172	7.0	30.2	20.3	27.9	5.8	8.7
	鎮西地区	177	6.8	38.4	15.3	19.2	5.1	15.3
	穂波東地区	166	7.2	29.5	16.3	28.9	8.4	9.6
	穂波西地区	257	6.2	33.9	14.0	27.6	6.2	12.1
	筑穂地区	198	7.1	36.4	9.6	31.8	3.0	12.1
	庄内地区	182	10.4	29.1	14.3	28.6	7.1	10.4
	穎田地区	100	10.0	29.0	18.0	28.0	5.0	10.0

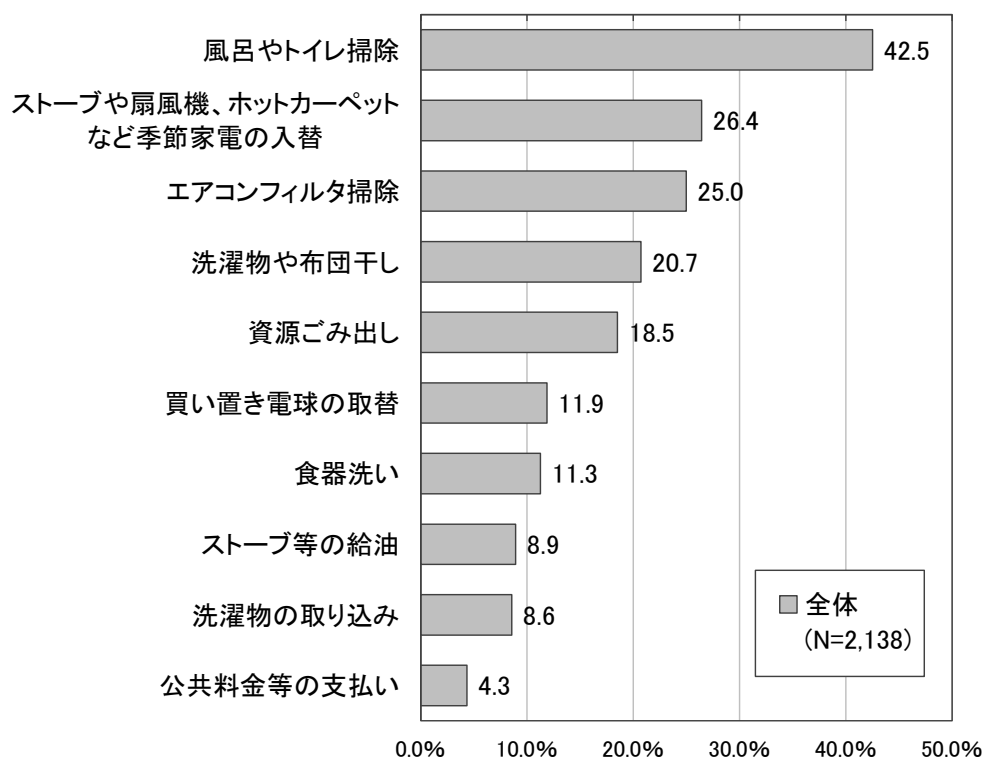
第2章 調査結果

② 介護保険対象外で利用したいサービス

問番号		内容
問10	(2)	介護保険対象外で日常生活のお手伝いをするサービス（30分以内、利用負担額500円程度）が利用できるとしたら、利用したいものは、何ですか

- 介護保険対象外で利用したいサービスについて、「風呂やトイレ掃除」（42.5%）の割合が最も高く、次いで「ストーブや扇風機、ホットカーペットなど季節家電の入替」（26.4%）、「エアコンフィルタ掃除」（25.0%）となっている。
- 性別、世帯構成別、居住地区別にみると、全てで「風呂やトイレ掃除」が最も高くなっている。

〔介護保険対象外で利用したいサービス〕



〔性・年齢別、世帯構成別、居住地区別 介護保険対象外で利用したいサービス（％）〕

		調査数	食器洗い	風呂やトイレ掃除	洗濯物の取り込み	洗濯物や布団干し	資源ごみ出し	ストーブ等の給油	エアコンフィルタ掃除	買い置き電球の取替	公共料金等の支払い	ストーブや扇風機、ホッパ、カーペットなど季節家電の入替	無回答
全体		2,138	11.3	42.5	8.6	20.7	18.5	8.9	25.0	11.9	4.3	26.4	30.4
性・年齢別	【男性 計】	920	15.0	44.7	10.3	23.4	15.5	8.8	19.1	9.0	5.7	22.0	32.2
	65～74歳	548	16.6	48.5	11.5	24.1	15.1	9.1	19.0	8.2	5.7	22.3	28.6
	75～84歳	275	13.5	38.2	8.0	20.7	17.8	9.1	20.0	9.8	5.5	23.6	37.1
	85～94歳	92	9.8	40.2	9.8	27.2	10.9	4.3	16.3	9.8	6.5	14.1	38.0
	95歳以上	5	20.0	60.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0	40.0	0.0	40.0	40.0
	【女性 計】	1,218	8.5	40.9	7.2	18.7	20.8	9.0	29.4	14.0	3.4	29.8	29.1
	65～74歳	609	10.5	42.5	7.9	17.9	24.0	8.4	30.9	15.9	3.4	31.4	23.3
	75～84歳	454	6.4	42.3	5.9	18.5	17.4	9.7	27.5	13.2	2.9	28.2	32.6
	85～94歳	146	4.8	29.5	8.2	23.3	17.8	9.6	30.8	8.9	4.8	29.5	41.8
	95歳以上	9	33.3	44.4	11.1	11.1	22.2	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	33.3
世帯構成別	1人暮らし	559	7.7	38.1	5.0	18.6	15.7	7.3	26.3	15.2	4.1	26.5	32.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	786	12.7	45.2	8.5	21.4	20.4	11.5	25.4	12.3	5.0	30.5	27.7
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	89	18.0	55.1	15.7	25.8	19.1	13.5	20.2	12.4	4.5	29.2	22.5
	息子・娘との2世帯	302	9.9	38.7	10.6	20.9	16.2	5.3	25.8	9.3	3.0	20.5	35.8
	その他	310	12.3	44.2	9.0	20.3	21.3	9.4	23.9	9.0	4.8	22.6	29.0
	無回答	92	15.2	41.3	15.2	23.9	17.4	3.3	18.5	5.4	3.3	20.7	33.7
居住地区	飯塚地区	254	10.6	46.1	9.1	16.9	20.9	8.3	29.5	13.4	6.7	28.0	29.9
	飯塚東地区	139	10.1	38.8	5.8	19.4	24.5	8.6	21.6	8.6	2.9	21.6	33.8
	鯉田地区	140	15.7	51.4	10.7	25.0	22.1	9.3	30.0	17.1	5.0	32.1	21.4
	菰田地区	56	10.7	33.9	5.4	14.3	12.5	5.4	17.9	8.9	7.1	12.5	32.1
	二瀬地区	297	9.1	39.4	4.0	16.5	16.8	9.1	25.3	13.5	3.0	27.6	30.0
	幸袋地区	172	11.0	41.3	12.2	25.6	22.1	9.3	27.9	11.6	5.2	27.9	28.5
	鎮西地区	177	15.8	40.7	10.7	20.9	23.7	6.2	29.4	10.7	2.8	23.7	29.9
	穂波東地区	166	14.5	38.6	11.4	25.3	16.3	11.4	32.5	12.7	5.4	27.1	28.9
	穂波西地区	257	12.8	44.0	8.6	21.0	14.4	8.6	23.0	13.2	5.4	26.1	29.6
	筑穂地区	198	7.6	42.9	9.6	22.2	18.2	8.6	21.7	9.6	4.5	25.3	30.8
	庄内地区	182	9.9	45.6	8.2	19.8	14.8	8.8	15.9	8.8	2.7	25.8	38.5
	鯉田地区	100	8.0	42.0	7.0	24.0	14.0	14.0	17.0	10.0	1.0	31.0	33.0

10 飯塚市に対する満足度について

ここでは、飯塚市に対する満足度を把握する。

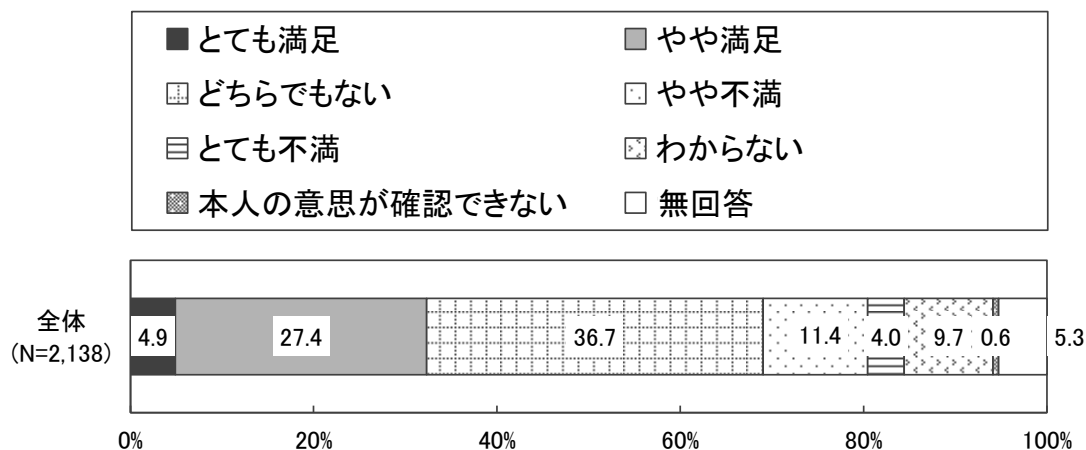
(1) 飯塚市の満足度について

① 飯塚市の満足度

問番号	内容
問11	(1) ご本人が暮らしている飯塚市に満足していますか

- 飯塚市の満足度については、「どちらでもない」(36.7%)の割合が最も高く、次いで「やや満足」(27.4%)となっている。この結果、「とても満足」と「やや満足」を合わせた『満足』が32.3%、「やや不満」と「とても不満」を合わせた『不満』が15.4%となっている。
- 性・年齢別にみると、性別による大きな差はみられないが、年齢とともに『満足』の割合が高くなる傾向にある。
- 居住地区別にみると、『満足』の割合は鯉田地区(45.7%)で最も高く、『不満』の割合は筑穂地区(24.8%)で最も高くなっている。

〔飯塚市の満足度〕



〔性・年齢別、居住地区別 飯塚市の満足度（％）〕

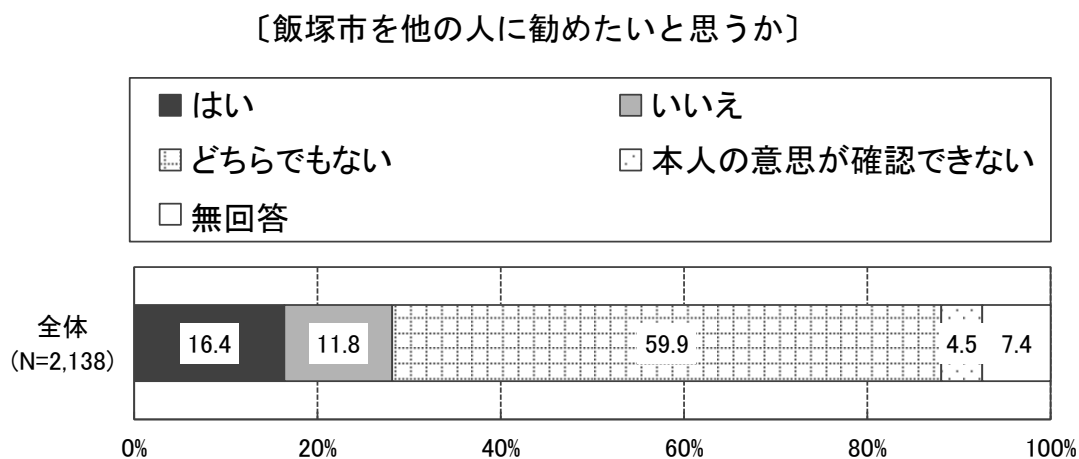
		調査数	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	わからない	本人の意思が確認できない	無回答
全体		2,138	4.9	27.4	36.7	11.4	4.0	9.7	0.6	5.3
性・年齢別	【男性 計】	920	4.3	27.0	38.6	12.1	4.1	8.6	0.8	4.6
	65～74歳	548	4.0	24.5	39.6	14.1	4.6	8.9	1.1	3.3
	75～84歳	275	4.4	26.2	40.7	10.2	3.3	8.7	0.4	6.2
	85～94歳	92	5.4	43.5	26.1	6.5	4.3	6.5	0.0	7.6
	95歳以上	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	【女性 計】	1,218	5.3	27.8	35.3	10.9	3.9	10.5	0.5	5.8
	65～74歳	609	4.8	24.0	41.2	11.7	4.4	9.9	0.7	3.4
	75～84歳	454	5.1	32.2	31.5	11.0	3.1	9.9	0.4	6.8
	85～94歳	146	8.2	28.8	23.3	8.2	4.1	14.4	0.0	13.0
	95歳以上	9	11.1	44.4	22.2	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0
居住地区	飯塚地区	254	6.7	35.0	32.7	5.1	3.9	9.4	0.4	6.7
	飯塚東地区	139	3.6	31.7	36.7	11.5	1.4	8.6	0.0	6.5
	鯉田地区	140	4.3	41.4	36.4	8.6	2.1	3.6	0.7	2.9
	菰田地区	56	14.3	28.6	25.0	8.9	3.6	8.9	1.8	8.9
	二瀬地区	297	5.7	25.9	41.4	9.1	2.4	10.8	0.0	4.7
	幸袋地区	172	5.2	32.0	29.7	15.7	3.5	9.3	1.2	3.5
	鎮西地区	177	2.8	31.1	32.2	14.7	1.7	9.6	2.3	5.6
	穂波東地区	166	4.8	22.9	38.6	10.8	7.2	10.8	0.0	4.8
	穂波西地区	257	3.9	23.0	40.9	10.1	5.1	12.1	0.0	5.1
	筑穂地区	198	2.5	16.7	39.9	19.2	5.6	11.1	0.5	4.5
	庄内地区	182	4.4	26.4	34.6	12.6	6.0	7.7	1.6	6.6
	瀬田地区	100	7.0	14.0	44.0	13.0	5.0	11.0	0.0	6.0

第2章 調査結果

② 飯塚市を他の人に勧めたいと思うか

問番号		内容
問11	(2)	ご本人が暮らしている飯塚市を他の人にも勧めたい市だと思いますか

- 飯塚市を他の人にも勧めたい市だと思うかについては、「どちらでもない」(59.9%)の割合が最も高く、次いで「はい」(16.4%)となっている。
- 性別にみると、男性全体、女性全体の「はい」の割合に大きな差はみられない。年齢別にみると、年齢とともに高くなる傾向にある。
- 居住地区別にみると、「はい」の割合は菰田地区(30.4%)で最も高く、穎田地区(11.0%)で最も低くなっている。



〔性・年齢別、居住地区別 飯塚市を他の人に勧めたいと思うか（％）〕

		調査数	はい	いいえ	どちらでもない	本人の意思が確認できない	無回答
全体		2,138	16.4	11.8	59.9	4.5	7.4
性・年齢別	【男性 計】	920	16.8	13.2	58.7	5.1	6.2
	65～74歳	548	16.1	14.2	61.9	4.2	3.6
	75～84歳	275	16.4	12.7	56.7	5.5	8.7
	85～94歳	92	20.7	8.7	46.7	9.8	14.1
	95歳以上	5	60.0	0.0	40.0	0.0	0.0
	【女性 計】	1,218	16.0	10.8	60.8	4.0	8.4
	65～74歳	609	15.3	12.0	66.0	1.6	5.1
	75～84歳	454	16.1	8.8	57.7	5.9	11.5
	85～94歳	146	19.9	11.6	47.9	7.5	13.0
	95歳以上	9	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0
居住地区	飯塚地区	254	20.5	9.8	55.5	4.3	9.8
	飯塚東地区	139	20.9	10.8	54.0	2.9	11.5
	鯉田地区	140	25.0	7.9	60.7	2.9	3.6
	菰田地区	56	30.4	8.9	46.4	5.4	8.9
	二瀬地区	297	12.5	10.4	65.7	4.0	7.4
	幸袋地区	172	15.7	12.8	61.0	5.8	4.7
	鎮西地区	177	16.9	8.5	63.3	4.0	7.3
	穂波東地区	166	15.7	15.7	57.2	4.2	7.2
	穂波西地区	257	15.2	11.3	63.8	3.9	5.8
	筑穂地区	198	12.6	19.2	57.1	4.5	6.6
	庄内地区	182	12.1	11.0	57.7	8.8	10.4
	鰐田地区	100	11.0	15.0	65.0	3.0	6.0

第2章 調査結果

(参考資料) 生活機能に係るリスク該当者の割合一覧

〔生活機能に係るリスク該当者の割合一覧 前回調査比較〕

(%)

		調査数 〔人〕											
			運動器機能	転倒	閉じこもり傾向	栄養	そしゃく咀嚼機能	嚥下機能	肺炎	口腔機能	認知機能	手段的自立度(IAD L)	うつ傾向
			(低下 3点以上)	(リスクあり 1点以上)	(該当 1点以上)	(低下 2点以上)	(低下 1点以上)	(低下 1点以上)	(リスクあり 1点以上)	(低下 2点以上)	(低下 1点以上)	(低下 4点以下)	(低下 2点以上)
全体		2,138	17.0	34.9	21.3	1.9	35.4	30.1	30.0	28.1	38.6	13.9	42.7
全体※R2年度調査		1,971	20.2	35.6	26.8	1.5	34.0	29.2	29.2	27.2	57.2	18.1	47.9
居住地区別	飯塚地区(R5年度)	254	16.9	31.9	18.9	1.6	26.4	29.1	26.4	23.2	33.9	12.2	38.6
	飯塚地区(R2年度)	232	19.4	31.5	25.4	2.2	27.6	29.7	28.4	25.0	58.6	16.8	51.3
	飯塚東地区(R5年度)	139	17.3	36.7	15.1	2.2	34.5	32.4	27.3	26.6	38.1	14.4	46.8
	飯塚東地区(R2年度)	142	21.8	36.6	31.0	1.4	35.2	24.6	31.7	25.4	58.5	16.9	45.1
	鯉田地区(R5年度)	140	12.9	35.7	19.3	3.6	38.6	24.3	31.4	28.6	30.7	10.0	40.0
	鯉田地区(R2年度)	122	16.4	28.7	22.1	0.8	31.1	27.0	24.6	25.4	50.0	13.9	42.6
	菰田地区(R5年度)	56	30.4	44.6	19.6	0.0	41.1	28.6	23.2	26.8	35.7	19.6	41.1
	菰田地区(R2年度)	62	22.6	46.8	27.4	1.6	40.3	24.2	40.3	35.5	59.7	24.2	58.1
	二瀬地区(R5年度)	297	16.8	32.3	19.9	1.7	36.0	32.0	30.3	26.6	42.4	16.8	42.1
	二瀬地区(R2年度)	261	18.8	34.9	30.7	1.9	33.3	28.7	27.2	26.1	55.9	16.5	53.3
	幸袋地区(R5年度)	172	21.5	34.9	23.3	0.6	34.3	28.5	30.2	27.3	36.6	14.0	43.0
	幸袋地区(R2年度)	163	23.9	38.0	23.3	0.6	31.3	30.1	25.2	27.6	57.7	23.3	50.9
	鎮西地区(R5年度)	177	18.1	34.5	20.3	1.7	32.8	35.0	32.8	30.5	39.0	10.7	46.3
	鎮西地区(R2年度)	145	20.0	38.6	26.9	2.1	29.0	35.9	33.1	31.7	57.2	15.2	45.5
	穂波東地区(R5年度)	166	14.5	38.0	22.9	4.2	40.4	31.3	34.9	33.7	41.6	16.9	53.0
	穂波東地区(R2年度)	147	23.1	32.0	23.8	0.7	38.1	25.2	29.9	27.2	53.1	20.4	46.3
	穂波西地区(R5年度)	257	13.6	33.9	20.6	0.8	43.6	29.2	30.7	32.3	36.6	11.3	42.8
	穂波西地区(R2年度)	223	22.4	37.7	28.3	2.2	39.0	27.8	26.0	26.0	59.2	17.0	49.3
	筑穂地区(R5年度)	198	18.2	34.3	21.7	2.0	31.3	33.3	31.8	26.8	45.5	14.6	39.4
	筑穂地区(R2年度)	177	20.9	38.4	23.2	1.1	36.2	25.4	26.6	23.7	55.9	22.0	40.1
	庄内地区(R5年度)	182	15.4	36.8	25.3	1.1	33.5	26.4	25.8	24.2	35.7	14.3	43.4
	庄内地区(R2年度)	154	18.2	37.0	30.5	0.6	35.1	36.4	31.2	32.5	62.3	22.1	46.1
	潁田地区(R5年度)	100	20.0	37.0	33.0	4.0	39.0	28.0	33.0	33.0	47.0	16.0	35.0
	潁田地区(R2年度)	97	20.6	38.1	28.9	3.1	43.3	38.1	43.3	36.1	59.8	15.5	46.4

全体に比べて、リスク該当者・低下者の割合が高い（+3ポイント以上）
 全体に比べて、リスク該当者・低下者の割合が低い（-3ポイント以上）

第3章 調査結果からみえる課題

1. あなたとご家族の生活について

- 家族構成は、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が36.8%と最も高く、「1人暮らし」（26.1%）を合わせると、“高齢者のみの世帯”が62.9%となっている。また、居住形態として「持家（一戸建て）」が75.0%と高くなっている。
- 介護・介助が必要になった主な原因として、「高齢による衰弱」が16.7%と最も高く、「骨折・転倒」（13.7%）、「糖尿病」（11.1%）と続く。
- 今後、介護が必要になった場合の介護希望として、「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい」が33.3%と最も高い。また、最後をどこで迎えたいかについても「自宅」が43.1%と最も高い。
- 在宅生活に必要な支援は、「急病など緊急時の手助け」が33.5%と最も高く、「災害時の手助け」（31.2%）、「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」（22.1%）、「外出の際の移動手段」（21.3%）と続く。
- 介護保険対象外で利用したいサービス（30分以内、利用負担額500円程度）は、「風呂やトイレ掃除」が42.5%と最も高く、「ストーブや扇風機、ホットカーペットなど季節家電の入れ替え」（26.4%）、「エアコンフィルタ掃除」（25.0%）と続く。



- ◆ 市民が健康な生活を維持するために、フレイル予防や生活習慣病等への対策が重要となる。
- ◆ また、在宅生活を続けていくために、掃除や外出支援などの日常生活支援だけでなく、急病や災害等の緊急時の対応など、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた取組が重要となる。

2. からだを動かすことについて

- 運動機能の低下リスクに該当する者は17.0%となっている。
- 昨年と比べた外出の回数は、『減っている』が29.9%となっている。
- 外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」が43.7%と最も高く、「交通手段がない」（17.8%）、「外での楽しみがない」（14.7%）、「経済的に出られない」（13.2%）と続く。
- 外出する際の移動手段は、「自動車（自分で運転）」が59.0%と最も高く、「徒歩」（35.4%）、「自動車（人に乗せてもらう）」（23.2%）と続く。



- ◆ 介護予防事業の充実とともに、交通手段がないことや経済的な理由から外出頻度が低下することがないよう、外出支援や生活支援等の総合的な取組が求められる。

3. 食べることについて

- 口腔機能低下リスクをみると、「該当」する割合は男女とも28%を超えている。
- 歯の数と入れ歯の利用状況をみると、自分の歯が『19本以下（入歯含む）』の割合は46.4%となっている。
- 誰かと食事をともにする頻度について、1人暮らしでは「毎日ある」が5.0%で、「ほとんどない」が22.7%となっている。



- ◆ 口腔機能の低下によって栄養が偏り不足することや、食事や会話に支障をきたすことで対人関係に困難を感じるようになり孤食が増加することが懸念される。年齢を重ねても健康でいられるよう、口腔機能を維持することが必要である。

4. 毎日の生活について

- 認知機能の低下が疑われる高齢者（「物忘れが多いと感じる」割合）は38.6%となっている。
- 手段的自立度（IADL）の低下がみられる高齢者は13.9%となっている。
- 前回調査（令和2年）と比較して、生きがいのある人が減少し52.2%となっている。性別でみると、女性全体に比べ男性全体の方が割合が低い。また女性では年齢が上がるほど割合が低くなっている。
- 趣味を持っていない人が29.9%となっている。
- 若い世代との会話の機会は、「ない（いいえ）」の割合が26.5%となっている。



- ◆ 高齢者の尊厳の保持と自立生活を支援し、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築を推進することが求められる。
- ◆ 趣味や生きがい、人との交流は、主観的健康観の向上において重要な要素となるため、1人暮らしや高齢の方でも趣味や生きがい、他者との交流を持てるような取組を行う必要がある。

5. 地域での活動について

- 地域活動や趣味活動への参加頻度について、8つの選択肢の全てで「参加していない」の割合が最も高く、4割以上を占めている。
- 参加者として健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向は、「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向あり』は52.2%と過半数を占めている。
- 一方、企画・運営として健康づくり活動や趣味等のグループ活動への参加意向は、「参加したくない」が58.7%と過半数を占めている。



- ◆ 年齢や性別、経済状況等に影響されることなく、地域活動に前向きな高齢者が活動に参加しやすい環境や仕組みをつくる必要がある。

6. 助け合いについて

- 病気になったときに看病や世話をしてくれる人がいない割合は7.6%となっている。
- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する人がいない割合は41.5%となっている。
- 友人・知人と会う頻度は、「ほとんどない」が19.3%となっている。
- よく会う友人・知人は、「近所・同じ地域の人」が44.2%と最も高く、「仕事での同僚・元同僚」(30.3%)、「趣味や関心が同じ友人」(28.3%)と続く。
- 地域の人に支援できることは、「安否確認等の定期的な声かけ・見守り」が39.1%と最も高く、「災害時の手助け」(27.2%)、「急病など緊急時の手助け」(26.3%)と続く。



- ◆ 住民同士のつながりはみられることから、地域や関係機関・団体で連携し、助け合いの輪を広げていくことが求められる。また、誰もが気軽に相談できるとともに、高齢者の暮らしを地域でサポートする地域包括ケアシステムを推進する必要がある。

7. 健康について

- 主観的健康感は、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康群』が75.2%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『不健康群』が22.5%となっている。
- うつ傾向の高齢者は、42.7%となっている。
- 喫煙について、「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『喫煙者』は12.1%となっている。
- 現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」が43.8%と最も高く、「目の病気」(18.8%)、糖尿病(14.9%)と続く。



- ◆ 主観的健康感、疾病や障がいにより異なるため、個別の疾病等の状況にあった健康支援により、主観的健康感を高めることが求められる。

8. 認知症について

- 認知症の症状が自分や家族にある人の割合は8.7%となっている。
- 認知症に関する相談窓口を知らない人の割合は76.3%となっている。



- ◆ 認知症支援として介護者のレスパイト対策とともに、介護者が1人で悩み抱え込まず気軽に相談できる環境が必要なことから、認知症に関する相談窓口の認知度向上に努める必要がある。

第 4 章 調査票

第 9 期

郵送

かいごよぼう にちじょうせいかつけんいき ちょうさ
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

ちょうさひょう
【調査票】

- ちょうさひょう きにゆう さい かくこうもく がいと う すうじ
調査票を記入する際は、各項目で該当する数字に〇をつけてください。
- ちょうさひょう きにゆうご お どうふう へんしんようふうとう い
調査票の記入後は、3つ折りにし、同封の返信用封筒に入れて、
3月24日(金)までに投函してください。

きにゆうび 記入日	れいわ 令和	ねん 年	がつ 月	にち 日
1. ちょうさひょう きにゆう 調査票を記入されたのはどなたですか。〇をつけてください。				
(1) あて名のご本人が記入				
(2) かぞく きにゆう お へんしんようふうとう い ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄：）				
(3) その他				
2. あて名ご本人の性別についてお答えください。				
(1) だんせい 男性 (2) じよせい 女性				
3. あて名ご本人の年齢についてお答えください。				
(1) 65～74さい (2) 75～84さい (3) 85～94さい				
(4) 95～104さい (5) 105さいじょう以上				

いいづかし こうれいかいごか そうむかかり
飯塚市 高齢介護課 総務係

はじめに

みなさま けんしょう よろこ もう あ
皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

ひごろ かいごほけんじぎょう りかい きょうりよく あつ れいもう あ
日頃から介護保険事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

いいづかし れいわ ねん よてい こうれいしゃほけんふくしけいかく かいごほけんじぎょうけいかく さくてい
飯塚市では、令和5年に予定している高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定
の基礎資料とするため、アンケート調査をお願いすることとしました。

ちようさ しえん ひつよう かた ていどせいかつ
この調査は、「どこに、どのような支援を必要としている方が、どの程度生活されて
いるか」を把握するため、厚生労働省が示す調査項目・方法に準拠して実施をする
ものです。

たいしやしや れいわ ねん がつまつじてん しない きょじゅう ようかいごにんてい かた
対象者は、令和5年1月末時点において、市内に居住する要介護認定1～5の方を
除く65歳以上の方のうち、3,000名を無作為に抽出しております。

しゅうしゅう こじんじょうほう いいづかしこじんじょうほう ほ ごじょうれい もと てきせい と あつか
なお、収集した個人情報、飯塚市個人情報保護条例に基づき、適正に取り扱
うことをお約束いたします。

どうい うえ ちようさ きょうりよく ねが もう あ
ご同意の上、調査にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

個人情報について

こじんじょうほう ほ ご かつようもくてき い か かくにん
個人情報の保護および活用目的は、以下のとおりですので、ご確認ください。

ほんちようさひょう へんそう か き どうい み
なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせ
ていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- 本調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために 行 うものです。
- 本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の
目的以外には、利用いたしません。また、当該情報については、飯塚市内で適切
に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に、本調査で得られたデータを活用するにあた
り、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要
に応じて、集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあり
ます。

とい 問1	かぞく せいかつじょうきょう あなたのご家族や生活 状 況 について	
(1) 家族構成をお教えてください(○はひとつ)		
1. 1人暮らし	2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	
3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	4. 息子・娘との2世帯	
5. その他		
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか(○はひとつ)		
1. 介護・介助は必要ない	2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)		
【(2)において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】		
①介護・介助が必要になった主な原因は、何ですか(いくつでも)		
1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	2. 心臓病	3. がん(悪性新生物)
4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	5. 関節の病気(リウマチ等)	
6. 認知症(アルツハイマー病等)	7. パーキンソン病	8. 糖尿病
9. 腎疾患(透析)	10. 視覚・聴覚障がい	11. 骨折・転倒
12. 脊椎損傷	13. 高齢による衰弱	
14. その他()	15. 不明	
【(2)において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】		
②主にどなたの介護、介助を受けていますか(いくつでも)		
1. 配偶者(夫・妻)	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他()	
(3)現在の暮らしの状況を経済的にみて、どう感じていますか(○はひとつ)		
1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ふつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

(4) お住まいは一戸建て、または、集合住宅のどちらですか(○はひとつ)

1. 持家(一戸建て) 2. 持家(集合住宅) 3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅(一戸建て) 5. 民間賃貸住宅(集合住宅) 6. 借家
7. その他

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか(○はひとつ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか(○はひとつ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか(○はひとつ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか(○はひとつ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか(○はひとつ)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 病気 | 2. 障がい(脳卒中の後遺症など) |
| 3. 足腰などの痛み | 4. トイレの心配(失禁など) |
| 5. 耳の障がい(聞こえの問題など) | 6. 目の障がい |
| 7. 外での楽しみがない | 8. 経済的に出られない |
| 9. 交通手段がない | 10. その他() |

(9)外出する際の移動手段は何ですか(いくつでも)

- | | | |
|----------------|------------------|----------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車(自分で運転) | 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす(カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | 12. タクシー |
| 13. その他() | | |

問3

食べることについて

(1)身長・体重

身長

cm

体重

kg

(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3)お茶や汁物等でむせることがありますか(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4)口の渇きが気になりますか(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5)歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか(○はひとつ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です) (○はひとつ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

①噛み合わせは良いですか(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

②【(6)で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】毎日入れ歯の手入れをしていますか(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

(7) 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

(8) どなたかと食事をとにする機会はありますか(○はひとつ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか(○はひとつ)

1. はい 2. いいえ

①スマートフォンを持っていますか(○はひとつ)

1. 持っている(Android携帯) 2. 持っている(iPhone)
3. 持っていない 4. 持っていないが購入を検討している

②スマートフォンをどのように活用していますか(いくつでも)

1. 電話 2. メール 3. 写真・動画撮影 4. 乗換案内
5. 地図(GoogleMap など) 6. スマホ決済(PayPay、auPAY、楽天ペイ、電子マネーなど)
7. ソーシャルメディア(LINE、Twitter、Facebook、Instagram、YouTube など)

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(4) バスや電車を ^{でんしゃ} 使って1人で ^{つか} 外出 ^{ひとり} していますか(自家用車でも可) ^が (○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(5) 自分で食品・日用品の買物 ^{かいもの} をしていますか(○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(6) 自分で食事 ^{しょくじ} の用意 ^{ようい} をしていますか(○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
①【(6)において「1. できるし、している」 ^{いがい} 以外の ^{かた} 方のみ】		
食事 ^{しょくじ} はどのように用意 ^{ようい} していますか(いくつでも)		
1. だいたい家族 ^{かぞく} がつくる	2. 毎食 ^{まいしょく} 、外食 ^{がいしょく} かスーパーやコンビニで惣菜 ^{そうざい} を買う	
3. 配食 ^{はいしょく} 弁当 ^{べんとう} を利用 ^{りよう} する	4. その他 ^た ()	
(7) 自分で請求書 ^{せいきゅうしょ} の支払い ^{しはら} をしていますか(○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(8) 自分で預貯金 ^{よちぎん} の出し入れ ^{だし い} をしていますか(○はひとつ)		
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
(9) 年金などの書類 ^{ねんきん} (役所 ^{しよるい} や病院 ^{やくしよ} などに出す書類 ^{びょういん}) ^だ が書 ^{しよるい} けますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(10) 新聞 ^{しんぶん} を ^よ 読んでいますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(11) 本 ^{ほん} や雑誌 ^{ざっし} を ^よ 読んでいますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(12) 健康 ^{けんこう} についての ^き 記事 ^じ や番組 ^{ばんぐみ} に関心 ^{かんしん} がありますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(13) 友人 ^{ゆうじん} の家 ^{いえ} を訪 ^{たず} ねていますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	

(14) 家族や友人の相談にのっていますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(15) 病人を見舞うことができますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(17) 趣味はありますか(○はひとつ)		
1. 趣味あり	→ ()	
2. 思いつかない		
(18) 生きがいはありますか(○はひとつ)		
1. 生きがいあり	→ ()	
2. 思いつかない		
(19) 現在暮らしている地域に、足りないと思うものは、何ですか(いくつでも)		
1. 特になし	2. 交通手段	3. 医療機関
4. 薬局	5. スーパー	6. 集いの場
7. その他()		
(20) 補聴器を使っていますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
① 【(20)で「2. いいえ」の方のみ】		
補聴器購入の補助制度が創設されたら、購入しようと思いますか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	

問5 ち い き か つ ど う 地域での活動について						
い か か い と う ひ ん ど さ ん か (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか ※① - ⑧それぞれに回答してください(回数の下の番号に○を付けてください)						
	し ゅ う か い 週4回 いじょう 以上	し ゅ う か い 週2~3回	し ゅ う か い 週1回	つ き か い 月1~3回	ね ん す う か い 年に数回	さ ん か 参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループや クラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学 習 ・ 教 養 サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (いきいきサロンなど) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町 内 会 ・ 自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収 入 のある仕事	1	2	3	4	5	6
ち い き じ ゅ う み ん ゆ う し け ん こ う か つ ど う し ゅ み と う か つ ど う お こ な (2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、 いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>参加者</u>として 参加してみたいと思いますか(○はひとつ)						
ぜ ひ さ ん か さ ん か さ ん か す で さ ん か 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						
ち い き じ ゅ う み ん ゆ う し け ん こ う か つ ど う し ゅ み と う か つ ど う お こ な (3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、 いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に<u>企画・運営</u> (お世話役)として参加してみたいと思いますか(○はひとつ)						
ぜ ひ さ ん か さ ん か さ ん か す で さ ん か 1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している						
問6 たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします						
し ん ば い ご と く ち き ひ と (1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人(いくつでも)						
は い ご う し ゃ どう き ょ こ べ つ き ょ こ 1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども						
き ょ う だ い し ま い し ん せ き お や ま ご き ん り ん ゆ う じ ん 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人						
た ひ と 7. その他() 8. そのような人はいない						

(2) 反対に、あなたが、心配事や愚痴を聞いてあげる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない		
(3) あなたが、病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない		
(4) 反対に、看病や世話をしあげる人(いくつでも)		
1. 配偶者	2. 同居の子ども	3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近隣	6. 友人
7. その他() 8. そのような人はいない		
(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに、相談する相手をお教えてください(いくつでも)		
1. 自治会・町内会・老人クラブ	2. 社会福祉協議会・民生委員	3. ケアマネジャー
4. 医師・歯科医師・看護師	5. 地域包括支援センター・役所・役場	
6. その他 7. そのような人はいない		
(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。(○はひとつ)		
1. 毎日ある	2. 週に何度かある	3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない		
(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。 同じ人には、何度会っても1人と数えることとします。(○はひとつ)		
1. 0人(いない)	2. 1~2人	3. 3~5人
4. 6~9人 5. 10人以上		

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- | | | |
|-------------------|---------------|------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | |
| 6. ボランティア等の活動での友人 | 7. その他 | |
| 8. いない | | |

(9) あなたのご家族に、日常生活上支援が必要となったとき、地域の人にどのような支援をしてほしいと思いますか(いくつでも)

- | | | |
|----------------------|----------------|--------------|
| 1. 外出の際の移動手段 | 2. 買い物 | 3. ごみ出し |
| 4. 掃除・洗濯・炊事 | 5. 急病など緊急時の手助け | 6. 病院などの付き添い |
| 7. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り | 8. 災害時の手助け | |
| 9. その他() | 10. 特にない | |

(10) となり近所に、高齢や病気・障がい等で困っている家庭があった場合、あなたは、どのような支援ができると思いますか(いくつでも)

- | | | |
|----------------------|----------------|--------------|
| 1. 外出の際の移動手段 | 2. 買い物 | 3. ごみ出し |
| 4. 掃除・洗濯・炊事 | 5. 急病など緊急時の手助け | 6. 病院などの付き添い |
| 7. 安否確認等の定期的な声かけ・見守り | 8. 災害時の手助け | |
| 9. その他() | 10. 特にない | |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか(○はひとつ)

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

(2) あなたは、現在、どの程度幸せですか(○はひとつ)

(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない 感じがよくありましたか(○はひとつ)		
1. はい	2. いいえ	
(5) お酒は飲みますか(○はひとつ)		
1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む	
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない	
(6) タバコは吸っていますか(○はひとつ)		
1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている	
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない	
(7) 現在治療中、または、後遺症のある病気はありますか(いくつでも)		
1. ない	2. 高血圧	3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
4. 心臓病	5. 糖尿病	6. 高脂血症(脂質異常)
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	
9. 腎臓・前立腺の病気	10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	
11. 外傷(転倒・骨折等)	12. がん(悪性新生物)	13. 血液・免疫の病気
14. うつ病	15. 認知症(アルツハイマー病等)	16. パーキンソン病
17. 目の病気	18. 耳の病気	19. その他()
問8 認知症にかかる相談窓口の把握について		
(1) 認知症の症状がある、または、家族に認知症の症状がある人がいますか		
1. はい	2. いいえ	
(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか		
1. はい	2. いいえ	
(3) 相談窓口で認知症の簡易診断ができるようになったら利用したいと思いませんか		
1. はい	2. いいえ	

じんせい さいご むか かた かん かんが
人生の最期の迎え方に関する 考 えについて

事情は考慮せず、純粋にあなたが望む場所をご回答ください(1つに○)

- ①【(1)で「^{なに}2.何かしらの^{しせつ}施設^{かた}」の方のみ】どのような^{しせつ}施設ですか(いくつでも)

- ②【(1)で「^{なに}2. 何か^{しせつ}しらの施設^{かた}」の方^{しせつ}のみ^{せんたく}】施設^{りゆう}を選択^{なん}した理由^{なん}は、何^{なん}ですか(いくつでも)

- (2) あなたは、希望する場所で人生の最期を迎えることが可能な状況にありますか。
(1つに○)

- ①【(2)において「4. ^{ふかのう}不可能に^{ちか}近い」「5. ^{ふかのう}不可能^{かた}」の方のみ】

1. 家族の介護力 2. 1人暮らし 3. 経済的な理由

4. 家族や友人などに迷惑をかけたくない
5. その他(

問10 今後の介護希望について

(1) あなたは、今後、どのように介護してほしいと思いますか(1つに○)

1. 自宅で家族だけで介護してほしい
2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスを利用したい
3. 自宅で介護保険の在宅サービスだけで生活したい
4. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設に入所したい
5. その他()

(2) 介護保険対象外で日常生活のお手伝いをするサービス(30分以内、利用負担額500円程度)が利用できるとしたら、利用したいものは、何ですか。(いくつでも)

1. 食器洗い
2. 風呂やトイレ掃除
3. 洗濯物の取り込み
4. 洗濯物や布団干し
5. 資源ごみ出し
6. ストーブ等の給油
7. エアコンフィルタ掃除
8. 買い置き電球の取替
9. 公共料金等の支払い
10. ストーブや扇風機、ホットカーペットなど季節家電の入替

問11 飯塚市に対する満足度について

(1) ご本人が暮らしている飯塚市に満足していますか(1つに○)

1. とても満足
2. やや満足
3. どちらでもない
4. やや不満
5. とても不満
6. わからない
7. 本人の意思が確認できない

(2) ご本人が暮らしている飯塚市を他の人にも勧めたい市だと思いますか(1つに○)

1. はい
2. いいえ
3. どちらでもない
4. 本人の意思が確認できない

■■■■以上で、調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

飯塚市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
【報告書】

発行日：令和5年5月

発行者：飯塚市 高齢介護課